

令和 2 年 度

春日部市の教育

春日部市教育委員会



－ 市章の由来 －

意匠は、春日部市の「春」の文字をモチーフに、自然溢れる緑の新市と旧2市町を表した2本の緑のライン、未来を表す正円と飛翔する市民が描かれ、また、市民一人ひとりがお互いに協力して新市のまちづくりに励み、「市民主役・環境共生・自立都市」を目指して飛躍と発展を続けるまちづくりを推進する願いが込められています。



市の花・フジ

特別天然記念物の牛島のフジは全国的にも有名で、春日部市のシンボルとなっています。また、「春日部藤まつり」や「ふじ通り」などの名称も市民になじみが深く、親しみやすいことから「フジ」を市の花に決定しました。



市の木・キリ

キリは古くから春日部市の特産品である桐たんす、桐箱、押絵羽子板などの材料として用いられてきました。伝統のある桐産業を後世まで残し、キリをとおして全国に春日部市の歴史・文化を発信できるように、「キリ」を市の木に決定しました。



市の鳥・ユリカモメ

ユリカモメは伊勢物語の中で、在原業平が隅田川（現在の春日部八幡神社付近とも言う）にいる「都鳥」を詠んでおり、春日部市にとって大変ゆかりのある鳥です。冬になると市内の水辺に飛来し、市民にやすらぎを与える鳥として親しまれていることから、「ユリカモメ」を市の鳥に決定しました。

春日部市生涯学習都市宣言

21世紀は、個人の価値観に合わせ心身ともに充実した生活を営む、質的な豊かさを実現する時代です。市民一人ひとりがうるおいのある生活を送るためには、生涯にわたり学びつづけることが重要です。また、多彩な歴史・文化にかこまれ、心豊かで活力ある市民が暮らすことができるまち「春日部」の実現は、わたしたちみんなの願いです。

わたしたちは、いつでも、どこでも、楽しく、みずから生涯学びつづけ、自己を高めるとともに、人と人との絆を深めるまちを目指すため、ここに「生涯学習都市」を宣言します。

- － わたしたちは、スポーツ、文化・芸術に親しみ、健やかで活力に満ちた生活を送ります。
- － わたしたちは、郷土の歴史・文化を愛し、教養を高め、心豊かな暮らしに生かします。
- － わたしたちは、学んだことを地域で生かし、すべての市民がいきいきと活躍できるまちをつくりまします。

平成21年4月1日

春日部市

目 次

春日部市の概要

春日部市の現在	1
世帯数・人口の推移	1
春日部市の沿革	2
歴代委員	2
歴代教育長	2

教育行財政

春日部市教育行政の基本方針と重点施策	3
教育長及び委員	6
教育委員会組織機構及び事務分掌	7
令和2年度一般会計当初予算歳出及び教育費の内訳	8

学校教育

学校総務課	9
市民文化会館	10
施設課	11
学務課	12
指導課	15
教育相談センター	22
春日部の学校教育グランドデザイン	24

学校紹介

児童・生徒数、学級数及び教職員数	25
学校施設の現況	26
小学校	27
中学校	49
義務教育学校	60

社会教育

社会教育課	61
文化財保護課	70
郷土資料館	73
スポーツ推進課	75
中央公民館	81
公民館紹介	85

特別職名簿

特別職名簿	96
-------	----

春日部市の概要

1 春日部市の現在

春日部市は、平成17年10月1日に旧春日部市と旧庄和町の1市1町が合併し、誕生しました。令和2年1月1日時点の人口は23万4,137人(10万6,924世帯)。関東平野のほぼ中央、埼玉県の一部に位置し、都心から35km圏にあります。南北約12km、東西約11kmの市域を有し、江戸時代には日光街道第四の宿として設置された粕壁宿として栄え、発展を遂げてきました。

現在も、南北方向には東武伊勢崎線（スカイツリーライン）（東京メトロ日比谷線・半蔵門線、東急田園都市線乗り入れ）と国道4号・4号バイパスが縦断し、東西方向には東武野田線（アーバンパークライン）と国道16号が横断し、首都圏における交通の要衝となっています。また、都心への通勤圏であるにもかかわらず、水田や屋敷林が広がる水と緑豊かな恵まれた環境を有しています。そして、本市の特別住民で「子育て応援キャラクター」、「まちの案内人」でもある、アニメ「クレ

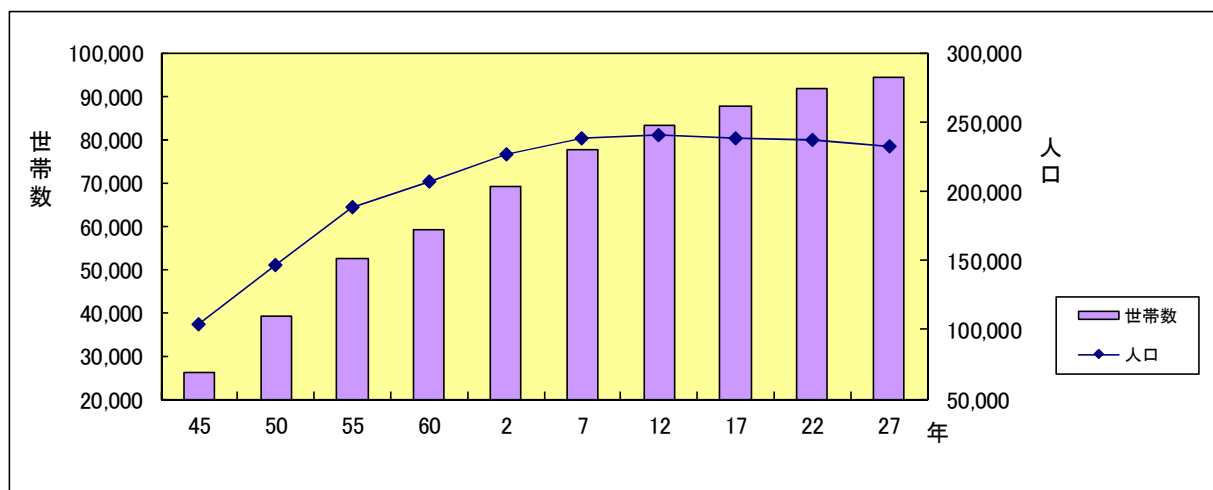
ヨンしんちゃん」のまちとしても知られています。これらの個性や特性を十分に生かし、「市民が主役」「まちの魅力を創る」「共に未来へチャレンジする」をまちづくりの理念とした「つながる にぎわう すまいるシティ 春日部」を目指しています。

《 春日部市の位置と地勢 》



2 世帯数・人口の推移

年	45	50	55	60	2	7	12	17	22	27
世 帯 数	25,965	39,031	52,328	58,997	69,137	77,416	83,196	87,589	91,531	94,399
人 口	103,828	146,856	187,913	207,021	226,449	238,598	240,924	238,506	237,171	232,372



※資料：国勢調査、各年10月1日現在

3 春日部市の沿革

春日部市は、江戸時代には日光街道第四の宿場として設置された粕壁宿として栄え、発展を遂げてきました。また、かつては利根川の本流であった大落古利根川や江戸時代に開削された江戸川などは、河川交通の要衝でもあり、特に江戸川の河岸であった西宝珠花は、水上交通の要として発展するなど水陸両面における交通の拠点をもつ地域でありました。

明治に入ると廃藩置県により、春日部地域は、埼玉県の管轄となりました。一方、庄和地域は、千葉県管轄となりましたが、明治8年に江戸川以西の庄内領が埼玉県に移管されました。明治22年には、市制町村制の施行により粕壁町と10か村となり、その後、昭和19年に粕壁町と内牧村が合併して春日部町と9か村となりました。

昭和29年には、昭和の大合併により春日部市と庄和村が誕生しました。昭和35年に杉戸町の一部が庄和村に編入され、現在の市域の基礎が形成されました。その後、昭和39年には、庄和村が町制を施行しました。

旧春日部市と旧庄和町は、東京の近郊都市として昭和40年代初期から人口が急増する中で、それぞれの個性や特性を生かしながらかちづくりを発展させてきました。

また、交通体系の発達した今日では、通勤・通学や買い物など市民の日常的な生活圏は、互いの行政区域を越えて形成されてきています。

このような地域的なつながりを踏まえ、平成17年10月には、旧春日部市、旧庄和町が合併し、新たな春日部市として誕生しました。今後、県東部の中心都市として一層の発展が期待されています。

4 歴代委員

氏 名	在任期間	年 数	委 員 長	教 育 長
岩 井 清	H17. 10. 1～H18. 12. 22	1年2月		H17. 10. 1～H18. 12. 22
安 東 敏 子	H17. 10. 1～H19. 12. 22	2年2月	H17. 10. 1～H19. 12. 22	
五百木 勉	H17. 10. 1～H30. 12. 22	13年2月	H19. 12. 23～H27. 3. 31	
金 森 良 泰	H17. 10. 1～現 在	14年9月		
水 野 洋	H17. 10. 1～H21. 12. 22	4年2月		
植 竹 英 生	H18. 12. 23～H27. 3. 31	8年3月		H18. 12. 23～H27. 3. 31
池 田 良 鶴	H19. 12. 23～H23. 12. 22	4年0月		
水 沼 章 文	H21. 12. 23～現 在	10年6月		
伊 藤 夕 子	H23. 12. 23～H27. 12. 22	4年0月		
川 端 知 里	H27. 12. 23～R 1. 12. 22	4年0月		
岡 田 新 司	H30. 12. 23～現 在	1年6月		
秋 山 早 苗	R 1. 12. 23～現 在	0年6月		

5 歴代教育長

氏 名	在任期間	年 数	教 育 長
植 竹 英 生	H27. 4. 1～H31. 3. 31	4年0月	H27. 4. 1～H31. 3. 31
鎌 田 亨	H31. 4. 1～現 在	1年3月	H31. 4. 1～現 在

※地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い、新教育委員会制度に移行

教 育 行 財 政

1 春日部市教育行政の基本方針と重点施策

(1) 基本方針

本市は、平成30年に策定した「第2次春日部市総合振興計画前期基本計画」に基づき、市の将来像である「つながる にぎわう すまいるシティ 春日部」を実現するための事業を推進しているところである。

教育委員会においては、第2次春日部市総合振興計画前期基本計画における2つの基本目標「子どもが幸せに育ち、生きる力をはぐくむまち」及び、「市民が主役となって活躍し、生きがいを持てるまち」を実現するため、必要な施策を総合的かつ横断的に推進するものである。

ところで、国際社会に目を向けると、平成27年9月に国連サミットにおいて「持続可能な開発目標」、いわゆるSDGsが全会一致で採択されている。持続可能な開発目標（以下SDGs）には、令和12年を期限とする包括的な17のゴールと細分化した169のターゲットが設定されており、誰一人取り残さない社会の実現を目指し、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に、統合的に取り組むこととしている。これを受け、本市においても令和元年9月に「春日部市SDGs推進方針」を策定し、SDGsは本市の将来像である第2次春日部市総合振興計画による取組と方向や立場を同じくするものであることを確認している。教育委員会においても同様に、SDGsの視点を含めながら、必要な施策を推進していくものである。

学校教育では、知・徳・体のバランスのとれた児童生徒を育成するために、児童生徒一人ひとりの個性を生かす教育を推進する。そのために、基礎学力の定着及び向上や豊かな心の育成、心身の健康づくりの推進に向け、教職員の資質向上や教育環境の充実を図る。

社会教育では、地域社会の発展を目指し、社会状況の変化に対応した学習機会の提供、学習活動の支援と学習環境の充実に努める。また、青少年の健全育成の活動を促進するとともに、家庭、地域の連帯感の醸成に取り組む、家庭と地域の教育力の向上を図る。さらに、文化・芸術活動の振興を図るとともに、文化遺産の保護・保存、市の歴史・伝統に関する資料の収集・保存を進め、地域の伝統文化の育成や継承、情報発信に努める。

生涯学習では、市民の活動が広範多岐に及ぶことから、教育領域のみならず、全庁的に取り組むとともに、民間の活動等との連携を図るなど、第2次春日部市生涯学習推進計画に基づく多様な振興施策を推進する。

スポーツ・レクリエーションでは、だれもが生涯を通じてスポーツ・レクリエーションに参加できる機会の提供、活動を支援する体制づくりを推進する。

《 SDGs が掲げる 17 のゴール 》



※学校教育部及び社会教育部各課のページにおいて、関連する目標を示しています。

(2) 重点施策

① 学校教育の充実

「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」など、未来を切り拓くことのできる「生きる力」を一層確実に育成することをねらいとした学校教育を充実させる。そのために、教職員の資質向上等による教育内容の充実や安心・安全な教育環境づくり、地域と連携した特色ある教育活動の推進を通して、地域に根ざした魅力ある学校づくりを推進する。さらに、本市独自の学校教育プランである「かすかべっ子 はぐくみプラン」の取組を一層推進し、児童生徒一人ひとりのよさを伸ばす指導を行う。

また、春日部市いじめ防止条例及び春日部市いじめ防止基本方針に基づき、いじめの防止や早期発見、いじめへの対処を組織的・計画的かつ迅速に行う。

② 学校施設の整備・拡充

学校施設は、昭和40年代から50年代にかけて建設されたものが多く、トイレについては、建設当時に主流であった和便器が中心となっているが、現在の家庭での設備環境及び社会的な生活様式を考慮し、児童生徒の学校環境の改善を図るため、体育館トイレ改修事業及び校舎トイレ改修事業を推進する。

また、近年、夏の猛暑となる日が増加している中、児童生徒の健康面への配慮や、学習環境の改善を図るため、特別教室エアコン整備事業を推進する。

③ 青少年教育の充実

青少年活動の充実を促進するとともに、関係機関・団体との連携の強化や、青少年団体の活動の支援、思いやりと創造性豊かな青少年を育む地域社会づくりを推進する。

また、学習機会や情報を提供し、家庭教育の支援体制を充実させ、家庭と地域の教育力の向上に努めていく。さらに、義務教育学校を含む全小学校区で「放課後子ども教室」を実施し、地域の方々の協力を得て様々な体験活動や交流活動を行い、子どもたちの心豊かな育みと地域の教育力の向上を図る。

④ 社会教育の充実

市民一人ひとりが学んだ力を地域の中で生かせる生涯学習社会の構築を進めるため、学習課題に対応した多様な学習機会の提供、学校教育等との連携拡充、市民との協働の推進、社会教育関係団体の支援、社会教育関連施設の整備充実を図るなど、社会教育の充実に努める。

⑤ 文化・芸術の振興

文化・芸術に触れる機会の充実を図るとともに、文化・芸術団体の育成及び活動支援や情報提供の充実に努める。

また、地域の伝統芸能をはじめとした文化の継承者の育成を図るとともに、文化財の保護・保存や市史による郷土の特徴ある歴史の紹介など、地域の文化遺産の継承に努める。さらに、文化・芸術の鑑賞と発表の場である市民文化会館については、利用者への助言や広報の支援などの利用者サービスの充実を図るとともに会館施設設備等の維持補修を行う。

⑥ スポーツ・レクリエーションの推進

スポーツ・レクリエーションを楽しめるまちをつくるために、多様なレベルで楽しむことができるスポーツ・レクリエーションを普及することにより、市民の交流機会の拡大を推進する。

また、春日部市体育施設整備基本計画に基づき体育施設の維持管理及び総合体育館（ウイング・ハット春日部）周辺の段階的整備の推進に努め、さまざまなスポーツイベントなどの創意工夫による開催を奨励する。

⑦ 人権教育・啓発の推進

すべての人の人権が尊重され、人々が平和で豊かな生活を営む社会を実現するため、同和問題をはじめ女性、子ども、高齢者、障がい者、外国人、アイヌの人々、H I V（エイズウイルス）感染者等、犯罪被害者、北朝鮮拉致被害者、刑を終え出所した人、性的指向や性同一性障がい者、ホームレスなど、あらゆる人権問題の解消に向けて、教育・啓発活動を行い、人権尊重意識の高揚を図る。

2 教育長及び委員



教育長 鎌田 亨



教育長職務代理者 金森 良泰



委員 水沼 章文



委員 岡田 新司



委員 秋山 早苗

◎市長・副市長

市 長	石川 良三	副 市 長	種村 隆久 佐藤 哲也
-----	-------	-------	-------------

◎市議会正副議長

議 長	佐藤 一	副 議 長	鈴木 一利
-----	------	-------	-------

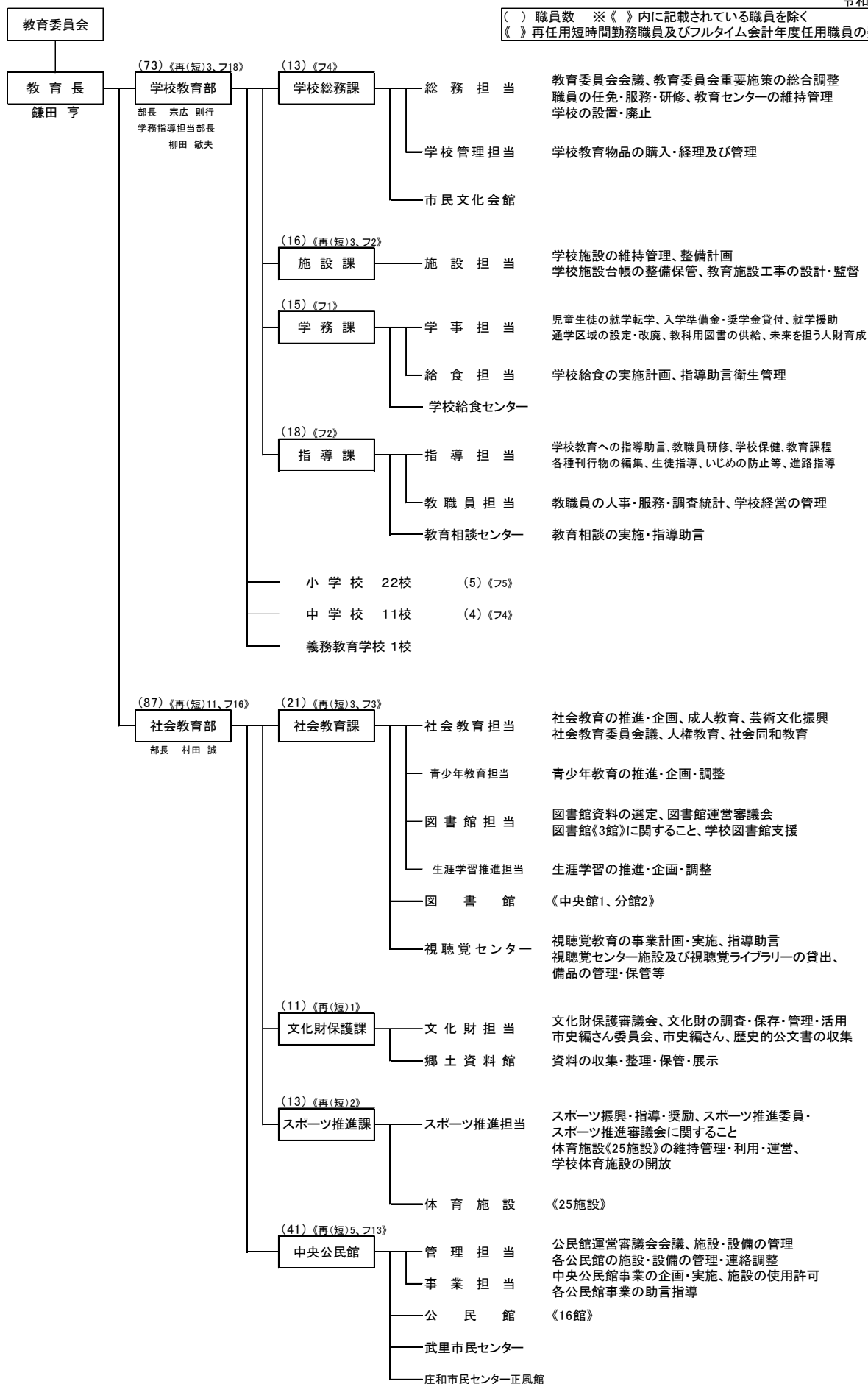
◎教育環境委員

委 員 長	木村 圭一	副委員長	松本 浩一
委 員	井上 英治	委 員	金子 進
委 員	山口 剛一	委 員	河井 美久
委 員	小久保 博史	委 員	中川 朗

3 教育委員会組織機構及び事務分掌

令和2年4月1日現在

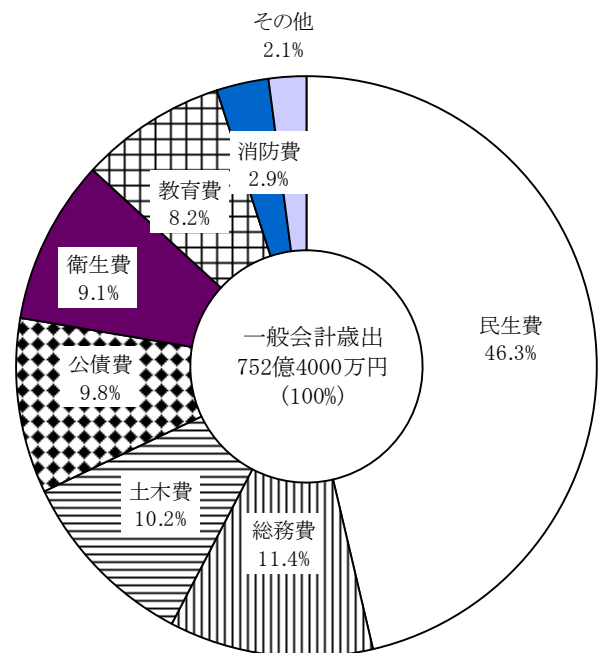
() 職員数 ※《 》内に記載されている職員を除く
《 》 再任用短時間勤務職員及びフルタイム会計年度任用職員の数



4 令和2年度一般会計当初予算歳出及び教育費の内訳

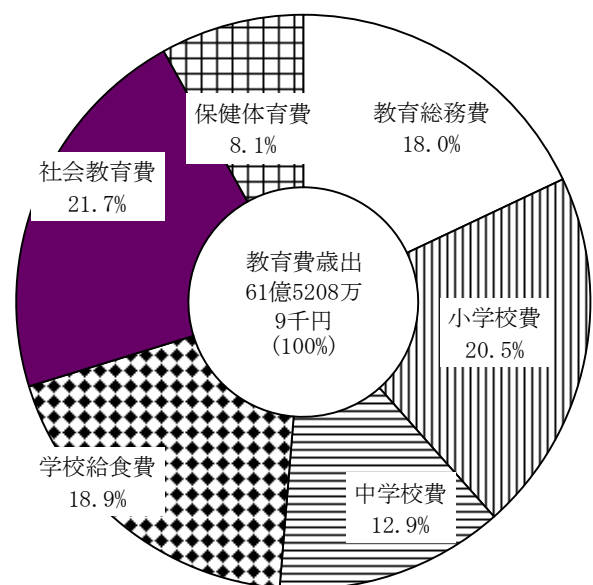
(1) 一般会計当初予算歳出

款	金額(千円)	構成比(%)
民生費	34,851,861	46.3%
総務費	8,551,928	11.4%
土木費	7,709,721	10.2%
公債費	7,337,770	9.8%
衛生費	6,880,304	9.1%
教育費	6,152,089	8.2%
消防費	2,186,451	2.9%
その他	1,569,876	2.1%
歳出合計	75,240,000	100.0%



(2) 教育費の内訳

項	金額(千円)	構成比(%)
教育総務費	1,105,314	18.0%
小学校費	1,259,517	20.5%
中学校費	792,394	12.9%
学校給食費	1,164,445	18.9%
社会教育費	1,333,393	21.7%
保健体育費	497,026	8.1%
歳出合計	6,152,089	100.0%



学 校 教 育

※各ページに記載されている事業等は令和 2 年 6 月 1 日現在の
予定であり、今後、新型コロナウイルス感染症拡大防止の
ため、中止、変更等になる場合があります。

学校総務課

1 課の目標

教育委員会事務局主管課として他部局との連携、施策の調和を図り、教育行政推進のための総合調整を進める。
また、学校の安心・安全を推進するための効果的な予算執行に努める。

2 主な施策



(1) 教育委員会事務局の組織運営と総合調整

- ① 本市の教育行政の目的達成に向け、主体的にその役割を発揮する。そのために教育行政の現状と課題を的確に把握し、その解決に向けて各組織間との有効かつ効率的な総合調整に努める。
- ② 組織間での情報と認識の共有を図り、新しい教育課題に対応するため、積極的に国や県等の教育施策の動向等を把握し、情報提供を行う。

(2) 学校教育設備の整備と充実

学習指導要領の改訂など、学校教育のおかれている時代の要請・変化に的確に対応するため、教育設備の整備充実に努め、教育環境の向上を図る。

- ① 小・中学校運営事業 ・ ・ ・ ・ ・ 庁用備品、教材備品の整備など学校の適切な管理運営
- ② 小・中学校図書館整備事業 ・ ・ ・ 学校図書館における図書の整備・充実及び小学校図書館支援員の配置
- ③ 小・中学校情報教育推進事業 ・ ・ 学習用パソコン及び校務用パソコンの更新及び保守管理
G I G Aスクール構想の推進

(3) 教育予算執行の効率化

多様化・複合化する学校教育の内容や方法の変化に対応した円滑な学校運営を行うため、学校配当予算の効率的かつ効果的な執行に努める。

(4) 教育センター施設環境の整備と充実

市民の生活文化の向上及び教育に関する専門的な技術的研究を行う教育研究・研修施設及び教育委員会事務局執務室でもある教育センターの環境整備を図り、その機能の充実を図るため、計画的な施設修繕を行う。また、地球温暖化防止に配慮し、安全・快適・衛生的な施設管理に努める。

(5) 魅力ある学校づくりの推進

「春日部市小中一貫教育及び学校再編に関する基本方針」に基づき、中一ギャップの解消や学力の向上を図るため、また、児童生徒数の減少に伴い、学校の活力や教育効果を維持するため、「児童生徒にとって望ましい教育環境の提供」と「まちづくり」という視点で検討し、地域に根差した特色ある学校づくりを推進する。

市民文化会館

1 市民文化会館の目標

文化・芸術の鑑賞と発表の場である市民文化会館を、安全かつ快適に使用できるよう管理運営に努める。
また、市の文化・芸術にどのような形で関わるのかを研究し、よりよい市民文化会館の運営をめざす。

2 主な施策

(1) 市民文化会館施設設備等の維持補修

市民や各種団体等の利用者が、安全かつ快適に施設を利用できるように市民文化会館の施設設備等の維持補修や各種点検を行う。

また、公共施設マネジメント基本計画に基づき、施設の大規模改修（吊天井への対応）について検討を進める。

なお、令和2年度の主な修繕箇所は、次のとおり。

- ・中央監視装置更新修繕
- ・その他設備機器の修繕

(2) 市民文化会館利用者サービスの充実

- ①市民文化会館利用者の利用上や舞台演出上の相談に対しての助言を充実し、利用者の満足度を高める。
- ②大ホール、小ホール、展示室の催し物の情報を教育委員会ホームページ等で広く市民に提供し、催し物の目的が達成できるよう支援する。
- ③市民文化会館利用案内の資料を充実させ、利用者の利便性を向上させる。

(3) 市民文化会館利用者の安心安全の確保

危機対応マニュアルにより、自然災害発生時や火災等の緊急時に利用者の安心安全を確保する。

3 施設の概要

部屋の名称	定員(人)	面積(m ²)	階数	部屋の名称	定員(人)	面積(m ²)
大 ホール	1,500	-	地下1階	展示室	-	276
楽屋(1)	-	40	2階	練習室(1)	75	96
楽屋(2)	-	40		練習室(2)	12	44
楽屋(3)	-	30		練習室(3)	12	44
楽屋(4)和室	-	14	3階	大会議室	153	216
楽屋(5)和室	-	14		中会議室(1)	108	144
リハーサル室(1)	-	184		中会議室(2)	34	96
小 ホール	401	-		小会議室(1)	30	72
楽屋(6)和室	-	14		小会議室(2)	51	72
楽屋(7)	-	37		特別会議室	8	28
楽屋(8)	-	24		和室(1)	-	18 畳
リハーサル室(2)	-	92		和室(2)	-	24 畳
駐車場(有料)	175台					

施 設 課

1 課の目標

児童生徒が健やかな成長と自己実現を目指して学習活動ができるよう、小・中学校及び義務教育学校の諸施設の環境整備・充実に努める。

2 主な施策



(1) 施設の安全確保と学校施設の整備充実

児童生徒の学習の場であり、生活の場でもある学校施設が安全・円滑に利用できるよう、老朽・劣化による施設等の修繕・改善等を重点に整備する。

また、設備等については常に安全が確保できるよう各所の点検整備等を行い、設備の保守管理に努める。

- ① 小学校施設維持・管理事業・・・学校施設修繕・設備保守管理（22校）
- ② 中学校施設維持・管理事業・・・学校施設修繕・設備保守管理（12校）※義務教育学校（1校）含む
- ③ 学校施設の計画的な修繕の実施・・・学校施設カルテによる修繕管理（全34校）

(2) 体育館トイレ改修

児童生徒の学校環境の改善及び地域住民の避難場所としての役割を果たすため、小・中学校等体育館のトイレ改修を計画的に進める。

- ① 小学校体育館トイレ改修事業・・・小学校体育館トイレ改修工事

(3) 校舎トイレ改修

児童生徒の学校環境の改善を図るため、小・中学校等校舎のトイレ改修を計画的に進める。

- ① 小学校校舎トイレ改修事業・・・小学校校舎トイレの改修工事及びリフレッシュ改修

(4) 体育館耐震対策

児童生徒の安全確保及び地域住民の避難場所としての役割を果たすため、小・中学校等体育館の外壁や外部窓などに対して地震時における落下防止対策を計画的に進める。

- ① 小学校体育館耐震対策事業・・・小学校体育館外壁等耐震対策工事

(5) 学習環境の改善

児童生徒の学習環境の改善を図るため、小・中学校等の特別教室等にエアコンの整備を計画的に進める。

- ① 中学校特別教室エアコン整備事業・・・中学校特別教室エアコン整備工事

(6) 学校応援団への支援

学校と地域が協力して施設の維持補修活動が行えるように、学校応援団の修繕活動に対して、資材等の支援を行うとともに、必要に応じて修繕チームによる支援を行う。

学 務 課

1 課の目標

児童生徒が、健やかな成長と自己実現を目指して充実した学習活動を行うことができる学校環境の充実を図るとともに就学支援の促進に努める。

また、地元の食材を使用した栄養バランス豊かな学校給食による「食育」を推進する。

2 主な施策

(1) 魅力ある教育環境の充実

- ① 教科書以外の準教科書、標準テスト、教師用教科書などの補助教材を整備し、学習指導要領に対応した教育内容の充実を図る。
- ② 児童生徒が安全に通学できるよう、環境の変化に対応した通学区域の見直しや登下校時における安心・安全な環境づくりに努める。
- ③ 入学手続きのほか、転校に伴う就学相談など個に応じた教育環境の充実を図る。



(2) 就学支援の促進

- ① 教育の機会均等及び義務教育の円滑な実施を図るため就学支援の促進に努める。入学にかかる費用負担の軽減を図るため、引き続き新入学児童生徒学用品費等の入学前支給を実施する。また、特別支援学級等に就学する児童生徒の保護者の経済的負担の軽減を図る。
- ② 高等学校、専修学校及び大学などに進学意欲がありながら、経済的な理由によって修学が困難な方に奨学金や入学準備金の貸付けを行い、有用な人材の育成を図る。

(3) 未来を担う人財の育成

- ① 学業、スポーツ、芸術等の分野を問わず、児童生徒が日頃から思い描いている挑戦したい、実現させたい夢や希望に関する提案に対し奨学金を交付する。
- ② 学校教育における英語力の向上を図る取組として、中学校3年生を対象に英語検定料を助成する。

(4) 学校給食運営の充実

- ① 米飯給食など食材の「地産地消」を推進するとともに、栄養バランスのとれた豊かな食事によって、望ましい食習慣の形成や人間関係を育むという「食育」の視点での学校給食の充実を図る。
- ② 給食施設修繕及び給食調理機器等の整備を適切に行い、衛生管理を徹底して、安心・安全な学校給食運営を図る。

3 主要事業

事業名	事業の内容または事業対象
未来を担う人財育成事業	○未来を育む奨学金 児童生徒が日頃から思い描いている挑戦したい、実現させたい夢や希望に対し奨学金を交付する。 奨学金は100万円を上限とし、最大で5年間の事業実施期間を可能とする。 ○英語検定料助成 学校教育における英語力の向上を図る取組として、市内公立中学校に在籍する3年生(義務教育学校9年生を含む)及び市内に住所を有し、私立中学校などに在籍する中学校3年生を対象に英検の受験に要する検定料を助成する。
就学援助事業	義務教育の円滑な実施を図るため学校教育法第19条に基づき、経済的理由により就学困難な児童生徒の保護者を対象として、保護者負担となる経費を支給する。 対象者は、「要保護者(生活保護者)」及び、「準要保護者(要保護に準ずる者)」とし、教育委員会が審査のうえ認定する。 支給が受けられる項目は、学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学児童生徒学用品費等、修学旅行費、学校給食費、医療費とする。 入学にかかる費用負担の軽減を図るため、新入学児童生徒学用品費等の入学前支給を実施。
特別支援教育就学奨励事業	「特別支援学校への就学奨励に関する法律」に基づき、学校教育法施行令第22条の3に規定する障害の程度に該当する児童生徒又は、特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、その負担能力の程度に応じ、経費の一部を補助する。 補助を受けられる項目は、学用品・通学用品購入費、校外活動等参加費、新入学児童生徒学用品・通学用品購入費、修学旅行費、学校給食費、交流学习交通費、職場実習交通費、通学費とする。

事業名	事業の内容または事業対象
入学準備金・奨学金貸付事業	高等学校、高等専門学校、専修学校、大学(大学院は除く。)に進学の意欲を有し、経済的な理由により修学が困難な者のために、入学準備金、奨学金の貸付けを行うことにより、教育の機会均等に寄与するとともに有用な人材を育成する。 ○入学準備金の貸付額(無利子) 高等学校、高等専門学校、専修学校(高等課程) 30万円以内 短大、大学、専修学校(専門課程) 50万円以内 ○奨学金の貸付額(無利子) 高等学校、高等専門学校、専修学校(高等課程) 月額 1万円 短大、大学、専修学校(専門課程) 月額 2万円
学校給食運営の充実	心身の成長過程にある児童生徒の健全な発達に資するため、バランスのとれた栄養豊かな学校給食の提供に努める。安全で良質な食材を確保するとともに、調理作業においては衛生管理の徹底を図る。 ①給食実施状況（完全給食） 単独校調理場方式 小学校:18校(調理業務委託) 中学校: 9校(調理業務委託) 共同調理場方式 小学校: 4校(調理業務委託) 中学校: 2校(調理業務委託) 義務教育学校:1校(調理業務委託) ②給食費 単独校調理場方式 小学校 月額 4,400 円 中学校 月額 5,100 円 共同調理場方式 小学校 月額 4,100 円 中学校 月額 4,800 円 ③給食年間予定回数 小学校 165 回 中学校 164 回 ※ 回数については、変更となる場合があります。
学校給食の衛生管理の徹底	栄養士・調理員の腸内細菌検査(腸管出血性大腸菌O-157検査含む) 給食食材定期点検

指 導 課

1 課の目標

学習指導要領、第2次春日部市総合振興計画の基本目標1「子どもが幸せに育ち、生きる力をはぐくむまち」を受け、「生きる力」の育成を目指した春日部市ならではの教育を推進する。そのため、各学校が地域と連携した魅力ある学校づくりのための特色ある教育活動を展開する。その全体像となる「かすかべっ子 はぐくみプラン」を共有するとともに、「伝え合い 学び合い 育ち合い 思い合いがうれしい教室 うれしい学校」を合い言葉に「春日部メソッド」を推進し、教育内容の充実を図る。このことにより、魅力ある学校づくりのための特色ある教育活動を一層推進し、「生きる力」を育成する。

2 主な施策

(1) 特色ある学校づくりの推進

- ①個性を伸ばし生きる力の育成を図る教育を推進し、児童生徒が生き生きとした学校生活を送ることができるよう魅力と活力に満ちた信頼される教育、春日部市ならではの特色ある学校づくりを推進する。
- ②学びと育ちの連続性を重視し、義務教育9年間を見通した小中一貫教育を推進し、家庭・地域と一体となって、確かな学力や豊かな心の育成を図る。
- ③学習指導要領の趣旨を踏まえ、「心の教育」の充実と「確かな学力」「健やかな体」の育成を図る教育を積極的に展開し、「知・徳・体」のバランスのとれた児童生徒の育成を目指す教育を推進する。
- ④児童生徒や学校、地域の課題を明確にした教育目標や重点目標を踏まえるとともに、安心・安全の視点に立った各学校の主体的な学校づくりを支援し、学校教育の質的充実を図る。



(2) 基礎学力の定着及び向上

- ①各学校の教育研究員と指導主事が連携し、各学校の学力における課題を明確にし、学力向上に向けた取組「学力向上プロジェクト」を計画・実践していく。
- ②「全国学力・学習状況調査」「埼玉県学力・学習状況調査」等を活用し、児童生徒一人ひとりの基礎的・基本的な内容の定着状況を不断に検証し、その分析結果を指導方法の工夫・改善に生かす。
- ③一人ひとりのよさに着目し、それらを伸ばす指導を一層推進するとともに、評価方法の改善、習熟の程度に応じた少人数指導の工夫等、個に応じたきめ細かな指導や「わかる授業」を展開し、確かな学力の向上を図る。
- ④学習過程の中に児童（生徒）同士及び児童（生徒）と教師の交流・表現の場を設定し、豊かな人間関係を築き、思考力・判断力・表現力をはぐくむ授業を創造する。

(3) 豊かな心の育成

- ①人間としての生き方を身に付け、実践できる児童生徒の育成を図るために、全教育活動を通じて道徳教育を推進するなど、心の教育を充実させる。
- ②信頼関係を基盤に、児童生徒一人ひとりの特性を多面的に把握し、豊かな心と実践力の育成を目指す生徒指導を推進する。
- ③校内の指導体制を確立するとともに、関係諸機関との緊密な連携を図りながら、個々の児童生徒の実情に応じた指導を推進する。
- ④「いじめ・不登校」問題の未然防止・早期発見・早期解消を重点課題とし、こころのサポートチームによる学校訪問を行うなど、教育相談及び適応指導教室運営を充実させる。また、保・幼・小・中・義務教育学校及び地域社会との連携を図る。
- ⑤児童生徒の自主的、自発的な活動を推進するとともに、特に、自然体験や社会体験、福祉体験等の体験活動を充実させ、豊かな社会性を身に付けた児童生徒の育成を図る。また、一人ひとりの個性の伸長を目指した生き方指導としての進路指導・キャリア教育の充実を図る。

(4) 心身の健康づくりと体力向上

- ①自他の生命を尊重し、心身ともに健康で安全な生活を実践できる児童生徒の育成を図る。
- ②健康で安全な生活を営めるよう、アレルギー対応を含めた食に関する指導、感染症予防を含めた保健指導、交通事故防止を含めた安全指導等の充実を図る。
- ③生涯にわたり心身ともに健康で活力ある生活を送るために基礎的な体力の向上を図り、児童生徒が自ら進んで運動に親しみ、運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう指導の創意工夫に努める。

(5) 社会の変化に対応した教育の推進

- ①高度情報化社会を踏まえ、情報を主体的に判断、活用する能力の育成と情報モラルの育成を積極的に図る。
- ②環境問題を主体的にとらえ、環境保全やよりよい環境の創造に向けて積極的に行動できる心と態度の育成に資する環境教育を推進する。
- ③国際理解教育、情報教育、環境教育、ボランティア・福祉教育、学校図書館教育等の社会の変化や要請を踏まえた教育を推進する。
- ④社会の変化や新しい教育課題に対応する教育の推進力となる人材を積極的に育成する。
- ⑤読書センター、学習センター、情報センターとしての学校図書館の役割を生かした学校図書館教育を推進するとともに読書活動の充実を図る。
- ⑥日本及び諸外国の文化や伝統等について深く理解し、国際社会において信頼され、世界の平和と発展に貢献する日本人の育成等、国際化に対応した豊かな人間性の育成を図る。
- ⑦体験的な活動を通して、他人を思いやる心や感謝の心、勤労の尊さや社会に奉仕する精神を育成するとともに、共に豊かに生きていこうとする福祉の心と実践力を身に付ける。

(6) 教職員の資質の向上

- ①新たな教育課題に対応した各種研修会の実施や春日部市教育委員会・東部教育事務所教育支援担当・学力向上推進担当学校訪問、初任・2年次・3年次教員及び臨時的任用教員を対象とした訪問指導等により、教職員としての指導力及び資質の向上を図る。特に、「いじめ・不登校」問題については児童生徒へ寄り添う姿勢が大切である。そのため、本質を理解し組織的対応の必要性を確認する校内研修や学級における実践的指導力の向上を図るための研修を行い、揺るぎない信頼を確立する。
- ②学校や児童生徒の実態を生かした教職員の主体的な教育活動を推進し、教育内容の充実に努めるとともに、学校としての説明責任を果たすことができるよう支援する。

(7) 人権教育の推進

- ①人権の意義やその重要性についての正しい理解を深め、他者の痛みを共有できる豊かな人間性や社会性の醸成を図る。
- ②同和問題や女性、子ども、高齢者、障がい者、外国人、アイヌの人々、HIV（エイズウイルス）感染者等、犯罪被害者、北朝鮮拉致被害者、刑を終え出所した人、性的指向や性同一性障がい者、ホームレスなど、様々な人権問題を解決しようとする児童生徒を育てる。
- ③人権尊重を基盤とした男女共同参画の視点に立った教育や、インターネットによる人権侵害などの新たな人権課題に対応した教育の充実を図る。

(8) 特別支援教育の推進

- ①一人ひとりの障がいの状態、能力及び特性等の教育的ニーズに応じた教育を推進する。
- ②児童生徒や保護者の思いや願いを尊重する適正な就学相談の充実を図るとともに、教育、医療、関係機関等の連携に努める。
- ③特別支援教育コーディネーターの計画的な育成を通して、校内の支援体制の充実を図る。

3 主な事業の概要

(1) 特色ある教育推進事業（「まち・ひと・しごと創生総合戦略」採択事業）

「小学校英語教育」「理科教育」「小中一貫教育」「芸術文化活動」「読書活動」など、確かな学力をはぐくみ、地域から誇りに思える魅力ある学校づくりのための特色ある教育活動に対して支援を行う。

(2) 学校教育支援事業

学校教育の充実と教育水準の維持・向上を図るため、積極的に学校教育を支援する。児童生徒一人ひとりに応じた指導の充実や学校の多様なニーズに応じるため、相談員や普通学級支援助手等を配置するとともに、計画的な研修の実施や研究委嘱、適切な人事管理等を行い、魅力と信頼に満ちた特色ある学校づくりに資する。

(3) 英語指導助手招致事業（「まち・ひと・しごと創生総合戦略」採択事業）

児童生徒にネイティブの英語に触れる機会を与え、英語によるコミュニケーション能力の素地及び基礎を育成するために、英語指導助手（ALT）を、各小・中・義務教育学校に派遣し、英語教育及び国際理解教育の推進を図る。

(4) 教育相談センター運営事業（「まち・ひと・しごと創生総合戦略」採択事業）

子供の養育や教育についての相談を通して、子供たちの健全な育成と家庭の教育力の向上を図る。また、学校に行きたい意志がありながら登校できない児童生徒の集団への適応能力を養い、社会的な自立に向け、適応指導教室「そよかぜ」及び「すくすく」、教育相談センター「ステップ教室」にて支援する。

(5) こころのサポート推進事業（「まち・ひと・しごと創生総合戦略」採択事業）

いじめや不登校など学校生活の不安や悩みの解消に向け、臨床心理士や学校心理士などの専門家を含む「こころのサポートチーム」を組織し、学校訪問を実施するなど、相談体制の一層の拡充を図り、問題の未然防止や早期解消を図る。

(6) 特別支援教育推進事業

発達障害のある児童生徒へのサポート体制を構築し、児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな支援を行う。

(7) 教育研究委託事業

文部科学省・埼玉県教育委員会の研究委託事業や研究の委嘱校等、学校教育の充実に資する研究を行う学校や団体等を支援する。

(8) 市教育研究会補助事業

教職員の資質向上のために組織された春日部市教育研究会の活動を補助し、教育水準の維持・向上を図る。

(9) 中学生社会体験チャレンジ事業（「まち・ひと・しごと創生総合戦略」採択事業）

地域での様々な社会体験や福祉体験など多くの人々とのふれあいを通して、望ましい職業観や勤労観を育て、あわせて、みずみずしい感性や社会性、自律心を養い、たくましく豊かに生きる力を育む。

(10) 各種大会児童・生徒派遣補助事業

市内小学校、中学校及び義務教育学校の児童生徒が関東大会以上の大会に参加する際の財政的な補助を行う。

(11) 保健衛生事務事業

児童生徒及び教職員を対象とした健康衛生管理業務並びに保険給付事務を行い、学校教育の充実に資する。

(12) いじめ防止対策推進事業

いじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進する。



4 指導課主催事業の概要

	事業名	事業概要	備考
1	学校教育指導・教職員事務	教育指導に関する事務及び教職員に関する事務等	指導担当、教職員担当
2	市教委・事務所教育支援担当・学力向上推進担当学校訪問	学校教育の充実と教職員の資質の向上を図るため各学校を訪問	各学校年1回実施
3	学校訪問指導	校内授業研究会、校内研修等の学校を訪問しての指導	各学校の計画
4	A L T 招致事業	A L T の配置と小・中・義務教育学校への計画的な配置	A L T 15名の招致
5	初任者研修	県主催の初任者研修への協力	県主催研修への協力 ※市教委主催は別途計画
6	2年次研修	学習指導（道徳）、学級経営等の研修（県主催の2年次研修への協力）	※別途計画
7	3年次研修	学習指導、学級経営等の研修（県主催の3年次研修への協力）	※別途計画
8	臨任者研修	学習指導、学級経営等の研修	※別途計画
9	5年経験者研修	県主催の学習指導、学級経営等の研修への協力	県主催研修への協力
10	中堅教諭等資質向上研修（10年次）	県主催の学習指導、学級経営等の研修への協力	県主催研修への協力
11	20年経験者研修	県主催の学習指導、学級経営等の研修への協力	県主催研修への協力
12	指導課主催研修	教職員の資質向上を図るために行う指導課主催の各種研修	※別途計画
13	各種研修	県教委、県教育センター主催研修会への参加の奨励等	推薦、資料提供
14	市教委研究委嘱	学校の研修、研究活動を推進するための指導及び支援	県教委委嘱も含む
15	教育研究員研究	市教委委嘱教育研究員による本市学校教育の充実に資する研究	教務主任又は研修主任
16	教科等研究員研究	市教委委嘱教科等研究員による教育活動の促進及び教育指導の充実	教科等の研究員
17	人権教育指導資料作成	人権教育を推進するための指導事例集等の作成	指導資料作成委員 市内小・中・義から17名
18	体力向上推進委員会	市内児童生徒の体力向上推進を図る企画や運営等の実践的研究	体力向上推進委員 （各校1名）
19	生徒指導特別委員会	中学校間の情報交換、非行防止の研究、関係機関からの情報提供及び助言	年間3回実施
20	こころのサポートチーム学校訪問	教育相談センターと学校の連携を図るこころのサポートチームによる学校訪問	年間3回実施
21	就学支援委員会	就学支援委員による適正な就学のための相談とその援助	各学校1名の就学支援委員、医師等
22	特別支援教育巡回相談	特別な支援を必要とする児童生徒への対応や校内支援体制についての指導・助言（計画訪問）	カウンセラー・レインボーサポートチームメンバー
23	特別支援教育推進チーム（レインボーサポートチーム）	特別な支援を必要とする児童生徒への対応や校内支援体制についての指導・助言及び春日部市特別支援教育推進のための研究（随時）	カウンセラー・レインボーサポートチームメンバー
24	通級指導教室入退級事務	通級指導教室入級、退級に係る事務	通級児童生徒の把握、諸手続き
25	健康診断	児童生徒、教職員の健康診断を行い、健康の増進を図る	内科医、歯科医、眼科医、薬剤師等
26	保険給付事務	日本スポーツ振興センター及び学校災害賠償保険の給付事務	給付事務の掌理
27	小学校英語活動支援事業	市内小学校における英語活動を支援するための教材支援、人材活用支援、グローバル集会の開催	グローバル集会は市内を2ブロックに分けて開催
28	中学生社会体験チャレンジ事業	市内事業所等での3日間の社会体験、福祉体験（市内中学1年生及び義務教育学校7年生）	社会体験チャレンジ事業推進委員会が実施（11/10～12/R2中止）
29	適応指導教室運営事業	不登校児童生徒を対象に、自立と学校復帰に向けた指導・支援	春日部市適応指導教室「そよかぜ」「すくすく」
30	春日部市教育月間	学校の教育活動の公開等を通して、学校・家庭・地域が一体となった教育を推進する	11月：春日部市教育月間
31	スーパー元気・さわやかキャンペーン	いじめ、不登校を生まない土壌づくりを目的とした学校、保護者、地域社会の連携（スーパー元気・さわやか集会の開催）R2集会は中止	スーパー元気・さわやかキャンペーン期間（9/1～11/30）
32	いじめ防止対策推進事業	いじめ問題対策連絡協議会にて、市内関係各所と連携を図り、いじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進する	いじめ問題対策連絡協議会 いじめ問題対策調査委員会
33	カスカベ・ウインター・チャレンジ	児童生徒の算数・数学における学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。	指導担当 3学期頃にテストを実施予定
34	資料等作成事務	①学校教育だより（年間2回発行） ②環境教育副読本の編集・発行 ③社会科副読本「わたしたちのかすかべ」の編集・発行 ④人権教育指導資料「大空」の編集・発行	・7月、3月に発行 ・小5年、中1年 ・小3年 ・人権作文等の掲載

5 指導課主催研修の日程

	研 修 会 名	ね ら い ・ 内 容	対 象	R2予定
1	教職員人権教育研修会	人権、同和問題の解消に向けた人権教育の推進	人権教育主任	2月中旬
2	管理職人権教育研修会	人権、同和問題の解消に向けた人権教育の推進	校長・教頭隔年	1月下旬
3	学校保健会総会・研修会	児童生徒、教職員の健康増進と学校保健、保健管理の在り方	校長・保健主事・養護教諭	調整中
4	保健主事・養護教諭合同研修会	児童生徒、教職員の健康増進と学校保健、保健管理の在り方	保健主事・養護教諭	2月
5	校内ICT管理・活用研修会	校内ICTの活用法と管理運営	管理職等	中止
6	校内ICT活用研修会	プログラミング教育の充実	情報教育担当者	中止
7	生徒指導・教育相談中級研修会	生徒指導・教育相談の理論と実践(中級認定研修) ※県との共催研修	希望者	調整中
8	さわやか相談員スキルアップ研修会	教育相談の基礎基本	さわやか相談員	8月下旬
9	初任者・2年次・臨任教員訪問研修	研究授業を通しての教材研究と指導法の工夫	該当教員	別途計画
10	3年次教員訪問研修	学習指導、学級経営等の研修	該当教員	別途計画
11	初任教員施設体験研修会	春日部市教育の現状、異業種体験、コンピュータ活用等	初任者	8月19日
12	初任者拠点校指導教員研修会	初任者研修指導教員の情報交換、研修	拠点校指導教員	中止
13	特別支援教育推進協議会総会・研修会	特別支援教育の現状と課題について	校長・専門部会メンバー	調整中
14	就学支援実技研修会	適正な就学のための相談、発達検査の演習	就学支援委員	8月18・20日
15	特別支援教育コーディネーター研修会	特別支援教育を推進するコーディネーターの役割等について	コーディネーター	中止
16	特別支援教育管理職・コーディネーター研修会	特別支援教育の現状と課題について	校長・コーディネーター	1月26日
17	特別支援学級担当者(初任・2年次)研修会	特別支援学級の基本的な指導のあり方	特別支援学級担当(初任・2年次)	中止
18	学級担任のための特別支援教育研修会	児童・生徒の状況に応じた、学級担任の支援のあり方	希望者	中止
19	特別支援教育指導法研修会	児童・生徒の理解と指導のあり方	特別支援学級担当他	—
20	教職員人事評価評価者研修会	評価者としての評価能力の向上	管理職	調整中
21	市内小・中学校臨時的任用教員研修会	市内小・中学校臨時的任用教員の資質向上を図る服務研修	所属校で服務研修を行わない、市内小・中学校の臨時的任用教員	中止
22	教職員健康診断	県費負担教職員の健康診断	県費負担教職員	8月1・2・3・4日

6 指導課主催委員会等

	委員会等の名称	ね ら い ・ 内 容	R2予定
1	生徒指導特別委員会	春日部警察、生徒指導推進員との連携、情報交換	6月 11月 2月
2	春日部地区学校警察連絡協議会	健全育成に向けて、春日部警察、市内小・中・高等学校、特別支援学校との連携・情報交換 青少年健全育成地域の集い(庄和市民センター)	5月20日 2月中旬
3	元気アップ推進委員会	いじめ・不登校解消への取組の推進	7月14日
4	スーパー元気・さわやかキャンペーン全体会・担当者会	いじめ・不登校を生まない土壌づくりを目的とした学校、家庭、地域社会の連携	7月16日
5	スーパー元気・さわやか集会	みんなが明るく仲良く元気に生活できる学校になるよう、学校・家庭・地域が一つとなって、 いじめを生まない土壌づくりを図る	中止
6	体力向上推進委員会	児童生徒の体力向上に関する実証的な研究	調整中
7	グローバル交流集会	カスカベ・インターナショナル・フレンド・シップ・デイの計画・運営	11月14日
8	幼・保・小連絡協議会 (兼 学校保健会総会・研修会)	幼稚園、保育所(園)、小学校の連携について	—
9	結核対策委員会	結核の早期発見と早期対応について	調整中
10	教育研究員研究協議会	本市学校教育の充実に資する研究を行う (平成25年度より、3つの達成目標推進委員会と統合)	調整中
11	就学支援委員会	就学支援委員による適切な就学のための相談とその援助	5月15日、 10月13・14日、 11月11日、2月12日
12	就学支援委員会専門部会	専門委員による適切な就学のための相談とその援助のための実務	9月2日
13	就学支援委員会個別相談	専門委員による適切な就学のための相談とその援助のための観察・保護者相談	10月28日～30日
14	人権教育資料作成委員会	人権、同和問題の解消に向けた人権教育の資料作成	調整中
15	小学校社会科副読本編集委員会	小学校3～4年副読本「わたしたちのかすかべ」作成	調整中
16	環境教育資料作成委員会	小学校5年、中学校1年配布の環境教育資料の作成	—
17	春日部市社会体験チャレンジ事業推進委員会	春日部市社会体験チャレンジ事業の推進	中止
18	春日部市社会体験チャレンジ事業実行委員会	春日部市社会体験チャレンジ事業実施に向けての詳細について	中止
19	春日部市いじめ問題対策連絡協議会	いじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進する	11月中旬 2月中旬
20	春日部市立中学校等部活動指導者研修会	いじめの防止等のための対策や重大事態に関する調査審議を行う	9月18日

7 令和2年度 春日部市教育委員会教科等研究委嘱校及び研究委嘱モデル校

通番	学校名	研修課題	委嘱の内容	年度
教科等研究委嘱校	1 粕壁小学校	思いを伝え合い、主体的に学習に取り組む児童の育成 ～必然性のある体験的な言語活動【粕小スタイル】を通して～	英語科	R2 ～R3
	2 内牧小学校	論理的思考力を高める学習指導法の研究 ～言葉・図・式に関連させる数学的活動の充実～	算数科	R2 ～R4
	3 豊春小学校	進んで学び、伝え合い、考えを深める児童の育成	各教科等	H31 ～R3
	4 武里小学校	豊かな言語活動を通して自分の思いや考えを広げ、伝え合う力を高める児童の育成	国語科	H31 ～R2
	5 幸松小学校	「確かな読解力と豊かな表現力の育成」 ～未来社会を生き抜く資質・能力の育成～	国語科	R2 ～R4
	6 豊野小学校	「主体的に学び、豊かに表現する児童の育成」 ～つきたい力を共有して実践する、言語活動と授業づくりを通して～	国語科	R2 ～R3
	7 八木崎小学校	思考力・判断力・表現力の育成を目指した指導方法の工夫	指導法	R2 ～R4
	8 緑小学校	基礎基本を身につけ、主体的に学ぶ児童の育成 ～わかる・できる・楽しい授業を目指して～	算数科	H30 ～R2
	9 上沖小学校	一人一人を確実に伸ばす授業の創造 ～根拠をもとに筋道を立てて考え、表現し、学び合う児童の育成～	算数科	H30 ～R2
	10 正善小学校	自分の考えをもち、表現できる児童の育成	算数科	R2 ～R3
	11 立野小学校	確かな学力と豊かな心を育てる国語科教育 ～生きて働く力を育てる国語科教育～	国語科	R2 ～R3
	12 宮川小学校	学び続ける子どもたち ～主体的・対話的で深い学びの実現をめざして～	国語科	H31 ～R2
	13 藤塚小学校	確かな学力をはぐくみ、表現力を高める指導法の研究 ～学び合いの活動を通し、思考力・表現する力を育てる授業の展開～	国語科	H30 ～R2
	14 武里南小学校	論理的な思考力・判断力・表現力を育成する指導法の研究	算数科	H31 ～R3
	15 武里西小学校	自らの考えを互いに伝え合い、よりよい自己表現ができる児童の育成 ～数学的な見方・考え方ができる授業の工夫～	算数科	R2 ～R4
	16 南桜井小学校	主体的に取り組む、生き生きと活動できる児童の育成 ～学び合いの活動を通して、表現力を育成する指導の工夫～	算数科	H30 ～R2
	17 桜川小学校	伝え合い、学び合い、主体的に学習に取り組む児童の育成（仮） ～春日部メソッドを基盤にした指導方法の工夫～	全教科	R2 ～R4
	18 中野小学校	確かな学力を身につけ、わかる喜びを味わうことのできる児童の育成 ～進んで学び、考えを深め合う算数科授業の創造～	算数科	H31 ～R3
	19 豊春中学校	よりよい人間関係を築き、心豊かでたくましく生きる生徒の育成 ～道徳教育の要となる「授業」と「合唱活動」による道徳性の育成～	特別な教科 道徳	R2 ～R3
	20 武里中学校	主体的に学び、深く考え、豊かな表現力をもった生徒を育てる指導の工夫	各教科等	H30 ～R2
	21 大沼中学校	確かな学力を身につけ、主体的に学ぶ生徒の育成 ～伝え合い、学び合い、育ち合い、思い合いをとoshした学力向上への取組～	春日部 メソッド	H31 ～R2
モデル校	1 備後小学校	豊かに伝え合う力を高める国語教育の充実	国語教育	H31 ～R2
	2 川辺小学校	基礎・基本の確実な定着を目指す指導法の研究	算数教育	H31 ～R3

教育相談センター

1 センターの目標

家庭や学校における養育の充実を図るための相談活動、児童生徒の心のケアや不登校問題の解決を図るための相談活動及び具体的な自立支援等とおして、子育ての支援や子供たちの健全な成長と自立に資する。

2 主な施策



(1) 複雑化、多様化していく社会や家庭生活に起因するさまざまな問題に対して、「いつでも、だれでも、どんなことでも」気軽に相談できる教育相談センターの環境づくり

- ①相談機会の充実を図るために、平日午後7時までの相談への対応、土曜日と日曜日の開所、フリーダイヤルでの電話相談、夜間閉所時の留守番電話対応、ファックスでの相談等に対応する。また、積極的に広報活動を行う。
- ②経験豊かな相談員や臨床心理士、学校心理士、スクールソーシャルワーカーの配置により、さまざまな問題に対応できる相談体制の一層の充実を図る。
- ③教育相談業務の一環として、登校したくてもできない状態にある児童生徒対象のステップ教室（登校支援指導教室）の充実に努める。
- ④不登校の児童生徒を抱える保護者のために「ステップ子育てサロン」を開催し、情報交換等を行うとともに、地域や保護者のネットワークづくりを推進する。

(2) 不登校児童生徒の学校生活や社会生活に適応できる力の育成など、自立支援を目的とする適応指導教室「そよかぜ」及び「すくすく」の組織的、計画的な指導の充実

- ①心因性の不登校と思われる児童生徒や学校だけの関わりでは登校が困難と思われる児童生徒の体験的な活動を積極的に推進し、学校復帰への支援や自主性、主体性の育成に努める。
- ②一人ひとりの実態に応じて、カウンセリング、体験学習、作業的学習、グループカウンセリング等を行うとともに専門的な知識を有する臨床心理士の配置により支援の充実を図る。
- ③月曜日から金曜日の午前9時から午後4時まで（庄和分館「すくすく」は、第2及び第4土曜日の午前9時30分から午前11時30分も）開所し、保護者の支援も積極的に行うとともに、児童生徒の在籍校との連携を密にし、学校生活復帰に向けた指導の充実を図る。

(3) 関係諸機関等との連携による相談活動及び登校支援等の指導の充実

- ①さわやか相談室、児童相談所、家庭児童相談室、市民相談、要保護児童対策地域協議会等との連携を図る。
- ②「こころのサポートチーム」による学校訪問を実施し、児童生徒や保護者、担任への支援を行い、いじめ・不登校問題の早期発見・早期解消を図る。
- ③他市町村教育相談センター・適応指導教室との連携によるシステムの整備を図る。



（４）教職員や相談員等の相談業務の資質向上に向けた研修会の実施

- ①資質向上に向けた研修会の実施（生徒指導・教育相談中級研修会、相談員研修会の開催）
- ②定期的な学校訪問による支援と連携強化
- ③特別支援教育推進チーム（レインボーサポートチーム）による巡回相談の実施

（５）身近な相談センターとしての広報活動による相談センターの活動の充実

- ①「教育相談だより」を市内小・中・義務教育学校の全保護者に配布し、啓発を図る。
- ②「教育相談のあゆみ」を作成し、小・中・義務教育学校及び関係諸機関に配布する。
- ③こども電話相談の案内を配布し、積極的な利用を働きかける。
- ④ホームページの開設により不登校の理解と解消に向けて家庭・地域に働きかける。
- ⑤「いじめ・不登校」問題の正しい理解を目的に、市民等に向けての啓発活動を行う。

（６）特別支援学級における個に応じた指導の充実

- ①特別支援学級の整備充実を図り、障がいの多様化や保護者の様々な願いに応じるよう努める。
- ②児童生徒一人ひとりの特性や学習状況などを的確に把握し、適切な指導を行うための学習形態や支援体制の工夫・改善を行う。
- ③障がいのある児童生徒の社会参加と障がいに対する地域社会の理解促進に努める。



令和2年度 春日部市学校教育 グランドデザイン

法令・学習指導要領
文部科学省・埼玉県教育委員会の方針

第2次春日部市総合振興計画 基本目標1

6

子どもが幸せに育ち、生きる力をよくもち

教育に関する大綱（春日部市）

第3期埼玉県教育振興基本計画

豊かな学びで未来を拓く埼玉教育

基本理念

- I 確かな学力の育成
- II 豊かな心の育成
- III 健康やかな体の育成
- IV 自立する力の育成
- V 多様なニーズに対応した教育の推進
- VI 質の高い学校教育のための環境の充実
- VII 家庭・地域の教育力の向上
- VIII 生涯にわたる学びの推進
- IX 文化芸術の振興
- X スポーツの推進

生きる力を育む
学校づくりの推進

一人ひとりを大切に
した教育の推進

充実した学校環境
づくりの推進

春日部市教育行政重点施策

- 1 学校教育の充実
- 2 学校施設の整備・拡充
- 3 青少年教育の充実
- 4 社会教育の充実
- 5 文化・芸術の振興
- 6 スポーツ・レクリエーションの推進
- 7 人権教育・啓発の推進

かすかべっ子 はぐみプラン

＝指導課の重点施策＝

①特色ある
学校づくりの推進

春日部の
チャレンジ8

②基礎学力の定着
及び向上

③豊かな心の育成

④心身の健康づく
り体力向上

⑤社会の変化に対
応した教育の充実

⑥教職員の資質の
向上

⑦人権教育
の推進

⑧特別支援教育の
推進

小学校英語教育の推進
～未来の国際人の育成～

CHALLENGE 1

理科・科学教育の推進
～小さな科学者の育成～

CHALLENGE 2

生きる力を支える言語能力
の育成 ～手ぶかの育成～

CHALLENGE 3

芸術・文化活動の推進
～豊かな心の育成～

CHALLENGE 4

こころのスクールサポート
～困りへの支援～

CHALLENGE 5

食育・体育の推進
～健康やかな身体力の育成～

CHALLENGE 6

教師の学びの支援
～意欲ある教師への支援～

CHALLENGE 7

地域とともに歩む学校
～公立学校の歩み～

CHALLENGE 8

【指導課主催主要事業】

- ①特色ある教育推進事業
- ②学校教育支援事業
- ③英語指導助手招致事業
- ④教育相談センター運営事業
- ⑤こころのサポート推進事業
- ⑥特別支援教育推進事業
- ⑦市教育研究会補助事業
- ⑧中学生社会体験チャレンジ事業
- ⑨各種大会児童・生徒派遣補助事業
- ⑩保健衛生事務事業
- ⑪いじめ防止対策推進事業

伝えたい！ 学びたい！ 育ちたい！ 思いあいが うれしい教室 うれしい学校
地域に根差し、地域に支えられ、地域から誇りにされる魅力ある学校づくり
かすかべから世界へ かすかべから未来へ

（春日部メソッドの推進）

学 校 紹 介

春日部市立

小 学 校 2 2 校

中 学 校 1 1 校

義務教育学校 1 校

児童・生徒数、学級数及び教職員数

(令和2年5月1日現在)

	学校名	校長氏名	教頭氏名	児童・生徒数	学級数	学級種別		教職員数
						通常学級	特別支援学級	
1	粕壁小	鹿間 聡	岩見奈津枝	760	26	24	知的1・自閉情緒1	36.4
2	内牧小	橋本 葉子	大八木健夫	510	21	18	知的1・自閉情緒2	30.0
3	豊春小	松原 秀樹	花車 進矢	595	21	18	知的1・自閉情緒2	34.4
4	武里小	小熊三千世	高橋 秀樹	439	16	14	知的1・自閉情緒1	25.0
5	幸松小	高野 正晴	飯塚 耕治	492	18	16	知的1・自閉情緒1	26.0
6	豊野小	佐山 宏樹	長野 典子	332	14	12	知的1・自閉情緒1	21.4
7	備後小	安東由美子	鹿田 大輔	264	12	10	知的1・自閉情緒1	22.0
8	八木崎小	正籬 洋子	秋元 伸也	639	22	19	知的2・自閉情緒1	32.4
9	牛島小	嶺 慎二郎	高橋 武志	442	16	14	知的1・自閉情緒1	26.0
10	緑小	川崎 信雄	尾嶋 直江	367	15	13	知的1・自閉情緒1	23.4
11	上沖小	長谷川 守	小林 進治 佐藤 直子	948	31	28	知的2・自閉情緒1	45.4
12	正善小	窪田 忍	金澤 康弘	389	15	12	知的1・自閉情緒2	23.0
13	立野小	石川 昌保	小林 成和	564	21	18	知的2・自閉情緒1	31.0
14	宮川小	田矢 真理	中野 貴子	187	8	7	自閉情緒1	14.0
15	藤塚小	今木 敏浩	井生 大輔	305	14	12	知的1・自閉情緒1	22.0
16	小渕小	小沢 仁志	柿澤 英和	311	14	12	知的1・自閉情緒1	22.4
17	武里南小	中島 剛	福田加寿美	371	13	12	知的1	21.4
18	武里西小	横崎 剛志	渡部 里恵	540	21	18	知的2・自閉情緒1	32.0
19	南桜井小	福岡 秀晴	梶村 麗子	418	14	12	知的1・自閉情緒1	22.0
20	川辺小	鈴木 美江	鷺林 潤壱	471	17	14	知的1・自閉情緒2	24.4
21	桜川小	加藤 大二	飯野 正章	648	24	18	知的3・自閉情緒3	37.0
22	中野小	木田真貴子	小峰 俊章	324	14	11	知的1・自閉情緒2	21.4
小計				10,316	387	332	55	593.0
1	春日部中	清野 定信	松原 睦 中島 毅	859	25	23	知的1・自閉情緒1	52.0
2	東中	小林 修	橋本 敦	588	18	16	知的1・自閉情緒1	37.4
3	豊春中	久保田 悟	菅野 恒典	404	13	11	知的1・自閉情緒1	27.0
4	武里中	菊野 大	名取 敬	504	16	13	知的2・自閉情緒1	33.0
5	大沼中	大野 明彦	新井 勲	541	16	14	知的1・自閉情緒1	32.0
6	豊野中	齊藤 哲	櫻井 稔	489	16	14	知的1・自閉情緒1	30.4
7	緑中	小林 孝之	山下 洋一	295	12	9	知的1・自閉情緒2	25.4
8	大増中	三浦 裕	酒井 一好	315	11	9	知的1・自閉情緒1	24.0
9	春日部南中	永野 修	吉田佳津美	483	15	13	知的1・自閉情緒1	33.4
10	葛飾中	野田 隆幸	飯塚 浩明	482	16	13	知的2・自閉情緒1	33.4
11	飯沼中	田村 嘉則	清水 美宏	347	11	9	知的1・自閉情緒1	25.0
小計				5,307	169	144	25	353.0
1	江戸川小中	小林 学	早乙女泰正 遠藤 武志	(前) 120 (後) 70	(前) 6 (後) 3	(前) 6 (後) 3		(前) 12 (後) 11
小計				190	9	9	0	23.0
合計				15,813	565	485	80	969

学校施設の現況

(令和2年5月1日現在)

学 校 名		保 有 校 地 面積㎡	保 有 運動場 面積㎡	保 有 校 舎 面積㎡	保 有 体育館 面積㎡	保 有 給食室 面積㎡	普 通 教 室 保有数	特 別 教 室 保有数	特 別 教 室 内 訳													
									理 科	生 活	音 楽	図 工	美 術	技 術	家 庭	外 国 語	視 聴 覚	C P	図 書	特 活	相 談	進 路
1	粕 壁 小	21,834	9,182	6,334	936	336	26	11	1		1	1			1			1	1	4	1	
2	内 牧 小	20,087	9,222	5,889	996	267	21	10	1	1	1	1			1			1	1	2	1	
3	豊 春 小	19,899	9,200	6,100	958	364	21	14	1		1	1			1			1	2	7		
4	武 里 小	11,343 (3,710)	5,379	4,869	824	187	16	13	1	1	1	1			1		1	1	1	4	1	
5	幸 松 小	22,125	8,845	5,465	701	229	18	12	1		1	1			1			1	1	5	1	
6	豊 野 小	22,779	9,361	6,390	706	187	14	13	1	1	2	1			1			1	1	5		
7	備 後 小	19,389	7,208	5,340	938	284	12	9	1		1	1			1			1	1	3		
8	八木崎小	26,362	12,124	6,596	929	226	22	15	1	1	1	1			1			1	2	6	1	
9	牛 島 小	33,739 (4,063)	19,520	7,106	929	215	16	18	1	1	1	1			2		1	1	2	7	1	
10	緑 小	30,509	15,488	5,909	936	226	15	12	1	2	1	1			1			1	1	4		
11	上 沖 小	25,072	10,128	6,784	936	268	31	7	1		1	1			1			1	1	1		
12	正 善 小	23,365	9,391	6,497	936	216	15	18	1		1	1			1			1	1	11	1	
13	立 野 小	25,016	10,891	6,817	936	274	21	12	1	0	2	1			1			1	1	4	1	
14	宮 川 小	29,057 (522)	14,635	5,019	936	245	8	13	1	0	1	1			2			1	1	6		
15	藤 塚 小	28,088	13,117	5,179	936	240	14	12	1	1	1	1			1		1	1	1	3	1	
16	小 渕 小	25,901	12,200	5,097	936	256	14	13	1	0	1	1			2		1	1	1	5		
17	武里南小	20,043	7,321	7,280	1,314	450	14	12	1		2	1			1				1	5	1	
18	武里西小	20,811	7,547	7,021	910	464	21	9	1		2	1			1				1	2	1	
19	南桜井小	13,927	6,795	4,698	760		14	15	1	1	2	1			1			1	2	5	1	
20	川 辺 小	20,182	5,782	4,746	810		17	9	1	1	1	1			1			1	1	2		
21	桜 川 小	33,034	10,015	5,648	1,474		24	11	2		1	1			1			1	1	4		
22	中 野 小	22,132	12,463	3,439	829		14	5	1		1	0			1			1	1			
	小 計	514,694	225,814	128,223	20,566	4,934	388	263	23	10	27	21	0	0	25	0	4	20	26	95	12	0
1	春日部中	25,114	12,402	7,283	1,906	302	25	16	2		3		2	2	2			1	1	2	1	
2	東 中	29,144	17,097	7,670	2,135	453	18	22	2		2		2	1	2			1	1	7	3	1
3	豊 春 中	25,380	14,760	5,594	1,056	302	13	15	2		2		2	2	2			1	1	2	1	
4	武 里 中	37,457	15,263	5,895	2,814	317	16	18	2		2		2	2	2			1	1	3	3	
5	大 沼 中	31,704	14,548	7,343	1,087	308	17	14	2		2		2	2	2			1	1	1		1
6	豊 野 中	30,527	13,993	6,970	1,087	306	16	17	2		2		2	2	2		1	1	1	1	2	1
7	緑 中	26,240 (596)	11,209	5,750	1,097	300	12	19	2		2		2	2	2	1		1	1	3	2	1
8	大 増 中	32,752	15,812	5,842	1,112	305	11	16	2		2		2	2	2			1	1	2	1	1
9	春日部南中	27,093	11,337	6,529	1,087	307	15	15	2		2		2	2	2			1	1	1	2	
10	葛 飾 中	32,464	19,667	6,404	1,312		16	18	2		2		1	2	2		1	1	2	2	2	1
11	飯 沼 中	31,845	14,262	4,767	1,001		11	14	2		2		2	2	2			1	2		1	
	小 計	329,720	160,350	70,047	15,694	2,900	170	184	22	0	23	0	21	21	22	1	2	11	13	24	18	6
1	江 戸 川 小	24,288	16,553	4,267	690		9	12	1		1		1	1	2			1	2	2	1	0
	小 計	24,288	16,553	4,267	690	0	9	12	1	0	1	0	1	1	2	0	0	1	2	2	1	0
	合 計	868,702	402,717	202,537	36,950	7,834	567	459	46	10	51	21	22	22	49	1	6	32	41	121	31	6

出典:施設台帳

()内数値は借地・借用外数



学校名 **春日部市立粕壁小学校**

校長名 **鹿間 聡**

所在地 春日部市粕壁東3丁目2番19号

連絡先 048-754-6321 FAX 048-763-9674

創立記念日 明治5年10月1日

開校記念日 11月15日

児童数 760名（令和2年5月1日現在）

＜本年度の研究テーマ＞

「思いを伝え合い、主体的に学習に取り組む児童の育成」
—必然性のある体験的な言語活動【粕小スタイル】を通して—



1 沿革

本校は、明治5年、日光街道粕壁宿最勝院に小学校を創設したことにさかのぼる。以来、震災による2度の校舎倒壊などを経て、昭和13年に現在の地へ移転する。翌14年11月15日に木造校舎落成式典を行い、この日を開校記念日とする。児童数増加に伴い、昭和47年には八木崎小学校が、昭和51年には緑小学校・上沖小学校がそれぞれ本校より分離し新設される。

昭和33年の国語教育文部省実験学校の研究委嘱以来、本校は研究推進校としての役割を担っている。平成9年度から、文部省研究開発学校として英語教育の研究に取り組んでおり、毎年、県内外から数多くの参会者を招いて研究発表会を実施している。平成22年度からは、文部科学省教育課程特例校としての指定を受け、さらに特色ある教育課程の研究を推進しているところである。発達段階に合う系統性を意識した学習内容・指導方法の工夫、より効果的な評価方法の確立に重点を置き、知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育む教育を目指している。

2 学校教育目標

「心身ともに健康で豊かな心情にみちた実践力のある人間の育成」

社会の変化が激しく、考え方や生き方が多様化している中で、主体的・創造的に生き抜いていくためには、学習指導要領の根幹と言える「生きる力」を育むことが肝要である。これは、春日部市教育行政の重点施策に掲げられている「かすかべっ子はぐくみプラン」と同義のものである。児童が生涯にわたり、自ら考え判断し行動できる基盤を培い、「知・徳・体」の調和のとれた「実践力」のある人間を育成することを期し、本校の学校教育目標を上記の目標とする。

3 本年度の取組

開校149年目を迎える今年度は、「伝統と創造」を大切にし、一人一人に「夢と誇り」を育む教育活動を推進する。そのために、豊かな学びで実践力を身につける学校を目指す。今年度は、**FOR YOU**

①豊かな学びを進める学校 ◇【一生懸命】取り組む『学び』

- ・学力の確かな定着を図るため、各教科の授業で「粕小学力向上プラン」の実践を進める。
- ・道徳授業の充実、学年交流・異学年交流、集会活動等をとおり、人としての生き方を身に付け、人間関係を深め、豊かな体験により道徳的な実践力のある児童を育成する。
- ・体育授業の充実や体育環境の整備、「朝の体育活動」の取組をとおり、運動好きで自らの健康と体力の向上に取り組める児童の育成に努める。

②実践力を身につける学校 ◇【自分から】行動できる『人』

- ・長年研究してきた小学校英語活動の在り方について、組織的・計画的に研究を推進する。
- ・学年や発達段階に応じた、教科等で身に付けるべき学力を明確にした指導計画・評価計画のもと、児童一人一人が成就感と達成感を味わい、学習意欲を高める学習指導の工夫改善に努める。社会に出たときに生きる実践力を身につける。

③感動を紡ぐ学校 ◇【ありがとう】がこだまする『命』

- ・学年・学級経営の充実に努め、生きがい・居がい・やりがいのある経営に努める。
- ・「笑顔と褒め言葉」の溢れる学校を目指す。明るい笑顔は、人に勇気を与えやる気をおこす。褒め言葉は、自信と夢を持たせ自立心や向上心が育つ。笑顔と褒め言葉の溢れる支援を行う。



学校名 **春日部市立内牧小学校**

校長名 **橋本 葉子**

所在地 春日部市内牧2 4 1 5 番地2

連絡先 048-752-3256 FAX 048-763-9675

創立記念日 明治6年7月18日

開校記念日 7月18日

児童数 510名（令和2年5月1日現在）

＜本年度の研究テーマ＞

論理的思考力を高める学習指導法の研究

一言葉・図・式等を関連させる数学的活動の充実（算数科1年次）



1 沿革

本校は、明治6年、内牧村矢島芦丸氏宅（初代校長）に、内牧第1 1 4 番地小学校として開校したところから始まる。明治12年に香林寺に移転し、明治20年に内牧尋常小学校と改称、明治35年に現在地に校舎を新築する。昭和29年には春日部市立内牧小学校となり、今年度、開校147年の歴史を迎えた。

内牧地区は、緑豊かな台地に位置し、果樹や花卉栽培の盛んな地域であり、自然環境に恵まれている。

2 学校教育目標

「かしこく なかよく たくましく」

『学び合い・伝え合える子』『明るく、思いやりのある子』『根気強く、体をきたえる子』をめざす児童像として、『確かな学力の定着』『豊かな心の育成』『たくましい身体づくり』を本年度の重点とし、児童の意欲を喚起できるよう取り組んでいます。

3 目指す学校像

学校教育目標を達成するため、「子どもの笑顔と活力にあふれた地域と共に歩む学校～つなぐ教育～」を目指す学校像とし、全職員の創意と英知を結集し、日々の教育活動に取り組んでいます。

（1）学びを夢につなぐ

○子ども達一人一人の夢を実現させるべく、全教育活動を通して学力を身につけさせます。そのためには、日々の学習指導の中で「主体的・対話的で深い学び」を実施します。

○研究テーマを改め、今年度も引き続き算数科の指導法研究に重点を置いて取り組んでおります。また、業前の「算数タイム」昼休みの「内牧計算道場」を通し、基礎的・基本的な知識技能の向上を図ります。

（2）あいさつが心をつなぐ

○「いつでも・どこでも・だれにでも」を合い言葉として、教員や子供たち、家庭や地域の方々お互いにも気持ちの良い「あいさつ」を交わし、コミュニケーションを図ります。

○児童・教員が日々、言葉を交わし、心をつなぐことによって、誰もが自分の居場所のある学級経営を行い、「いじめのない」学校を作ります。

（3）食育で地域をつなぐ

○「魅力ある学校給食」学校生活を豊かにし、社会性及び協同の精神を育てます。

○「多様な交流給食」異学年・同学年との交流給食を実施し、給食を通じて豊かな人間関係を育てます。

○『食』に関する指導の充実 地域の農家さんやNPO 法人の方を指導者として招聘し日常生活における食について正しい理解を深め、健全な食生活を営むための判断力や望ましい食習慣を培い、自己管理能力を育てます。



学校名 **春日部市立豊春小学校**

校長名 **松原 秀樹**

所在地 春日部市道順川戸37番地1号

連絡先 048-754-0726 FAX 048-763-9676

創立記念日 明治6年4月6日

開校記念日 10月15日

児童数 595名（令和2年5月1日現在）

<本年度の研究テーマ>

「進んで学び、伝え合い、考えを深める児童の育成」（2年次）

～ユニバーサルデザインの視点をもった授業改善を目指して～

1 沿革



本校は、明治6年、花積の東西寺に花積学校が、上谷原に谷原学校が創設されたことから始まる。明治19年には、この二校を統合して増富学校ができ、その増富学校を明治23年10月15日に豊春小学校と改称、この日を開校記念日とし、今年度開校147年を迎えた。昭和52年に立野小学校、昭和53年に宮川小学校が新設され、それに伴って、東武野田線と国道16号線にはさまれた地域が本校の学区となる。

本校の校章に示された2つの稲穂は、豊かな自然の恩恵と人の和に支えられた郷土の学校を表すとともに、学校・家庭・地域の絆や連帯感を象徴している。

2 学校教育目標 **みんな友だち 豊かな心 あふれる意欲**

○学び合い・伝え合い（知）… よく学び 力をつける子

○支え合い・思い合い（徳）… 友だちと なかよくできる子

○高め合い・育ち合い（体）… はつらつと 体をきたえる子

生きる力を支える「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく育み、地域や社会のために貢献できる人間を育てる。



3 目指す児童像

【知】◇学ぶことに「興味」「関心」「意欲」を持ち、進んで学習する子

◇自ら考え、解決の方法を見つけだす子

◇自分の考えをまとめ、表現することができる子

【徳】◇人の心の痛みを感じることができる子

◇明るいあいさつや返事ができる子

◇規律や秩序、礼儀を理解し、生活に生かせる子

【体】◇運動を好み、進んで体をきたえる子

◇ねばり強くものごとに取り組める子

◇健康な生活習慣を身につける子

4 本年度の取り組み キーワード「心が通い合い、笑顔になれる学校」

一つながりをつくりながら高め合い、地域に広がる学校をめざしてー

（1）学び合い・伝え合う児童の育成

- ・課題づくりや学習のまとめを子どもと共にし、日々の授業の中で深い学びを推進する。
- ・学習時における姿勢や返事の仕方、話の聴き方や発表の仕方等、学習規律を身につけさせる。
- ・ユニバーサルデザインの視点をもった授業・環境づくりを通して、全校のスキルアップを推進する。

（2）支え合い・思い合う児童の育成

- ・「つながり広がるあいさつ 春日部ナンバーワン、豊春オンリーワン」の合い言葉のもと、人とのつながりを大切にしたいあいさつを推進する。（明るく、はっきりと、目と目を合わせて）
- ・道徳の授業研究を通して授業力の向上を図り、実践的な道徳力を育成する。
- ・教育相談機能の充実（豊春中・関係諸機関との連携）を図り、良好な人間関係をつくり信頼し合える関係を醸成する。

（3）高め合い・育て合う児童の育成

- ・朝の運動時間の確保や体育朝会を工夫すると共に、運動量を確保した日々の授業づくりを推進し、運動の日常化、運動習慣の定着を図る。
- ・むし歯治療率の向上、ランチルームを生かした給食指導の充実を図ることで、保健・安全教育、食育を推進する。
- ・異年齢による交流活動を通して、高め合い、育ち合う個と集団の育成を推進する。



学校名 **春日部市立武里小学校**

校長名 **小 熊 三 千 世**

所 在 地 春日部市備後西5丁目5番2号

連 絡 先 048-735-3026 FAX 048-734-9402

創立記念日 明治6年5月

開校記念日 6月5日

児 童 数 439名（令和2年5月1日現在）

武里小は、一ノ割駅・武里駅の両駅から徒歩約15分の市街地にある開校147年を迎える歴史と伝統のある学校です。本校児童は、地域の学校に寄せる深い愛情と期待に支えられ、伸び伸びと学校生活を送っています。本校児童に関わる者すべてにとって子ども達が明るい希望であること、また、子ども達自身も明るい希望をもってまっすぐに伸びていくことを願って、本校児童は「わかたけっこ」という愛称で親しまれています。職員一丸となり、学校教育目標の具現化のため、「誠実」「丁寧」を合い言葉に日々の教育活動に取り組んでおり、今年度も、武里の地域に根ざした魅力ある学校づくりを推進しています。

1 学校教育目標 「 伸びよ わかたけ 明るい 希望 」

かしこく 〈知〉【主体的に学ぶ力の育成・学力の向上】

なかよく 〈徳〉【思いやりの心・協力し合う態度の育成】

たくましく 〈体〉【体力の向上・たくましい心の育成】



2 学校経営方針

教職員のチームワークと家庭・地域との協働により、一生懸命いっぱい、思いやりいっぱいの心豊かな児童を育成する。

(1) 目指す児童像

「何事にも一生懸命取り組む心豊かな児童」

- ① 主体的に学習に取り組み、確かな学力を身に付けている児童
- ② 思いやりの心を持ち、協力して取り組む児童
- ③ 進んで運動に親しむ児童
- ④ 自立心を持つ児童



(2) 目指す学校像

「家庭・地域との協働を深め、一生懸命いっぱい、思いやりいっぱいの心豊かな児童を育てる学校」

- ① 「分かる授業」、「楽しい授業」が展開され、確かな学力が育まれる学校
- ② 互いに認め合い、信頼し合い、励まし合える学校
- ③ 「明るいあいさつ」、「歌声」に満ちた学校
- ④ 家庭・地域との協働を積極的に進める学校

(3) 目指す教師像

「豊かな人間性と専門性を持ち、児童・保護者・地域に信頼される教師」

- ① 児童一人一人を大切にする教師
- ② 楽しく、分かる授業を実践する教師
- ③ 広い視野を持ち、自己研鑽に励む教師
- ④ チームワーク（目標を共有し、協働する）を大切にする教師



3 本年度の重点・努力点

- | | | |
|--------------------------|---------------|--------------------|
| (1) 確かな学力の定着・向上 | (2) 心豊かな児童の育成 | (3) 体力の向上 |
| (4) 自立心をもつ児童の育成 | (5) 家庭・地域との協働 | (6) 安心・安全な学校づくりの推進 |
| (7) 学校経営への積極的参画、研究・研修の推進 | | |

4 本年度の学校課題研究

研究教科 「国語科」

研究主題 「確かな読みをもとに、豊かな学びを追及する児童の育成」 （市委嘱2年次）



学校名 **春日部市立幸松小学校**

校長名 **高野 正晴**

所在地 春日部市八丁目353番地1

連絡先 048-752-3215 FAX 048-763-9677

創立記念日 明治6年5月1日

開校記念日 5月1日

児童数 492名（令和2年5月1日現在）

＜本年度の研究テーマ＞ 「確かな読解力と豊かな表現力の育成」（国語科・1年次）

－ 未来社会を生き抜く資質・能力の形成 －



◎明治6年に小淵学校・牛島学校・文友学校としてスタートし、明治25年に幸松尋常小学校となり創立147年を迎える歴史と伝統ある小学校である。春日部駅東口から北東へ約1.2km、古利根川を渡ったところに位置している。広大な学区には商業施設やマンション・農村地域が混在しており、国道4号と16号が交差する交通の要衝でもある。



◎学校教育目標 **〇かしこく 〇たくましく 〇あたたかく**

目指す学校像

地域と共に歩む「おらが学校」幸松小

※「児童が通いたい、保護者が通わせたい、地域の方が応援したい、職員が働きたい学校」

目指す児童像

「伝統の灯」（健康・友情・希望・努力）を継承する児童

目指す教師像

児童の夢の実現のために愛情と情熱を持ち教育者として常に学び続ける教師

◎幸松小学校経営の6つの重点

- ①学校教育目標の具現化の充実（単元を見通した一時間一時間の授業の充実、児童の自主性を伸ばす指導）
- ②学年・学級経営の充実（学年会での教育指導の検討、生徒指導の充実、教育環境整備、教材教具の開発）
- ③児童のよさを生かす教育の推進（食育・臨床美術の充実、共感的児童理解、心の教育の推進）
- ④教育環境の充実（黙々と掃除をする子の育成、校内掲示や特別教室の環境整備、校庭一部芝生化）
- ⑤特別支援教育の推進（行事や交流学习での積極的交流、人権に対する理解と意識の高揚）
- ⑥学校安全体制（学校・家庭・地域が連携した安全管理の徹底、安全・防犯意識を高める安全教育）

☆幸松小学校の特色ある教育活動

- (1) 本校は、長い歴史と伝統から培われた交流教育を推進している。「まこも馬づくり」は今年度で37回目をむかえる本校伝統の活動であり、地元高齢者の会「松寿会」の方が中心となって行われる。さらに、学区内にある幼・中・高・特支学校との交流等、保護者や地域に支えられた教育を行っている。「放課後子ども教室(幸松っ子くらぶ)」では、地元の指導者の支援により、低学年から高学年まで楽しめる企画を実施。今年度も多くの子どもたちが年間10回の参加を予定している。

また、学校図書館や家庭科等の授業のサポート活動、休日の会（おやじの会）の活動、校内巡回や校舎内外の清掃や整備等、保護者・地域の方々による学校応援団活動も盛んである。

- (2) 学習活動では少人数指導や習熟の程度に応じた指導、繰り返し学習の徹底など、個に応じた指導を積極的に取り入れて基礎・基本の定着を図っている。また、今年度より春日部市教育委員会の研究委嘱を受け、国語科を主たる研究教科に据え、読解力・表現力の育成に取り組んでいる。

＜令和2年度の研修計画＞

- ①現状把握（学力テストの結果分析・児童、保護者へのアンケート・新学習指導要領の読み込み）
- ②目指す児童像の明確化
- ③研究仮設の設定
- ④研究内容（方法）の明確化・系統性の確認
- ⑤授業研究（目指す児童像に迫るための方策を取り入れた授業実践
- ⑥研究の評価とまとめ



学校名 **春日部市立豊野小学校**

校長名 **佐山 宏樹**

所在地 春日部市銚子口1087

連絡先 048-735-2112 FAX 048-734-9403

創立記念日 明治6年5月1日

開校記念日 5月1日

児童数 332名（令和2年5月1日現在）

＜本年度の研究テーマ＞

「主体的に学び、豊かに表現する児童の育成（国語科）」

～つきたい力を共有して実践する、言語活動と授業づくりを通して～



明治6年、藤塚学校として開校し、農村地区の学校として長い歴史をもっている。昭和45年頃から都市化が始まり、新興住宅の建設に伴い、児童数が急増した。昭和54年には藤塚小と分離し、今年度開校147年を迎える。

本校では、学校教育目標「豊かな心を持ち、自ら学ぶたくましい子」の下、知育・徳育・体育において一人一人を大切にしたいきめ細かな指導を充実させて、「生きる力」を育むことを目指している。本校は豊かな自然環境に恵まれている中、児童は優しく明るく伸び伸びと育っている。

本校の目指す児童像は「学びあう子」「助けあう子」「きたえあう子」である。「学びあう子」では、意欲的に学習に取り

組み、自分の思いや考えを深める児童の育成を目指している。具体的には、①学習規律の確立、②基礎基本の定着、③仲間と学び合い、自分の考えを伝える学習の工夫、④既習を生かし新たな課題解決に取り組む授業の工夫改善、⑤家庭学習の習慣化、である。「助けあう子」では、思いやりの心を持ち、はじめある生活ができる児童の育成を目指している。具体的には、①笑顔で元気なあいさつと返事、②決まりを守った行動、③清掃活動に進んで取り組む児童や、④自他を大切に、友達と仲良くでき、⑤感謝や思いやりの気持ちを言葉や行動に表わせる児童の育成、である。「きたえあう子」では、自ら進んで体をきたえる児童の育成を目指している。具体的には、①めあてを持って運動に取り組む、②外で元気に遊び、③根気強く運動に取り組む児童の育成を図るとともに、④早寝早起き朝ごはんの規則正しい生活習慣の確立、⑤バランスの良い食生活など、食育の推進、などである。その他にも様々な体験活動を推進し、学校教育目標の実現を目指している。

本校の特色の一つに、『創意を生かし、魅力ある豊野小学校の創造』～【豊野小・10コスモス】の推進がある。①3つの宝②3つの誇り③3つのあい④3つの大切⑤3つの学び⑥3つの徳育⑦3つの健康⑧3つの環境⑨3つの活動⑩3つの連携等、10の価値項目を「豊野小・10コスモス」とし、創意を生かし、各項目の取組を充実させることにより、魅力ある豊野小学校の実現を教職員一丸となって推進している。

また、今求められている学力を確実に児童に身に付けさせるため、学校課題研修において、「主体的に学び、豊かに表現する児童の育成（国語科）」に焦点を当てて研修に取り組んでいる。研修では、本年度、春日部市教育委員会の研究委嘱を受け、これまでに培ってきたユニバーサルデザインの視点を生かし、児童が主体的に学習活動に向かえるよう、①語彙力、表現力をつける工夫、②考える力を育成する授業の工夫改善、③まとめとふりかえりに重きをおき、深い学びにつなげていく。以上の3点を柱に、伸びたいと願う子どもたちの目指す子ども像(ゴール)を明確に見定め、常態のレベルアップを図っていく。本年度は、研究委嘱1年目ということで、研究の方向性をじっくりと見定め、低・中・高学年からそれぞれ研究授業を提案し、“提案→研究→検証”をスパイラルに積み上げていく。そして、教員の授業力の向上を図り、児童の学力向上を実現させていく。

「開かれた学校づくり」のためには、新型コロナウイルス感染拡大防止を含む、学校に係わるすべての方々の安心安全を第一に考えつつ、その中で「何が行えるか」「どのような形で行えば子どもたちによりよいものとなるか」「そのためにはどのような工夫とチャレンジを行っていけばよいのか」を学校、家庭、地域がともに知恵を出し合って、学校行事、学習活動のスクラップアンドビルドを合言葉に、社会に開かれた教育課程を実現していく。子どもたちの元気で明るいあいさつが学校内外に響き、自分に自信のもてる勢いのある学校を目指し、子どもの学びや姿から地域も共に活性化する教育を展開していく。



学校名 **春日部市立備後小学校**

校長名 **安東 由美子**

所在地 春日部市備後西3丁目2番1号

連絡先 048-735-8479 FAX 048-734-9407

創立記念日 昭和47年4月1日

開校記念日 6月25日

児童数 264名（令和2年5月1日現在）

本年度の研究テーマ

「豊かに伝え合う力を高める国語教育の充実」
～全職員で取り組む発問・切り返しの工夫（説明的な文章を中心に）～
令和元・2年度 春日部市教育委員会研究委嘱
国語科モデル校



1 沿革

本校は、昭和47年に開校し、本年で49年目を迎える。校章のデザインになっている「やまぶきの花」は、昔、本校が所在する備後須賀地区にたくさん咲いており、地域の方々に「やまぶきの里」として親しまれたことに由来している。

2 学校教育目標

「進んで学ぶ子・思いやりのある子・健康な子」とし、めざす学校像を、「人にやさしくみんなに愛される備後小学校」 合い言葉「歌声と 元気なあいさつ ありがとう」のもと、全職員が一丸となり、日々の教育活動に取り組んでいる。

3 目指す教師像

- 子供のよさを引き出し、活かす教師＝「責める」より「攻める」
- 子供の立場に立って、子供と向き合う教師＝人に「優しく」そして「易しく」
- 授業で信頼を得る教師＝「教師も常にレベルアップ」
- 子供の取組を価値づけて広げる教師＝「教育の成果は子供の姿で示す」
- 地域へ出て、地域とともに歩む教師＝「学校から地域へ、地域から学校へ」

4 本年度の取組

（1）確かな学力につながる学習指導の充実

- ① 学習意欲の向上を図るとともに、基礎的な知識・技能や思考力、判断力、表現力等を確実に身に付ける学習指導を積極的に展開する。
- ② 児童の自主的、主体的な学習を促すため、問題解決的な学習、体験的な学習や習熟の程度に応じた指導、個に応じた指導など学習指導を工夫する。

（2）豊かな人間性を培う指導の充実

- ① 豊かな心を育む道徳の時間の充実と特別活動の特質、生徒指導の機能を生かした指導の充実により、豊かな人間性を育てる。
- ② JRC 活動を中心に、「気づき・考え・行動する」ことができる児童の育成を推進する。

（3）健康で健やかな体を育てる体育、健康・安全教育の充実

- ① 運動の特性や魅力を味わわせ、体力と運動の技能を高める授業を工夫するなど、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育成する。
- ② 生命の大切さを知り、進んで体力の向上や心身の健康の保持・増進、安全な生活を実践するための態度や能力を育成する。

（4）未来を切り開く力となる「国語力」を育てる指導の充実

- ① 将来子供たちが社会の一員としての責任を担い、社会的な自己実現を図ろうする意欲や態度の育成に努める。
- ② 市教委委嘱「国語教育モデル校」の研究を確かなものとし、その成果を児童の学びの姿を通して発信する。

（5）特別支援教育の充実

- ① 「個別支援計画・指導計画」の作成など、児童一人一人の教育的ニーズに応じた指導の充実を図る。
- ② 発達障害・情緒障害通級指導教室設置校として、自校のみならず地域の学校に学ぶ児童一人一人の「ニーズ」や状態に応じた適切な指導の充実を図る。



学校名 **春日部市立八木崎小学校**

校長名 **正 籬 洋 子**

所在地 春日部市中央4丁目1番

連絡先 048-754-4433 FAX 048-763-9669

創立記念日 昭和47年4月1日

開校記念日 5月10日

児童数 639名（令和2年5月1日現在）

＜本年度の研究テーマ＞

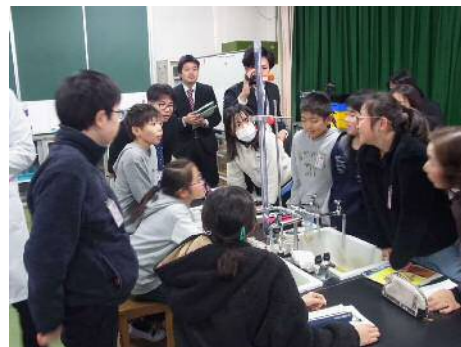
「思考力・判断力・表現力の育成を目指した指導方法の工夫」（1年次）

～ 学ぶ必然性をもたせ、活用する喜びを味わえる授業づくり ～

1 概要

本校は昭和47年4月、粕壁小学校と豊春小学校の過密解消のために開校し、今年度で開校49年目を迎えます。

校区は、春日部市の中心に位置し、春日部駅西口繁華街、商店街、若干の田園地帯と八木崎駅周辺の住宅街を併せもっています。



2 教育計画

「学校は安心・安全が根底にあり、そこから豊かな人間関係が生まれ、学ぶ意欲へとつながる」という学校経営基本理念のもと、学校教育目標として「自ら考え、進んで学ぶ子」「思いやりのある子」「体を鍛え、ねばり強い子」を掲げ、調和のとれた児童の人間形成に努めています。また、目指す学校像を「地域と共に歩む 笑顔あふれる 活力ある学校」とし、児童が通いたい、保護者が通わせたい、教職員が働きたい『八木崎小学校』の実現に向けて、日々の教育活動を推進しています。

3 特色ある教育活動

① 小さなサイエンティストの育成

9年間にわたり、春日部市教育委員会「理科教育モデル校」及び「埼玉県理科教育研究会」の委嘱校として、児童が主体的に取り組む授業を研究してきました。その成果を生かし、新たなことを学び習ったことを活用することの嬉しさを子どもたちがもっと味わい探求を続けていく、まさに「小さなサイエンティスト」の育成を目指しています。さらに、埼玉大学からの支援による、OPPシート（1枚ポートフォリオ評価）を生かし、学びの跡から自信をもたせ、主体的な学びに導く研究にも取り組んでいます。

② オーストラリア・クイーンズランド州との交流事業

埼玉県が推進するオーストラリア・クイーンズランド州との交流事業に参加し、キャノンベール学校（Cannonvale State School）と、昨年度初めてテレビ電話アプリケーションによるリアルタイムな交流が実現しました。外国語の授業では、習った言語が通じる嬉しさを離れた子どもたち同士が共有し合い、異文化についてもっと学びたいという意欲に満ちていました。図工等の作品交流も今後行う予定です。

③ プログラミング教育の推進

ICT機器やビジュアルプログラミング言語等を活用して、プログラミング的思考の育成を図るための研究を行っています。特に、論理的思考力が必要となる算数や理科を中心に授業実践を行うとともに、その一端を授業公開等において、地域や保護者にも積極的に取り組みを発信していきます。

④ 八木崎小サポーターズ（学校応援団）

「八木崎小サポーターズ」は、環境・学習・安全への支援に加え、放課後子ども教室の運営サポートなども行っています。放課後子ども教室では、本校を会場に実施される日本漢字能力検定に向けた学習会やかすかべ郷土かるた大会に向けた練習などを実施します。この他にも、行政や企業と連携してゲストティーチャーを積極的に招聘したり、公民館サークルとの交流を始めたりするなど、地域とともに歩む豊かな学習活動を展開しています。

⑤ 街角子どもギャラリー

毎年12月に、児童の絵画作品を地域の店舗や公共施設に飾っていただく取組を行っています。この取組はすっかり地域に根付いており、八木崎っ子の絵画はどこでも大人気です。自分の作品が地域に受け入れられることは、子どもたちにとってこの上ない大きな励みとなっています。



学校名 **春日部市立牛島小学校**

校長名 **嶺 慎 二 郎**

所 在 地 春日部市牛島1080番地

連 絡 先 048-761-1689 FAX 048-763-9670

創立記念日 昭和50年4月1日

開校記念日 11月15日

児 童 数 442名（令和2年5月1日現在）

＜本年度の研究テーマ＞

主体的・対話的に学びを深める児童の育成 ～協同的な学びを取り入れた授業づくりをとおして～



◎藤の牛島より徒歩で10分。西に古利根川、東に倉松川が流れる田園地帯に昭和50年に開校し、今年44年目を迎える。広い敷地と緑豊かな環境の中で、10年後の子供の姿を見据え、「生きる力」を一人一人の児童に身につけさせるため、学校教育目標である知・徳・体のバランスのとれた児童の育成をめざしている。

学校教育目標

- 思いやりのある子
- 進んで学ぶ子
- たくましい子

◎「五つの心を育み地域と共に歩む学校」づくり

牛島小学校「五つの心（感謝する心）（感動する心）（やり抜く心）（思いやる心）（奉仕する心）」を、長年続く伝統として受け継いでいる。折に触れ五つの心を具現化している具体的な場面や言動を取り上げ、全校児童に意識付ながら、育成し続けている。

◎緑豊かな環境、地域の豊かな人材を生かして

本校では、緑豊かな環境を生かした教育活動を推進している。3年生の総合学習「チョウ博士になろう」、4年生の「川の学習」では、地域の「倉松川を愛する会」の皆様の協力のもと、蝶の採集や標本づくりや倉松川の水質などについての学びを行っている。倉松川沿いには観察園「ちょうちょのたのしいさんぽみち」と、花壇「モーモーガーデン」が地域の方々の協力のもと完成し、全校をあげて整備に取り組んでいる。また、「牛島ワンダーランド」など地域の皆様の協力を得て、「田植え体験」で社会科学習の支援も行っている。

◎主体的・対話的に学びを深める児童を育むために

平成29年度より3年間の研究委嘱を春日部市教育委員会より受け、「主体的・対話的に学びを深める児童の育成～協同的な学びを取り入れた授業づくりをとおして～」を研究主題に掲げ、研究に取り組んできた。

協同技能シートの共有と活用や「子どものみとり」に特化した授業研究会などを基本に、「ジャンプの課題づくり（一人では解決できない一段階上の課題。それに取り組むうちに、身に着けるべき共有の課題を習熟することができる。）」「話をあたたかく聴きあう児童の育成」等の取組みをさらに深めたことで、①仲間の力をかり合って、一人残らず学びに参加しようとする姿勢②分からないことを「分からないから教えて」と聴く姿勢③難しいことでも失敗を恐れず挑戦しようとする意欲④教職員の「協同的な学び」「ジャンプの課題」への理解の深まりと授業力の向上を図ることができた。

今年度は、ジャンプの課題づくりを様々な教科に広げていくとともに、SDGsを意識した授業づくり・学級経営を進めていく。また、教職員の指導力向上のため、体育・プログラミング・英語など実技指導の研修にも力を入れていく。



学校名 **春日部市立緑小学校**

校長名 **川崎 信雄**

所在地 春日部市緑町5丁目4番1号

連絡先 048-736-3745 FAX 048-734-9425

創立記念日 昭和51年4月1日

開校記念日 11月15日

児童数 367名(令和2年5月1日現在)

<本年度の研究テーマ>

「主体的に学ぶ児童の育成」

～わかる・できる・楽しい授業を目指して～



あいさつが飛び交う登校

本校は、昭和51年4月1日に粕壁小学校より分離開校し、今年度45周年を迎える学校である。教育環境に恵まれ、敷地の東側は、豊かに水をたたえた古利根川沿いの遊歩道に隣接しており、桜の季節の景観は見事である。

広い校庭も木々に囲まれ、子どもたちは、思い切り運動や外遊びを楽しんでいる。本校の沿革をひもとくと、開校当初より安全教育、緑化教育、歯科、保健、学校給食など、継続的な実践により多くの成果を挙げてきている。

緑小マスコット
「ミラ・ドリ・リン」



今年度は目指す学校像を「学びを未来につなぐ 地域とともに歩む学校」とし、「春日部メソッド」を基盤とした指導により、知育・徳育・体育の調和を図り、心身共に健全な児童の育成に取り組んでいる。

本校の特色の一つに、豊かな心を育む支援活動と地域と連携した教育活動の推進があげられる。多くのボランティアの方々に支えられた、放課後子ども教室(時には土曜日)が実施され、囲碁教室・将棋教室・計算教室・理科教室・工作教室など多くの教室が開催されている。たくさんの方々とふれ合うことで、子どもたちは自分の興味関心を伸ばし、豊かな体験活動を積むことができている。また、子どもたちの心の成長に大きな役割を果たしている。

更に、教育課程上でも多くの体験活動を位置づけている。また、地域のボランティアや社会教育課の方と連携し、学区内の田んぼを借りて稲刈り体験を行っている。6年生の修学旅行では、狂言体験を行程に組み込み、教科との関連を図っている。さらに、4年生での障がい者福祉や高齢者福祉の推進など、心を育む体験活動を行っている。

また、広い校庭のトラックとそれを囲む400mの自然環境を生かしたマラソンコースでの毎朝の体力づくりやランチルームを活用しての誕生日会食やマナー給食の実施、さらに防災の日献立の実施、児童のアイデアを生かしたオリジナル給食メニューコンテストの実施等、食育指導の充実なども特色となっている。

学校課題研修として、一昨年度より、春日部市教育委員会より3ヶ年の委嘱を受け、「主体的に学ぶ児童の育成」～わかる・できる・楽しい授業を目指して～の研修テーマに向かって、算数科を中心に授業改善を図っているところである。どの子にも基礎・基本を確実に定着させ、学習課題に対して見通しをもち自分の考えをもって話し合い活動に取り組んだり、学習した内容を次の時間につなげて、自分の考えを深められたりする児童を育成することを指導の重点として、全体の学力向上へとつなげていく。

グローバル化が進展する、21世紀を力強く生き抜く力を育むためには、基礎に加え、表現力・判断力・思考力を充実させ、学び合う力をもつことが不可欠である。自分の考えを持ち、他の考えを知り、そこから更に自らを高めていける子に育てていきたい。そして、どの子にも「できた」「伸びた」という学びの楽しさを実現する授業の創造を目指していく。



囲碁教室



学校名 **春日部市立上沖小学校**

校長名 **長谷川 守**

所在地 春日部市大沼5丁目44番地

連絡先 048-736-3710 FAX 048-734-9426

創立記念日 昭和51年4月1日

開校記念日 11月15日

児童数 948名（令和2年5月1日現在）

＜本年度の研究テーマ＞

- ・「一人一人を確実に伸ばす授業の創造」（春日部市教育委員会委嘱 3年次）
～根拠をもとに筋道を立てて考え、表現し、学び合う児童の育成（算数科を通して）～



本校は昭和51年4月、粕壁小学校、武里小学校からの分離により小字「上沖の地」に開校し、本年度で開校45周年を迎える。敷地内にはたくさんの樹木が生い茂り、樹木の間をぬって全校児童が毎朝「林間マラソン」に励んでいる。本校の教育環境整備のために、図書ボランティア、花ボランティア、おやじの会など、多くのボランティアの方々からご支援をいただくなど、地域との結び付きが大変強い学校である。

本年度は、めざす学校像 「一人一人の心がそろい、未来に向けて成長する学校～『人に役立つ人』をめざして～」を掲げ、学校・家庭・地域が同じ方向を向き、同じ目標をもって取り組む中で、存

在感や自己実現の喜びを味わうことができるよう、一人一人を大切にした教育を推進しているところである。

これまでの研究成果を活かしつつ、算数科を中心に据え、児童一人一人に確実に学力を身に付けさせるための指導法の研究に取り組んでいる。

- 1 学校教育目標 「かしこく・やさしく・たくましく」
 - ・知（深く考え、進んで学ぶ子）・徳（明るく、思いやりのある子）・体（根気強く、体を鍛える子）
- 2 学校経営方針
 - ・校歌、愛唱歌をしっかりと歌える児童の育成
 - ・学校・家庭・地域・関係諸機関と連携し、協力し、児童の心身の安全を確保する。
 - ・計画的・協働的に教育活動を展開する活力ある学校経営
 - ・家庭・地域と協働し一人一人の児童を伸ばし「できるようになる」ことを保障する教育活動
 - ・失敗から学ぶことで確かな前進を促す学校風土
 - ・協働による教育活動を展開することで教職員一人一人もしっかりと伸ばす。
 - ・働き方を見直し、ワークライフバランスの充実をめざす。
- 3 本年度の重点・努力点
 - 【基本姿勢】みんなが、同じ方向、同じ目標をもち、心をそろえて全力でがんばる学校
 - 【重点】未来に向けて成長する学校 一人一人の心がそろい、笑顔いっぱいの学校
 - ①「春日部メソッド」に基づいた「考え・表現し・学び合う学習」の推進と、一人一人の伸びを実感する学習指導の充実
 - ②家庭学習の充実
 - ③外国語学習の充実
 - ④特別支援教育の視点に立つ教育実践
 - ⑤道徳教育の充実
 - ⑥プログラミング教育の普及



学校名 **春日部市立正善小学校**

校長名 **窪田 忍**

所在地 春日部市備後東6丁目2番1号

連絡先 048-736-3741 FAX 048-734-9427

創立記念日 昭和51年4月1日

開校記念日 11月15日

児童数 389名(令和2年5月1日現在)

＜本年度の研究テーマ＞

「自分の考えをもち、表現できる児童の育成」



本校は、昭和51年4月、備後小学校からの分離により、小字「正善の地」に開校して、45年目になる。静かな住宅地にあり、校地内には千本以上の樹木が生い茂り、緑あふれる豊かな教育環境に恵まれた学校である。学校の教育目標には、「自ら考え 本気で学ぶ子」「明るく 思いやりのある子」「元気で やりぬく子」を掲げ、一人一人の瞳が輝き、磨き合い・高め合いながら、伸びる喜びを味わえる学校づくりに取り組んでいる。そして、潤いのある学校生活の中で、本校の合言葉である「本気・全力」で何事にも取り組

み、共によりよく生きようとする教育を充実していくことを目指している。具体的には、下記の通りである。

～『正善小当たり前のこと17か条』を基本に「当たり前のことが当たり前にできる子」を育みながら～

(1) 落ち着きと潤いのある学校をめざす

◇あいさつのある学校 ◇きれいな学校 ◇きまりを守る学校 ◇花のある学校 ◇歌声の響く学校

(2) 瞳を輝かせる（活力のある学校をめざす）

◇進んで学ぶ学校 ◇音楽活動に取り組む学校 ◇体力向上に取り組む学校

◇一人一人が目標に向かって「本気」「全力」で取り組む学校

(3) 磨き合い・高め合い・支え合い（心を通わせる教育活動に取り組む）

◇他者を理解し、自分の気持ちを伝える ◇正しく美しい言葉を進んで使う

◇競い合い・高め合う交流活動 ◇人への感謝と思いやりの心を育む

◇家庭・地域と一体となって歩む

(4) 伸びる喜びを味わえる教育活動に取り組む

◇教師がしっかり教え、児童はきちんと学ぶ。

◇基礎的な学力の定着を図ると共に、自ら学ぶ意欲と大切さを意識させる。

◇学び合う学習集団で、一人一人の子どもを成長させる。

◇道徳教育や体験活動を通して、豊かな心を育成する。 ◇目標を定め、心と身体を鍛える。

◇子どもの健やかな成長を願い、教職員・保護者も共に伸びる。

本校の児童は、与えられた課題には真面目に取り組む一方、自分から課題を見つけて取り組むといった主体的な学びにはまだ至っていない。また、自分の考えがなかなかもてない児童が学び合い活動において、自分の考えを伝えられなかったり、言いつばなし・聞きつばなしになってしまい、考えを深められない児童もいる。そこで、新指導要領を見捉えた「新しい学び」の視点に立ち、算数科を中心として研究を進めていく。「やっと解けた。自分で解けた。」といった達成感や満足感、「こんな考え方、解決方法もあるんだ。」という気づきの楽しさや学びの楽しさを味わわせていきたい。そして、「主体的に学ぶこと」「対話的な学習過程」を大切にしながら、自分の考えをもち、表現できる児童の育成に努めていく。



学校名 **春日部市立立野小学校**

校長名 **石川 昌保**

所在地 春日部市南中曽根1074番地

連絡先 048-736-0001 FAX 048-734-9400

創立記念日 昭和52年4月1日

開校記念日 9月16日

児童数 564名（令和2年5月1日現在）

＜本年度の研究テーマ＞

「確かな学力と豊かな心を育てる国語教室」 ～生きて働く力を育てる指導法の工夫～



開校44年目を迎える本校では、学校教育目標「心身共に健康で、生きる力のある児童の育成」～体づくりに励み、文化の香りのする学校～、目指す児童像「よく考える子（磨かれた知性）思いやりのある子（豊かな情操）やりぬく子（ねばり強い意志）じょうぶな子（たくましい体）」、目指す学校像「学びたい、学ばせたい、誇れる、高め合いたい学校」、目指す教師像「若手教員の行動力とベテラン教員の経験を総合的に生かす教師集団」としていきます。本年度の重点・努力目標を「互いに切磋琢磨し、教師力を高める教職員」☆鍛える（学力・体力・健康づくり）☆導く（心づくり～思いやりと恩送り）☆整える（環境・安全づくり）☆結ぶ（開かれた学校づくり）とし、次の具体策を通じて、計画的・継続的に教育実践し、評価・改善を図っていきます。

① 学習指導の充実

- ・「音読にこだわる授業」「よく練られた板書とノート指導」
- ・授業規律、学習態度の徹底（TO名人、姿勢、鉛筆の持ち方等）
- ・学力向上の取組の推進（ステップアップタイム、学習形態の工夫）
- ・体力向上「おは走」「外遊びの励行」「元気タイム」の充実
- ・学校図書教育の推進「多読賞」「読書まつり」「いきいき図書室」
- ・夏季休業中「中学生との勉強会」の実施

② 生徒指導・教育相談の充実

- ・課題を明確にした全校における積極的生徒指導の推進（教え育てる機会を逃さない）
- ・情報の共有化を図る生徒指導だよりスクラムの発行
- ・生徒指導委員会の在り方の見直しによる全教職員の共通理解・共通行動の徹底
- ・小中連携あいさつ運動、「あいさつ名人」
- ・スクールカウンセラーの有効活用（児童、保護者に寄り添う教育相談活動）
- ・長期欠席や不登校児童の支援

③ よさ・とりえが輝く特別活動

- ・学級活動での体験的活動を通して自主的・実践的な態度の育成
- ・学校行事のねらいと意義の明確化 ・縦割り（多学年混合）活動の工夫
- ・「そうじ名人」（もくもく、てきぱき、すみずみ）の推進
- ・ボランティア活動の推進（募金、環境美化、奉仕活動）
- ・キャリア・パスポートの活用

④ 人権教育・特別支援教育の推進

- ・いじめにつながる差別意識の撲滅 ・心のバリアフリー教育の推進
- ・人権意識を高める活動の工夫 ・いじめアンケート（予防と早期発見）
- ・個別の指導・支援計画の有効活用（教育相談センターとの連携） ・支援籍交流学习の効果的な活用
- ・インクルーシブ教育の推進

⑤ 健康安全指導

- ・自分の命を守る主体的な態度 ・「防犯教室」「自転車運転免許制度」「交通安全教室」「学校保健委員会」
- ・食育による望ましい食習慣化 ・給食「ペロリン賞」の推進
- ・健康診断の有効活用「むし歯ゼロ」 ・AED・心肺蘇生法訓練の実施
- ・避難訓練（火災、地震、竜巻、不審者）



学校名 **春日部市立宮川小学校**

校長名 **田 矢 真 理**

所 在 地 春日部市新方袋1090番地

連 絡 先 048-754-7600 FAX 048-763-9671

創立記念日 昭和53年4月1日

開校記念日 2月10日

児 童 数 187名(令和2年5月1日現在)

＜本年度の研究テーマ＞

「学び続ける子どもたち」

～ 主体的・対話的で深い学びの実現をめざして(国語科を中心に) ～



本校には2300本を超える樹木やとても広い学校ファーム、学校ビオトープがある。また、毎年たくさんの種類の果物が収穫できる果樹園やプチ軽井沢などがあり、緑豊かな環境である。恵まれた環境の下、保護者・地域との連携を図り、豊かな体験活動、体力づくり、規律ある生活態度の育成をとおして「生きる力」を育んでいる。今年度も昨年度から継続して、主体的・対話的で深い学びを実現する中で、子どもたちに活用力、主体性、学び方を身につけるための指導法を研究する。目指す児童像「本気・全力・笑顔で生き生きと学ぶ児童」の実現に向け、「朝も笑顔、帰りも笑顔、笑顔の輝く学校」を合言葉に、全職員一丸となり、子どもたちのよさを伸ばし、児童・保護者・地域に信頼される学校をめざしている。

- ・職員一人ひとりが国語科を中心に主体的・対話的で深い学びの実現をめざす指導法の工夫改善
- ・地域との連携による学校ファームやビオトープの整備活用及び勤労生産学習・食育・環境教育の推進

＜本年度の学校経営プラン＞

- 1 学校教育目標 「輝く笑顔 未来へ はばたく」
- 2 めざす学校像 『朝も笑顔、帰りも笑顔、笑顔の輝く学校』
- 3 学校経営方針
 - (1) 全職員の創意と工夫による学校教育目標の実現
 - (2) 生き生きと学ぶ児童の育成
 - (3) 「豊かな学びで 未来を拓く埼玉教育」の理念の実現
 - (4) 温かい言葉や、やさしい行動で表すことができる児童の育成
 - (5) 全職員の積極的な経営参画意識の向上
 - (6) 「特色ある学校づくり」の推進
 - (7) 国語科を中心とした校内研修の推進
 - (8) 文書・情報・金銭の適切な管理、および児童・職員の事件・事故防止の徹底
 - (9) 学校・家庭・地域との絆を深める学校づくり
- 4 本年度の重点・努力点
 - (1) 基礎学力の確実な定着および活用能力の育成(規律ある学習環境・思考力判断力等の育成)
 - (2) 社会の変化に対応できる能力や態度の育成(社会性の育成、外国語活動の充実、ICT)
 - (3) 潤いのある学年・学級経営の充実(児童を大切にする学年・学級経営、協力体制、自尊感情)
 - (4) 基礎的な生活習慣の育成(あいさつ、集団規律の育成、家庭との連携)
 - (5) 体力の向上と健康・安全教育の推進(運動時間確保、むし歯ゼロ、安全教育と危機管理意識)
 - (6) 社会生活の基礎、人権意識や奉仕の心の育成(人権感覚の醸成、奉仕の心、読書の推進)
 - (7) 地域に開かれた特色ある教育活動の推進(情報発信、保幼小中の連携、地域との連携)
 - (8) 教育環境の整備・充実(知性と情操を養う環境づくり、特別教室整備、掲示教育)
 - (9) 教職員の資質向上と組織対応の徹底(授業力向上、危機管理意識の醸成、信頼される教師)



学校名 **春日部市立藤塚小学校**

校長名 **今木 敏浩**

所在地 春日部市藤塚82番地2

連絡先 TEL048-737-5330 FAX 048-734-9401

創立記念日 昭和54年4月1日

開校記念日 11月15日

児童数 305名（令和2年5月1日現在）

＜本年度の研究テーマ＞紹介

「対話を通して、主体的に表現しようとする児童の育成」

～子供の思考力を働かせる授業の工夫（国語科）～



本校は、昭和54年4月に豊野小学校から分離し藤塚、本田町を学区として現在の地に開校し、今年度で開校42年目を迎えた。学区は、県道春日部松伏線と古利根川に挟まれたところに位置する。若干の田園地帯と一部商店街、住宅地を合わせもっている。

このような地域の特徴を踏まえ、教職員一丸となって、「一人一人が輝く、みんなで輝く、元気いっぱい学校」を目指し、「元気いっぱい、知恵いっぱい、笑顔いっぱい」を合い言葉にして、学校づくりに取り組んでいる。

1 学校教育目標 「豊かな心を持ち、進んで学び行動できる子」

（1）目指す学校像 「一人一人が輝く、みんなで輝く、元気いっぱいの学校」

あたたかな学校	元気な学校	地域と連携した学校
・一人一人に居場所があり、認められ、安全で安心して通える学校。 ・互いに思いやりの心を持ち、目標に向かって高め合える仲間のいる学校。	・一人一人が目標に向かって一生懸命取り組む学校 ・分からないことが分かるようになり、できないことができるようになる学校	・保護者の願い、地域の願いを受け止め、信頼に応じられる学校 ・地域に開かれた、地域の力を生かし、地域の誇りとなる学校

（2）目指す児童像 「進んで学ぶ子 心豊かな子 明るくたくましい子」

元気いっぱい	知恵いっぱい	笑顔いっぱい
心身共に健康で、物事に根気よく取り組むことができる子	進んで学び、他者と協働し、深く考え表現することができる子	思いやりの心を持ち、協力し、助け合うことができる子

2 本年度の取り組み

（1）主体的・対話的で深い学びの実現に向けて

授業を大切に「自ら気付いた情報を、協働して整理し、自分の考えの形成に生かせる子」の育成を目指している。そのために、必要・必然な課題を設定し、主体的な活動ができる授業（課題の設定の工夫）、情報を的確に収集し、比較・分類・関連付けなどの手段を用いて視覚化する授業（情報の整理）、視点を明確にした全体交流を行い、深い学びに導く授業（考えの形成）ができるよう授業改善に取り組んでいる。

（2）特色ある教育活動

学校の敷地には草花が多く、実のなる木が多く植樹されていることから、四季を肌で感じることができる自然豊かな環境である。こうした環境を踏まえ、開校以来、四季を自分の言葉で表現する「俳句」の取組を継続している。学校の特色を「花と俳句と実りの学校」とし、感性豊かな教育を行っている。また、生活科や総合的な学習の時間を中心に保護者や地域の方々の協力を得て、お琴教室や稲作体験など様々な活動を展開している。実社会に触れた体験活動の充実と学力の向上のバランスを図りながら教育活動の充実を図っている。



学校名 **春日部市立小湊小学校**

校長名 **小 沢 仁 志**

所 在 地 春日部市小湊905番1号

連 絡 先 048-761-7161 FAX 048-763-9673

創立記念日 昭和55年4月1日

開校記念日 11月19日

児 童 数 311名(令和2年5月1日現在)

<本年度の研究テーマ>

「確かな読み」の力を育てる指導の在り方
～説明的な文章の学習を通して～



今年度41年目を迎える本校は、春日部市の北部に位置し、広々とした田畑に囲まれ、四季折々の美しい風景を見せる豊かな自然の中にある。一方、地域の南端に国道16号線と南北に国道4号線が交わる小湊交差点があり、また、県道である惣新田春日部線が走る交通の要所でもある。

学区内には、名刹「不二山浄春院」と「小湊山観音院」がある。特に「不二山浄春院」の林は、(古)利根川によって、作られた砂丘の自然林であり、地質学的にも貴重な存在である。また、学区の境に流れる大落古利根川にも貴重な生態系が保全されている。

校内には、埼玉県の木であるケヤキを始め、春日部市の木である桐、花である藤、そして我が校のシンボルツリーであるメタセ

コイヤなど、様々な木々が生き茂っている。また、柿や栗、サクランボやカリン、夏みかん、梅など、多くの木が果実を実らせ、色鮮やかに目を楽しませてくれる。

このような環境の中、学校教育目標「自主自律の精神にとんだ人間性豊かなたくましい児童の育成」の達成のため、「知恵いっぱい・やさしさいっぱい・元気いっぱい」の『いっぱい運動』に取り組みながら、子どもたちが毎日、わくわくして登校する「瞳キラキラ、笑顔いっぱいの学校の創造」の実現を目指している。

開校2年目から取り組んでいる「はだしの教育」は、今年が40年目となり、我が校の大きな特色とともに伝統となっている。年間を通して「はだし」で過ごす子どもたちもおり、「はだし」に自信と誇りをもっている小湊っ子である。真冬でも、半そで・短パン・はだしで校庭を走る小湊っ子の姿には、たくましさを感じることができる。子どもたちは「はだし」で大地を踏みしめ、足の裏から土のぬくもりや柔らかさ、冷たさや硬さを感じながら、6年間という長い時間をかけて、これからの人生をたくましく生き抜いていくための力を身につけていっている。また、開校20周年時には、「はだしの像」(前田忠一・作)が設置され、親子2代で「はだし」で学んだという家庭も増えつつあり、「はだしの教育」は保護者や地域の方々に支えられている教育活動である。

平成5年度には、おやじの会を中心として敷地内に雑木林「トトロの森」が整備された。植樹された木々は成長し、夏には葉を茂らせて木陰をつくり、秋にはたくさんのどんぐりを落とし、子どもたちの学習に生かされている。また、平成15年度から、森の周りの堀にホタルの幼虫を放流している。子どもたちが5年生の秋から飼育・観察しているホタルの幼虫は、夏になると成虫となって森を飛び交う。おやじの会によるホタル鑑賞会も開かれ、多くの人の目を楽しませている。さらに、ここ数年は、放流されたホタルが卵を産み、幼虫から成虫となって、翌年再び飛び交うようになった。

平成8年度から取り組んでいる俳句作りでは、四季の変化を敏感に感じ取る感性とともに、言葉の美しさや響きを感じる心を育んでいる。季節に合わせて俳句の募集をし、その中から優れた作品を「トトロ句集」として年4回発行している。昨年度末には第113号の句集が発行されるなど、子どもたちの生活の中に俳句作りが根付いている。

さらに、異学年による活動として、お誕生日会食、なかよしランチ・集会等があり、子ども同士の交流を通して、思いやりの心や助け合う心を育んでいる。そして、子ども一人一人が自信をもち、すべての子どもが喜々として登校する学校づくりを推進している。



学校名 **春日部市立武里南小学校**

校長名 **中 島 剛**

所在地 春日部市大枝89番2街区1棟

連絡先 Tel048-733-6911 Fax048-733-6913

創立記念日 平成15年4月1日

開校記念日 6月第3週の月曜日

児童数 371名(令和2年5月1日現在)

＜本年度の研究テーマ＞

「論理的な思考力・判断力・表現力を育成する指導法の研究」 ～学び合う力の定着～

1 沿革

本校は、「みんなで南風になろう！ 明るく、元気で、あたたかく～自分もよくて、みんなもよい学校～」をスローガンに、児童と教職員が共に活動し、自他のよさを活かし高め合い、南風を吹かせる元気で明るい学校である。平成15年の学区再編で旧大畑小、旧谷中小、備後小の一部を学区として開校し、今年度は創立18年目となる。教職員、児童、保護者、地域が一体となった『特色ある学校づくり』に力を入れている。また、当たり前前のことが当たり前前にでき、主体的に学び合い、向上心をもって成長する児童の育成に努めている。

2 学校教育目標

～学校スローガン～

「みんなで南風になろう！ 明るく 元気で あたたかく」
「自分もよくて みんなもよい 学校づくり」

力をあわせる子【自分もよくて みんなもよい 教育の推進】

- ・基本的な生活習慣の定着
- ・心豊かで望ましい人間関係づくり
- ・自己実現を図る教育の推進
- ・家庭との連携による個性伸長

自ら考える子【自分のよさを活かした 学力向上】

- ・基礎学力の定着と活用
- ・学習習慣・学び方の育成
- ・家庭学習の習慣化
- ・聴き合い、学び合い、高め合う力の育成

たくましい子【自分も みんなも高める 体力向上】

- ・心身ともに健康的な生活習慣
- ・主体的に運動する授業の工夫
- ・自ら体力づくりに取り組む児童の育成
- ・遊びや運動の生活化

3 本年度の重点・努力点

- 小中連携・小小連携を充実させ、地域の力を活用した学校力の向上
(9ヶ年を見通した教育活動の計画と実践 1年目)
- 当たり前前のことを当たり前に行う学校づくり
(時を守り、場を清め、礼を正す 学年・学級)
(何事も前向きに捉え、自他のよさを活かした教育活動や学習指導を楽しんで実践)
- 算数科を中心とした、学習の基礎・基本的な知識・技能の習得と指導法の研究
(春日部市教育委員会研究委嘱研究の継続5年目)
(授業の流れがわかる板書、学習の足跡がわかるノート指導の充実)
- 課題解決に必要な思考力、判断力、表現力を育む確かな授業実践
(春日部メソッド＜伝え合い、学び合い、育ちあい、思い合い＞の実践)
(児童の主体的・実践的な学習形態の工夫と主体的な学習活動の推進)
- 教育環境の整備・充実(オープンスペース・花壇・学級園・樹木等の整備)
- 地域・中学校・高校・大学との連携による特色ある教育の推進
(放課後子ども教室、サマースクール、学習・教育活動の支援等)
- 不登校へのきめ細かな対応といじめを許さない指導体制の充実
(学級経営の充実、地域・行政・その他関係機関との連携の充実)
- 新学習指導要領の完全実施と未指導内容の確実な補充





学校名 **春日部市立武里西小学校**

校長名 **横 崎 剛 志**

所 在 地 春日部市大場 8 2 2 番地 1

連 絡 先 048-733-7701 FAX 048-733-7703

創立記念日 平成 1 5 年 4 月 1 日

開校記念日 6 月 第 3 月 曜 日

児 童 数 5 4 0 名 (令和 2 年 5 月 1 日 現在)

＜本年度の研究テーマ＞

「自らの考えを互いに伝え合い、よりよい自己表現ができる児童の育成」(春日部市教育委員会委嘱 1 年次)
ー算数科の学習を通してー



武里西小は、学校教育目標を「思いやりのある子 進んで学ぶ子 体をきたえる子」とし、合言葉を『「いつでも どこでも 一生懸命」 素直がすてき！ 一生懸命がかっこいい！』とし、保護者や地域と連携を図りながら、全校を挙げて取り組んでいる。本校は、武里団地を含む地域を学区とする 4 校を閉校して、平成 1 5 年度に新設された開校 1 8 年目の学校である。さまざまな地域から人が集まっているだけでなく、外国からきた児童・外国籍の児童も在籍しており、平成 2 7 年度から日本語教室が新設された。生まれた場所も国も家庭環境も違うことから、文化や習慣が異なり、児童は多様な価値観を

もっている。また、明るく素直であるが、自分の意見を主張することが苦手な傾向にある。

平成 2 8 年度からは異なる考えや価値観を受け入れ、お互いに尊重し支え合ってよりよく生きていこうとする態度をはぐくむことを目指し、3 か年にわたり特別活動(学級活動)を中心に研究を深めてきた。研究の中で、意見の異なる人と折り合いをつけること、他者と話し合い、集団としての意見をまとめることを学び、学級や学校生活の課題を見つけ、児童が主体的に話し合い、役割を分担して協働して実践したり、実践した家庭でお互いのよさに気づいたりすることができるようになってきた。

令和元年度からは、今まで身に付けてきた力を生かしながら、各教科での学習(算数科を中心に据えて)に生かせるように研究をすすめてきた。これからの時代に求められる資質・能力を身に付け、生涯にわたって主体的に学び続けていくために、「主体的・対話的で深い学び」の基礎を培う必要がある。自分の考えを互いに伝え合いながらよりよい自己表現ができるような児童を育成していきたい。

＜学校教育目標＞

1 思いやりのある子

教育活動全般における道徳教育を充実させて、道徳性、規範意識、自己肯定感や自己有用感の向上に努めている。また、心温まる学級づくりに加えて、異学年縦割りグループで活動する「たけにしタイム」、本校の特長の一つである 1 6 0 名収容できるランチルームを活用した「はっぴーランチ(お誕生日給食)」等で異学年交流の場を設定し、教師と児童、児童相互の人間関係をさらに深められるようにしている。

2 進んで学ぶ子

日々の授業の実践を通して、基礎的・基本的な力が着実に身につくように進めている。課題解決的な学習や考えを深めるためのグループでの話し合いなど、授業時間内に意図的・計画的に設定し、自ら意欲的に学習に取り組めるように工夫している。さらに家庭生活においても「家庭生活 1 0 の約束」等を配付し、家庭生活及び家庭学習の充実を図り、基礎学力の定着をねらい取り組んでいる。また、朝の一斉読書や読書貯金通帳、武西読書の日(毎月第 3 木曜日)の取組を通して、本好きの児童を育成し、読解力の向上も目指している。

3 体をきたえる子

体育の授業を中核に据えて、楽しく自ら進んで運動に親しむ児童の育成を目指している。「すこやかタイム」(業前運動)では、投げる、跳ぶ、走るなどの多様な運動をローテーションで取り入れている。さらに朝マラソンを励行し、学年毎にマラソンカードを活用しながら、目標を持って取り組めるようにしている。また季節に応じて、陸上練習、なわとび練習など体力向上に努めており、市内陸上大会南ブロックでは、自己ベストを更新するなど大きな成果を収めている。



学校名 **春日部市立南桜井小学校**

校長名 **福岡 秀晴**

所在地 春日部市下柳3番地

連絡先 048-746-0026 FAX 048-746-0010

創立記念日 明治6年4月16日

開校記念日 9月24日

児童数 418名(令和2年5月1日現在)

＜本年度の研究テーマ＞

「主体的に取り組み、生き生きと活動できる児童の育成」

～学び合いの活動を通して、表現力を育成する指導の工夫改善と指導工夫～



本校は、明治6年に下柳の明清寺に下柳学校として発足する。明治19年9月24日、現在の場所に移転し、下柳尋常小学校と改称する。明治42年に南桜井尋常高等小学校とさらに改称し、「南桜井」の名称が誕生する。春日部市の東部に位置し、国道4号線と16号線が交差する地点の北東部に所在する。

学区内には、旧庁舎があり、現在は総合支所、図書館、児童館となっている。その周囲には体育館、総合公園、正風館、また国の施設である龍Q館など多くの公共施設があり、子どもたちの貴重な学習の場となっている。

1 学校教育目標

めざす学校像：「地域と共に歩む 笑顔あふれる

- ・自ら学ぶ子（かしこく） **活力ある学校**
- ・思いやりのある子（やさしく）
- ・元気でたくましい子（げんきよく）

2 本校の特色ある教育活動

- ①学び合う学校：分かる授業の展開、音読・計算を活用した基礎基本の定着。言語能力を高める学習活動の実践。自分の思いを膨らませ、自分探しに役立つ読書活動の推進。
- ②思いやりあふれる学校：よさを認め、励まし、思いやりのあふれる教育活動の展開。役割・協力・協働が生かされる諸活動の計画・実践。青少年赤十字活動を通して気づき考え実行する力の育成。
- ③健康な体をつくる学校：全身を働かせる活動や遊びの推進と運動の質と量を高める体育の授業実践。心と体の健康と環境づくりの推進。
- ④地域・保護者と連携する学校：「学校・家庭・地域の連携計画」の推進。積極的な地域人材活用の推進。学校応援団組織の活用と推進。

その他の特色ある活動として、全校で取り組むけん玉、1年生の昔の遊び体験、2年生の凧作り体験、3年生の昔の生活体験、4年生の福祉体験、5年生の米作り体験、6年生のEM菌体験、伝統芸能クラブの獅子舞など地域の方々との交流を通して、思いやりの心や豊かな人間性の育成に努めている。

また、地域の方々が主体となって、月2回、土曜日の午前中に寺子屋「南小っ子」を開催し学校ではできない様々なプログラムを用意し、子どもたちが貴重な体験をさせていただいている。

3 本校の研究

平成30年度から3年間、春日部市教育委員会から『算数科』の研究委嘱を受けている。今年度から、新しい学習指導要領のもとでの教育活動が始まり、先生方も、いま求められている授業像を明確にして授業改善に取り組んでいる。子どもたちの論理的な思考力や豊かな表現力を高めながら言語能力の向上を図り、生き生きと活動できる児童を育成して、春日部メソッドの実現を目指している。

＜研究の仮説＞

論理的な表現の仕方を身に付ける学習指導を展開すれば、思考力や豊かな表現力が高まるであろう。

＜研究の方法＞

- 指導案の工夫 ○説明や発表の仕方のパターン化 ○学習形態の工夫〔少人数、TT、ペア、グループ〕
- 学び合いの話型・学習の系統性の明確化 ○指導過程の工夫〔学び方、学習規律〕 ○自己評価の工夫
- 振り返りの充実 ○学習環境の工夫〔掲示物、教材〕 ○算数ノートの使い方
- 家庭学習の工夫 ・チャレンジタイムの計画〔計算大会、プリント、100マス計算等〕





学校名 **春日部市立川辺小学校**

校長名 **鈴木 美江**

所在地 春日部市米島756番地

連絡先 048-746-0009 FAX 048-746-0057

創立記念日 明治7年12月

開校記念日 9月9日

児童数 471名（令和2年5月1日現在）

〈本年度の研究テーマ〉

「基礎・基本の確実な定着を目指す指導法の研究（算数科）」～表現力を育て、学びを深める指導の工夫～

1 学校の概要 本校は、明治7年に永沼学校として開校し、同22年川辺尋常小学校設立、同37年9月、現在地に校舎を新築した開校146年目を迎える「歴史と伝統に支えられた学校」である。また、学校、家庭、地域が一体となって『特色ある学校づくり』に力を入れている学校である。昨年度より春日部市教育委員会の委嘱を受け、新学習指導要領の趣旨を踏まえた算数教育モデル校として学力向上にも取り組んでいる。

2 学校教育目標 「たくましく 心豊かに生きる子」

3 目指す児童像

◇進んで学び考える子（知恵いっぱい） ◇思いやりのあるやさしい子（笑顔いっぱい）

◇元気でねば強い子（元気いっぱい）

4 特色ある教育

本校は、「**真剣・集中**」の学びの姿と自信を育てる地域に根ざした学校を目指す学校像として、教育活動を展開している。

① 学力向上のためのチャレンジ

○あいさつ・返事・後始末+正しい姿勢ができる子を育てています。

規律ある態度はもちろんのこと、腰骨を立てて学習する習慣をつけ、学習活動に取り組んでいます。

○「子供の分かる、できる」を支援しています。

- ・毎日、スキルアップタイムの10分間で学習の基礎・基本（読み、書き、計算）を繰り返し学習します。
- ・1・2年生は百珠そろばんで数の概念を学び、3年生以上は算数科習熟度別学習で学びを支援します。
- ・計算検定、漢字検定を合格するまで行います。
- ・タブレットや書画カメラなどICTを活用した授業を展開しています。
- ・授業の時間はもとより、全学年業前の時間（週1）に英語活動を行い、発達の段階に応じて「聞くこと」「話すこと」「書くこと」の力を育みます。
- ・「家庭学習のしおり」で、自主学習の習慣を付けさせます。



② 心を育てるためのチャレンジ

○家庭・地域・学校の共同指導指標「8つの種」で、三者が一体となって子供を育てています。

子供は、「家庭でしつけ、学校で学び、地域で磨かれる」といいます。学校と家庭・地域が共同指導目標を掲げ、実行することで、子供の成長が確かなものとなります。

○縦割り班を土台にした異年齢集団の活動を行っています。

リーダーとなる機会、友達と協調する場などを経験できるように、縦割り班活動を行います。

○体験活動が充実しています。

地域の方々のご指導で農作物の栽培・収穫、福祉体験・環境学習・川辺小フェスタ等を行っています。

○4黙運動で心の安定を培っています。

朝読書・黙動気づき清掃・黙考・黙動移動で心の安定を培います。

③ 健康へのチャレンジ

○教科等で学んだことを核にして健康教育を推進しています。

- ・埼玉県立大学と連携して、全学年で発達の段階に応じた歯科保健指導を行っています。
- ・地域の専門機関と連携して、薬物乱用防止教室・交通安全教室・企業出前講座等を実施しています。
- ・年三回の学校保健委員会で、児童の健康を考えます。
- ・子供の安心安全を考え、交通安全、生活安全、災害安全教育を計画的に指導しています。

○「おは走」を行い、体育的活動で元気な体を作っています。

- ・毎朝意欲的に全校児童が校庭を走ります。各自のめあてに向かって元気な体と挑戦する心を育てます。
- ・業前運動で子供の体力を向上させます。体力向上プログラムを行い、バランスのよい体力を付けます。





学校名 **春日部市立桜川小学校**

校長名 **加藤 大二**

所在地 春日部市大倉496番地1

連絡先 048-746-6238 FAX 048-746-6223

創立記念日 昭和50年4月1日

開校記念日 5月30日

児童数 648名(令和2年5月1日現在)

＜本年度の研究テーマ＞

「主体的に学習に取り組む児童を育てる授業の工夫」

～伝え合い、学び合い、育ち合う桜っ子の育成を目指して～



入学式の様子

本校は、春日部市の東部に位置し、広い敷地内には80本以上の桜の木や雑木林を生かした自然の森、のびのびと遊べる芝生広場などがあり、子どもたちは恵まれた環境の中で健やかな学校生活を送っています。

本校では、「かしこい子」「やさしい子」「たくましい子」の育成を目指し、調和のとれた児童の人間形成に努めています。そのために、公立学校のよさを最大限生かし、目指す学校像でもある「地域と共にはぐくむ やさしさと笑顔あふれる、活力ある学校」（学び合い、高め合い、認め合う桜っ子の育成を目指して）を合言葉に、地域の方々や保護者と連携・協力体制を築きながら、創意と温かみのある「手作りの学校」を目指しています。

＜目指す学校像…『地域と共にはぐくむ やさしさと笑顔あふれる、活力ある学校』

重点項目

- ① “気持ちの良い相手に伝わるあいさつ” の徹底
 - ・ 「気持ちの良い」「相手に伝わる」のイメージ化・共有
 - ・ 日々の学校生活で身に付けさせる
 - ・ 合言葉「ペッタン・ピン・グー」の定番
 - ・ 真剣さを認め、褒め、次へとつなげる
- ② “明るい歌声が響く” クラスづくり 学校づくり
 - ・ 日々の歌声の重視
 - ・ 教師と子供で楽しく歌える雰囲気づくり
 - ・ 音楽の楽しさを味わわせる音楽集会
- ③ “互いの良さを認め、一人一人に居場所がある” クラスづくり 学校づくり
 - ・ 相手の立場に立って考える児童の育成
 - ・ 最後まで話を聞く姿勢の育成
 - ・ 友達の良さに目を向けさせ、表現できる
 - ・ 学級活動（話し合い）の充実
- ④ “伝え合い、学び合う” 授業づくり
 - ・ 意欲を高める授業の導入
 - ・ 伝え合い、学び合う場面を取り入れる
 - ・ 「振り返り」「まとめ」の重視
- ⑤ “体を鍛え、進んで働く” 桜っ子の育成
 - ・ 「きびきびと走って移動」「真剣（だまって・力いっぱい）に運動」
 - ・ 児童が汗いっぱい運動する指導法の工夫
 - ・ 進んで働く意義を理解させ、チャレンジできる場を設定



マスコット「桜っ子ちゃん」



学校名 **春日部市立中野小学校**

校長名 **木田 真貴子**

所在地 春日部市東中野654番地

連絡先 048-746-8271 FAX 048-746-8595

創立記念日 昭和54年4月1日

開校記念日 5月1日

児童数 324名（令和2年5月1日現在）



〈本年度の研究テーマ〉

「確かな学力を身に付け、わかる喜びを味わうことのできる児童の育成」
～進んで学び、考えを深め合う算数科授業の創造～

本校は、昭和54年4月に大字中野、新宿新田、西金野井各区の一部を学区として開校した。春日部市東部、江戸川の畔に位置し、カッコウやウグイスなどの野鳥の声も聞こえる、四季折々の豊かな自然の中にある。校内の学校ファームや花いっぱい花壇、様々な種類の樹木、校外の田や畑、江戸川土手などの自然を生かした特色ある教育活動を展開している。

昨年度、このことが評価され県緑化コンクールで優良校として受賞した。また本校は、運動に熱心に取り組み、全校遠足や集会活動などの異学年交流も盛んである。さらに保護者・地域の皆さんを招いての生け花教室や伝統文化の学習など、体験を通して、学校・家庭・地域が協働して子供たちの育成に取り組んでいる。

1 目指す学校像(ミッション)

「元気いっぱい、笑顔溢れる、生命の明るく輝く学校」

～「高め合い・助け合い・認め合い」の安心安全な中野小学校～

2 目指す子供像

きらり輝く子 たくましい子

3 学校教育目標

①なかよく…やさしく思いやりのある子 ②かしこく…学習習慣を身につけ、意欲的に学ぶ子 ③びのびと…最後までがんばるたくましい子

4 指導の重点・努力点

(1) 生きる力を育み、確かな学力を身につける学習指導の充実

①「読み・書き、計算」等の基礎的な学力の定着を図る ②基礎基本を活用する力（思考力・判断力・表現力）を伸ばす ③家庭学習の啓発④少人数指導等による多様な学習活動を設定し分かる授業を行う ⑤学校課題研修及び各種研修の充実 ⑥地域の施設や教育力の積極的な導入 ⑦教育課程の着実な実施 ⑧特別支援教育の積極的な推進

(2) 豊かな人間性を育む教育活動の実践

①気持ちのよいあいさつ・返事ができる子の育成 ②道徳的実践力を育む道徳授業の充実・改善（教科としての道徳） ③縦割り集団活動「フレンド活動」による異学年交流、思いやりのある子の育成 ④ノーマライゼーションの理念に基づいた教育の推進 ⑤自然体験活動の推進

(3) 気力と体力を育てる健康教育の推進

①健康教育の充実と啓発活動の実施 ②目標を持った体力づくりの推進 ③学校事故ゼロの推進 ④食育の推進

(4) 社会の変化に対応した教育の推進

①進路・キャリア教育の推進 ②国際理解教育の推進 ③情報教育の推進 ④環境教育の推進

(5) 安心安全で美しい学校環境づくり

①美しい学校づくり ②安全点検の実施 ③清掃や美化活動の充実 ④学校緑化活動の充実

(6) 学校・家庭・地域社会の連携を深め、期待と信頼に応える学校づくり

①学校教育活動の積極的な公開、広報 ②学校応援団の活用による教育の推進・安全確保 ③全保護者による挨拶運動と学区内パトロールの実施 ④児童の地域行事への参加促進 ⑤学校評価結果の活用 ⑥教職員事故ゼロ

5 求める教師像

子供を見つめ、子供と共に、自らを磨く教師

- ・子供を見つめ…子供の良さを見付け、認め、伸ばす教師
- ・子供と共に…子供と共に活動し、子供から学ぶ教師
- ・自らを磨く教師…健康で、自己研鑽に努力を惜しまない教師



学校名 **春日部市立春日部中学校**

校長名 **清野 定信**

所在地 春日部市粕壁4丁目4番15号

連絡先 048-761-2253 FAX 048-763-9609

創立記念日 昭和22年4月1日

開校記念日 5月1日

生徒数 859名(令和2年5月1日現在)

1 学校教育目標

可能性に生きる
豊かな知性 あふれる情熱 熱い友情

合言葉

一生懸命がかっこいい

2 教育理念

「子どもの尊い命と無限の可能性をあずかる学校」＝学校の使命

3 経営理念

「信頼と活力のみなぎる学校」＝「豊かな学びで未来を拓く埼玉教育」

「かすかべっ子 はぐくみプラン」

「自主の扉をひらく」教育活動を創造する。

○知・徳・体の調和を図りつつ、豊かな創造力を発揮できる「生きる力」を育てる。

○教師と生徒など人間同士のつながりや学校・家庭・地域の「絆」を深める。

○魅力ある学校づくりのための特色ある教育活動（攻めと連携）を推進する。

4 経営方針

(1) 常態のレベルアップで「継承」と「創造」を推進する。

(2) 「自立」と「連携」で校力を高める。

(3) 「教師力」を高め、地域の負託に応える。



R1.6.1 「体育祭」

5 本校の特色ある教育

① 生徒の学力をより高め、生徒と向き合う時間を大切にする二学期制の実施

② わかる授業の実践（家庭学習ノートの実施）と、知・徳・体のバランスを大切にした学習指導の充実

③ 生徒一人一人の実態把握を大切にした、全職員によるきめ細やかな生徒指導体制の確立

④ 「生徒指導委員会」「教育相談部会」「学年会」「学年主任会」等における、個に目を向けた指導の充実

⑤ 学級担任、学年職員等による教育相談機能の充実と、さわやか相談室と連携した不登校対策の改善

⑥ 「全校ソーラン節」「歌声の響く学校」「後輩に残す5箇条」等、伝統を引き継ぎ、誇りを育む教育活動

⑦ 全職員による教育環境の創出。教室掲示、校内掲示、ペンキ塗り、「意欲の湧く言葉」の掲示

⑧ 運動部・文化部共、活発な部活動の推進、「部活動育成会」による保護者との連携

⑨ 「気づき 考え 実行する」JRC活動等、豊かな心を育てるボランティア活動の推進

⑩ 未来の国際人を育てる地域の教育力の連携・協働によるオーストラリア姉妹校との国際交流（KAFE）

⑪ 「自主の扉をひらく」教育活動の推進、自主性を育むノーチャイムの実施

⑫ 善行を褒め各種表彰を積極的に行う。（「金山賞」、「ひまわり賞」、表彰内容の表示）

⑬ 学校だよりや学年だより、ホームページ等による、教育活動の地域社会への情報発信

⑭ 「PTA」による教育支援と「春日部中学校区青少年を育てる会」を軸とした青少年の健全育成

⑮ 学校評価と学校評議員等による学校関係者評価を有効に活用した教育活動

＜本年度の研究課題＞

「豊かな心の育成をめざした道徳の授業の工夫

～各教科との横断的な授業の創造をめざして～



学校名 **春日部市立東中学校**

校長名 **小 林 修**

所 在 地 春日部市樋堀 1 8 1 番地 1

連 絡 先 TEL:048-752-2454 / FAX:048-763-9663

創立記念日 昭和 3 7 年 4 月 1 日

開校記念日 1 0 月 1 日

生 徒 数 5 8 8 名 (令和 2 年 5 月 1 日現在)

【本年度の研究テーマ】

学びに向かう意欲あふれる生徒の育成 ～ 生徒主体の教育活動を通して ～

【学校教育目標】

「夢と生きる力を育む」

【経営方針】 60年目に向けたサード・ステップの年度

合言葉は「東中エンパシー 59」(東中の多様性 59 年目)

ー 多様性を認めることを基盤にした様々な教育活動を展開します。ー

ア 「あいさつ」と「笑顔」を大切にすることを続けます。

イ 多様性を認め合い、主体性と自律性を基本に活動します。

ウ 相互尊重と利他性を高めていきます。

【めざす生徒像】

- | | |
|------------|-----------|
| 1 夢をもつ生徒 | 2 感謝できる生徒 |
| 3 意欲ある生徒 | 4 協力し合う生徒 |
| 5 責任を果たす生徒 | |



【めざす学校像】

- 1 豊かな教育環境の学校 (環境)
- 2 身体と心を一体と考える学校 (体育)
- 3 多様性を認める学校 (德育)
- 4 認め合い学び合いのある学校 (知育)



【本年度の重点・努力点 ー2か年計画の1年目ー】

- 1 (1) 物的・人的に豊かな学校
(2) 個に応じた教育環境を整えた学校
- 2 (1) 身体を整えることが心を整えることにつながる学校
(2) バランスの取れた成長を見守れる学校
- 3 (1) 多様であることは否定されないことであることのわかる学校
(2) 多様性の価値を学校外にも発信する学校
- 4 (1) 認め合う学びの場がある学校
(2) 知識を知恵に変える学びのある学校

【学校の概要】

本校は市の東部に位置し、学区内に古利根川、樹齢 1000 年と言われる国の天然記念物の牛島の藤、古い山門と円空仏で名高い小湊山観音院などがあり、自然や歴史・文化に恵まれている。

昭和 22 年に開校した幸松中の前史も引き継ぐ春日部の伝統校であり、幸松小・牛島小・小湊小の 3 小学校から新入生を迎えている。校区内の小学校・高校・特別支援学校や幸松地区少年を守る会との連携のもと、子ども達の健全育成を目指した地域ぐるみの教育を進めている。地域の人々に学ぶ体験学習、職場体験学習、ふれ合い活動などがそれである。学校行事には、保護者のみならず、地域の方々にもたくさんの参加をいただいている。

また、生徒と教師が一体となって汗を流し、互いに人権を尊重し、明るいあいさつのできる学校づくりに努めるとともに、「夢・感謝・意欲・協力・責任」の目標にせまる計画・実践・評価を通して、知・徳・体のバランスのとれた生徒の育成に努めている。

新校舎と新校庭という整備された快適な環境の中で、生徒たちは、学習に部活動に意欲的に取り組んでいる。



学校名 **春日部市立豊春中学校**

校長名 **久保田 悟**

所在地 春日部市南中曽根107番地2

連絡先 048-752-2717 FAX 048-763-9664

創立日 昭和22年4月1日

開校記念日 5月1日

生徒数 404名（令和2年5月1日現在）

◇学校概要



本校は、昭和22年(1947)新学制により豊春村立豊春中学校として村立豊春小学校敷地内に開校しました。昭和29年(1954)7月1日、町村合併に伴い春日部市立豊春中学校と改称されました。昭和45年(1970)に現在の場所に移転し、本年で73年目を迎える学校です。生徒数のピークは昭和58年度の1,260名でした。本校は、春日部市の西端に位置し、さいたま市岩槻区東側と接しています。東武アーバンパークライン豊春駅から徒歩15分ほどのところにあります。

◇目指す学校像・学校教育目標について

「夢・感動・活力のみなぎる学校」 ー天下の豊中ー

- (1) 一人一人が目標をもって活躍する学校（充実した授業、盛んな部活動）
- (2) 互いに認め合い、学び合う学校（感動する学校行事、合唱の豊春の継承）
- (3) 地域とともにあり、地域に貢献する学校（小中連携促進、地域活動への協力）

～夢と笑顔と歌声あふれる学校～
心の豊かな生徒 進んで学ぶ生徒

（三意（熱意・創意・誠意）の精神を育む学校）

◇令和2年度豊春プラン（指導の重点及び方策）

- (1) 生徒が分かる、できる、伸びる授業の展開
- (2) 心豊かな生徒の育成
- (3) 共感的な人間関係を育む生徒指導の推進
- (4) 安全で潤いと活気のある教育環境づくり
- (5) 進路指導・キャリア教育の推進
- (6) 保護者・地域とともに歩む、開かれた学校づくりの促進

◇本年度の研究テーマ

「よりよい人間関係を築き、心豊かでたくましく生きる生徒の育成」
～道德教育の要となる「授業」と「合唱活動」による道德性の育成～

◇本校の特色（誇り・自慢）

本校は、「合唱の豊春」の伝統を継承し、歌声響く学校として地域に根付き、地域に支えられている学校です。文化面では混声合唱団がこども音楽コンクール県大会で銀賞を受賞、吹奏楽部が吹奏楽コンクール県大会中学校Bの部銀賞を受賞、生徒会本部が第68回全国小・中学校・PTA新聞コンクール学校新聞の部で佳作を受賞、吹奏楽部・合唱部・箏曲部が毎年度末にブリランテコンサートを開催するなど活発に行っています。運動面では、学総・新人戦において陸上部、男女ハンドボール部（学総は男女とも出場、新人は男子のみ出場し、女子は廃部）、男子卓球部、男子ソフトテニス部が県大会への出場を果たしています。体験活動の充実として1年で校外学習・職業体験、2年で山村民泊体験学習、3年で修学旅行での合唱交流を実施し、豊かな心と社会性を育むため積極的に取り組んでいます。学力向上に向けては、思考の見えるノートづくりを全教科で実施、家庭学習充実に向けトライアルノートの活用、夏休みに3日間のトライアスロン学習会などを実施し、文武両道の教育を推進しています。



学校名 **春日部市立武里中学校**

校長名 **菊 野 大**

所 在 地 春日部市薄谷3番地

連 絡 先 048-735-3034 FAX 048-734-9418

創立記念日 昭和22年4月1日

開校記念日 6月14日

生 徒 数 504名（令和2年5月1日現在）

＜本年度の研究テーマ＞

「主体的に学び、深く考え、豊かに表現できる生徒を育てる指導の工夫」（3年次）

◇学校の概要

本校は、昭和22年に創立され、学校周辺には緑地公園や田園風景が広がる、緑豊かな環境の中にあります。また、学校施設は、広い校庭や重層体育館などの充実した施設・設備が整えられています。

このような恵まれた環境のもとで、生徒は学習活動や学校行事、部活動に全力で取り組んでいます。

また、特別支援学級、通級指導教室がそれぞれ設置されており、特別支援教育を実践する環境も整い、個々の特性に応じた指導を行っています。

◇学校教育目標

「創意に満ち人間性豊かな生徒」

- ① 自ら考え実行する生徒
- ② 素直で思いやりのある生徒
- ③ 健康でたくましい生徒
- ④ 勤労を尊ぶ生徒

◇学校経営方針

関係法令、県、市の各教育委員会の重点施策等に基づき、学校教育目標の具現化を図るために校長を中心とした全職員の協働体制の下、教育活動を推進することにより保護者や地域の信託に応え、活力と潤いに満ちた魅力ある学校づくりを目指す。

- ・ 教育の主体を常に生徒におき、「生徒が主役」の教育活動を実践する。
- ・ 「チーム武里中」の核として、全職員が強固にバインドし、一丸となって組織力を発揮する。
- ・ 家庭・地域と連携・協力して信頼される学校づくりに取り組む。

◇育てたい生徒像

- | | | |
|----------------|---|--|
| ○ 自ら考え実行する生徒 | → | ・ 課題に向き合い、解決しようとする生徒
・ よりよく判断し、正しく行動する生徒 |
| ○ 素直で思いやりのある生徒 | → | ・ 自分とは異なる考えなどを受け入れられる生徒
・ 自他を大切にし、助け合い、感謝し合える生徒 |
| ○ 健康でたくましい生徒 | → | ・ 健康と生命を大切にする生徒
・ 何事にもねばり強く、最後までやり抜く生徒 |
| ○ 勤労を尊ぶ生徒 | → | ・ 進んで力になろうとする生徒
・ 家庭、学校、地域の一員であらうとする生徒 |

◇武里中の伝統と新たな伝統づくり

武里中の校旗は、昭和28年に制定された、伝統ある「三色旗」です。武里中の赤・白・青の「三色旗」は、赤（紅色）は「向学の真心」、白（純白）は「清き心」、青（縹色）は「青雲の志」を表したものであり、この三つを基本とする教育が本校の伝統です。また、「生活・学習記録ノート」の活用によって家庭学習の習慣化と充実を図り、学力向上を目指しています。



合唱祭（学年合唱）



学校名 **春日部市立大沼中学校**

校長名 **大野 明彦**

所在地 春日部市大沼6丁目75番地

連絡先 048-736-9986 FAX 048-734-9420

創立記念日 昭和52年4月1日

開校記念日 9月16日

生徒数 541名（令和2年5月1日現在）

【本年度の研究テーマ】

「確かな学力を身につけ、主体的に学ぶ生徒の育成」（2年次）

ー伝え合い・学び合い・育ち合い・思い合いをととした「学力向上」への取組ー

開校44年目を迎え、目指す学校像『夢や希望を語れる大沼中』を具現化させる取組を展開している。



○夢：生徒が視野を広げ、世界に目を向けること。

○希望：自己のよさ（個性）に気づき、生かそうとすること。

○語れる大沼中：『個は夢や希望など、自己の考えを他に発することができる。』『集団は個々の違いを理解しながら、個の考えを自分のこととして受け止め、互いに高め合うことができる。』これらの視点を持ち、家庭・地域と共に子どもたちを育む学校を目指す。

【学校教育目標】

「心身ともに健康で社会に有為な人づくり」○考える力…自ら学び、自ら考える生徒（知）○判断する力…相手の立場を尊重し、主体的に判断する生徒（徳）○行動する力…心身ともに健康で、ねばり強く行動する生徒（体）

【4つの合言葉＋1】 目指す学校像を具現化するため、以下の取組を行う。

1 学力の高い学校

準備、本番、反省、改善のサイクルを本校では「黄金サイクル」と呼ぶ。本校の特色は黄金サイクルの実践にあり、全ての教育活動において取り組むことで、確かな定着を図る。「全ての営みとその結果は、準備が大方を占める」という考え方を生徒に身につけさせることで、一人一人の学力向上につなげ、生徒が将来にわたって主体的に豊かな人生を切り拓くことができるようにする。

2 美しい学校

「ひまわり賞」を実施する。よさ、とりえを伸ばし、温かい心を大切にする。「いじめを生まない土壌づくりのための基本的な方針」を毎年度当初に見直し、毎月定期に「心と体の安全点検日」を設ける。自分を取り巻く環境を大切にする心を育む清掃活動、他人を分かろうとする心と行動力を育むボランティア活動、読書に親しむ態度を育む読書活動に取り組む。

3 歌声響く学校

一人一人が心を込めて歌うことで、学級、学年、学校全体の感動が生まれる。感動の共有は子どもたちの豊かな心を育む。歌うことをとおして、互いに支え合うことの大切さを本校の伝統として継承する。

4 あいさつの飛び交う学校

心地よいあいさつは、一瞬で相手を気持ちよくする効果がある。自ら元気で明るいあいさつができる学校、生徒を育成する。

プラス1

クツ箱にクツのかかとかキッチンと揃って入っている学校

【目指す教師像】

1 信頼醸成

敬意の念で先人に学ぶ・安心安全な施設設備・信頼と連携による生徒指導・家庭に寄り添った進路指導

2 協働協調

困りごとを言える職場・若手育成・解決策を増強させる力のある組織・情報共有のスピードと正確性

3 学力重視

受容的な人間関係づくり・生徒の実態を客観的に把握、分析し指導に活かす体制づくり

4 連携協力

生徒の自尊感情、地域愛を育む地域連携の推進・よさを認め励ます情報発信・関係機関との連携



学校名 **春日部市立豊野中学校**

校長名 **齊藤 哲**

所在地 春日部市銚子口130番地

連絡先 048-737-0440 FAX 048-734-9421

創立記念日 昭和52年4月1日

開校記念日 9月16日

生徒数 489名(令和2年5月1日現在)

＜本年度の研究テーマ＞

「確かな学力の育成を図る指導の工夫」

～基礎基本の定着と思考力、判断力、表現力の育成を目指して～(1年次)【学校教育目標】



夢創造

- 自ら学び自ら考える生徒
- 心豊かで逞しい生徒
- 自ら心身を鍛える生徒

【4つの合言葉】

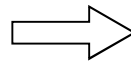
豊野中学校

【4つの合言葉】

温かい挨拶・真剣な授業
心ある歌声・美しい学校

【学校経営方針】

- ・夢があれば目標が生まれる。
- ・目標があれば行動が変わる。
- ・行動が変われば生活が変わる。
- ・生活が変われば人生が変わる。



生徒が自分の夢を創り出し
その実現に向けて努力できるよう
応援します。

「自分の学校に誇りを持つ ～一生懸命がカッコイイ～」

生徒が主役の誇りが持てる学校を地域と共に創造し、「夢創造」の具現化を目指します。

【本年度の重点】

(1) 確かな学力と自立する力の育成

- ①基礎基本の確実な定着 (・授業規律 ・ねらいを明確に ・家庭学習の習慣化 ・朝自習の充実)
- ②自ら学び考える力の育成 (・聞く力、伝える力の育成 ・朝読書の充実 ・体験的、問題解決的な授業)
- ③積極的な生徒指導 (・自己実現を図る ・基本的生活習慣 ・目標を持つ ・生徒指導体制の充実)
- ④進路指導・キャリア教育の充実 (・目的意識 ・体験活動 ・主体的な進路選択能力の育成)

(2) 健康で心豊かな生徒の育成

- ①道徳の時間の充実 (・道徳教育の充実 ・道徳的实践力 ・規範意識と思いやりの心の醸成)
- ②学校行事の充実 (・成就感や達成感 ・実践的行動力 ・自主的・自立的な学年・学級集団)
- ③部活動の充実 (・よさを伸ばす ・主体的な取組 ・健康と体力 ・粘り強さと努力する態度)
- ④信頼関係の醸成 (・共感的な人間関係 ・自己肯定感 ・いじめを許さない ・ボランティア活動)

(3) 地域に開かれた質の高い教育の推進

- ①少年育成会との連携 (・地域と共に生徒を育てる関係性 ・地域行事への積極的な参加)
- ②積極的な情報発信 (・学校便り、HP、ブログ等を活用した情報発信 ・各種便りの発行)
- ③家庭・地域等との連携 (・PTA活動への理解と協力 ・小学校との情報連携)
- ④環境の整備・充実 (・生徒の安心・安全 ・潤いのある学校環境 ・環境美化と清掃活動)



学校名 **春日部市立緑中学校**

校長名 **小林 孝之**

所在地 春日部市緑町5丁目9番38号

連絡先 048-737-8447 FAX 048-734-9422

創立記念日 昭和58年4月1日

開校記念日 5月8日

生徒数 295名（令和2年5月1日現在）

令和2年度 緑中学校の教育

1 学校教育目標 賢い生徒 優しい生徒 逞しい生徒

2 めざす学校像 ～ 学び合い、高め合える学校 ～

- ・活力のある学校（自ら考えて行動できる 諸活動に積極的に取り組む）
- ・潤いのある学校（安心、安全で清潔感がある 生徒作品と生徒の活動がわかる掲示）
- ・心を育む学校（明るいあいさつがある 読書に親しむ ボランティア活動に取り組む）

3 めざす生徒像 「 感じて 考え 行動できる生徒 」

生徒自ら様々な事象に気づき、考え、行動する力 『 考動力 』を育成する。



なごみ像

4 学校経営の基本方針

教育活動は生徒のため、「生徒がよりよく変容・成長するため」にある。そのために、学校があり、我々教師がいる。「生徒一人一人が自己実現に向けて努力できる学校」「安全・安心で、清潔感のある学校」「家庭・地域から信頼される学校」を創りあげることが目標とする。

（1）協働・協調

学校は組織体である。組織を支えるのは教職員の人間的なつながりである。自らの使命と責任を自覚し、一人ひとりの知恵と力を結集し、総力で学校教育目標の具現化を図る。

- ・元気な学校は元気な先生が創る。そのためにも先生方が健康第一で過ごす。
- ・学校、学年の基本方針や生徒指導方針は、お互いに理解し、報告、連絡、相談を徹底し、教職員が一人で抱え込まない。
- ・チームワークが全ての原動力、チームワークを大切にしていく。
- ・風通しのよい明るい職場環境をめざす。

（2）教師としての指導力の向上

指導力の向上は、生徒の成長の姿となって現れる。

- ・そのためにも指導方法の工夫・改善に努める。
- ・1時間1時間の授業は、生徒にとって二度とない時間である。大切にしていく。
- ・教師の伸びこそ、生徒の伸びとなる。
- ・自ら学ぶ教師の後ろ姿が生徒を変える力となる。



（3）師弟同行

「教えることは学ぶこと」、教師が燃えずして生徒の心に灯をともしことはできない。

- ・「我以外皆我師」、いつも謙虚に、教師としての資質向上に努める。
- ・生徒と行動を共にし、生徒の心に触れる努力をする。生徒と行動できる時間を確保する。

（4）信頼の醸成

「信頼なくして教育はなし」、学校と家庭、地域社会との信頼関係があつてこそ教育活動は成り立つ。

- ・教師の言葉がけは、生徒の心に深く刻み込まれる。後ろ姿で指導できる教師をめざす。
- ・学校HP、学校、学年、学級だよりによる定期的な情報発信により学校の様子を知っていただく。

5 本年度の研究テーマ

意欲的に学び合う生徒の育成 ～主体的・対話的な学びに向けた授業の工夫～

多様に変化していく社会を生き抜くためには、基礎的・基本的な力とともに、変化への対応力や主体的に社会に関わる積極性、新たな価値を生み出す創造性などを育むことが求められる。そのためにはまず、生徒の学ぶことへの意欲を向上させることが不可欠である。そこで、主体的な学びに向けた授業の工夫をテーマとした。





学校名 **春日部市立大増中学校**

校長名 **三 浦 裕**

所在地 春日部市上大増新田 1 4 0 番地

連絡先 048-737-5100 FAX 048-734-9423

創立記念日 昭和 5 9 年 4 月 1 日

開校記念日 1 1 月 2 8 日

生徒数 3 1 5 名（令和 2 年 5 月 1 日現在）

＜本年度の研究テーマ＞

「自ら豊かに学び、豊かに関わり、心を大切にできる生徒の育成」（1 年次）

- 1 創立 37 年、春日部市の南西部に位置し、立野小学校、本校、春日部共栄中学高等学校、春日部高等技術専門学校と 4 校が並ぶ学園ゾーンです。

また、校舎は円形を基本にしたモダンなつくりで、中庭にはオブジェもあり、多くの樹木に囲まれた豊かな学習空間が形成されています。



- 2 学校教育目標「理性 情熱 友愛」

（1）理性：自ら考え、正しく判断し行動できる生徒

（2）情熱：意欲をもって、全力でやり抜く生徒

（3）友愛：自他を大切にし、思いやりの心で助け合う生徒

生徒の育成を目指して、教職員一丸となって教育活動を展開しています。



- 3 目指す学校像「活力と潤いのある学校」

（1）“力”を尽くす学校：①規律がある学校 ②活気がある学校

（2）“ことば”を尽くす学校：①心地よい挨拶がある学校 ②温かな言葉掛けがある学校

（3）“気持ち”を尽くす学校：①思いやりがある学校 ②生徒の活躍の足跡（歌・絵画等）がある学校

- 4 今年度の学校づくりの方針（スローガン **確かに歩む道へ 「継承 そして創造・挑戦」**）

本校教育の弛まぬ推進に資するために「チーム大増中」のメンバー〔生徒・教職員・保護者・地域はじめ関係者〕が一丸となり、また学校外部の教育資源を活用した教育活動を工夫し、社会総がかりで未来を切り拓く資質・能力を備えた人財づくり、育成へ小中一貫を通して邁進する。

学びと心豊かな環境の学び舎「大増中学校づくり」を推進するために、伝統の継承は勿論、新たな創造・挑戦の教育活動を重ね、大増中でよかったという実感や誇りを醸成していきます。

- 5 今年度の重点事項・努力点

（1）重点事項 「自ら豊かに学び、関わり 心を大切にできる生徒」

①学年・学級経営の充実（居場所、居がいの集団づくり）

②主体的・対話的で深い学び、活動を充実（学習、行事等）

③豊かな心を実感する体験活動の工夫、推進（協調・協働）

④非認知能力、生きる上の心根の育成（社会力、人間力）



（2）努力点

①教育目標との関連 ②チーム大増中としての校務分掌の推進・充実 ③効率化・能率化及び一体化のある学年学級経営 ④生徒のよさ、とりえを伸ばす道徳教育 ⑤人権意識・感覚を高める人権教育 ⑥自己を見つめ、磨き高める進路指導・キャリア教育 ⑦UD の視点に立った特別支援教育 ⑧生きて働く力となる安全教育・安全指導 ⑨生徒の健全育成を推進する健康教育 ⑩協働的に推進する環境教育 ⑪体験学習による福祉教育 ⑫モラルとスキル向上を目指した情報教育 ⑬小中連携による国際理解教育 ⑭自分の命は自分で守る防災教育 ⑮思考力・創造力を高める図書館教育 ⑯自発的・奉仕的な心を育むボランティア活動



学校名 **春日部市立春日部南中学校**

校長名 **永野 修**

所在地 春日部市武里中野 7 4 6 番地

連絡先 048-737-2869 FAX 048-734-9417

創立記念日 平成 3 1 年 4 月 1 日

開校記念日 1 1 月 1 5 日

生徒数 4 8 3 名 (令和 2 年 5 月 1 日現在)

◇学校の概要

緑豊かな教育環境のもと、「夢を追いかけ いのち輝く春南生」を合言葉に、確かな学力の育成と豊かな心の育成を中心に様々な教育活動を進めています。

◇学校経営方針

1 学校教育目標 **夢に向かって 未来を拓く ～自立・共生・貢献～**

【目指す生徒像】

- ◆ **自ら学び考える生徒** ・主体的に学びに向かい、自ら判断し解決することができる。
- ◆ **素直で心豊かな生徒** ・相手の立場を尊重し、認め合い高め合うことができる。
- ◆ **心身ともに逞しい生徒** ・心身を鍛え、粘り強く最後までやり遂げることができる。

2 経営方針

【目指す学校像】

- ◆ **活力のある学校** ・部活や行事が活発な学校 ・思いやりを実行する学校
- ◆ **秩序のある学校** ・明るい挨拶のある学校 ・動と静のメリハリのある学校
- ◆ **潤いのある学校** ・美しく清潔な学校 ・花や温かい言葉が溢れる学校

【経営理念と合言葉】 **～夢を追いかけ いのち輝く春南生～**

- ◆ **凡事徹底**： 時を守り ・場を清め ・礼を正す (あたり前のことがひかり輝く)
- ◆ **師弟同行**： 共汗・感動・信頼 (教師と生徒が共に汗を流し喜びを分かち合う)
- ◆ **率先垂範**： チーム春日部南中 (教職員が一丸となって共に学び高め合う)

3 本年度の重点と具体策

(1) 確かな学力の育成

- ① 個に応じたきめ細かな指導による基礎学力の向上
- ② 「主体的・対話的で深い学び」を重視したさらなる授業改善
- ③ 指導と評価の一体化による日々の授業の充実
- ④ 授業のユニバーサルデザイン化によるわかる授業の創造

(2) 豊かな心の育成

- ① 「考え議論する道徳科」を中心とした道徳教育の充実
- ② ボランティア活動・社会体験、自然体験等とおしての豊かな心の育成
- ③ 「志」と生き方を育む進路指導・キャリア教育の推進
- ④ 潤いと美しさのある学習環境の整美と生徒の心を育てる掲示物の工夫

(3) 安心・安全な学校

- ① いじめ未然防止の徹底によるいじめを絶対に許さない学年・学級経営の充実
- ② 「見逃さない」「あきらめない」組織的な生徒指導・教育相談の推進
- ③ 命の大切さを育む防災教育と保健教育、交通安全指導の充実
- ④ 楽しく安全な学校給食と食に関する指導の充実

(4) 地域・保護者との連携

- ① 校区内小学校との児童生徒交流、教職員協働による小中一貫教育の推進
- ② 生徒のボランティア活動や地域行事への参加による地域社会貢献
- ③ 学校 HP の更新、メール配信、学校だよりの発行等による積極的な情報発信
- ④ 学校公開、保護者会授業参観の工夫・充実





学校名 **春日部市立葛飾中学校**

校長名 **野田 隆幸**

所在地 春日部市永沼2250番地1

連絡先 048-746-0002 FAX 048-746-5260

創立記念日 昭和22年4月1日

開校記念日 4月22日

生徒数 482名（令和2年5月1日現在）

＜本年度の研究テーマ＞

「主体的、協働的に学ぶことがうれしい授業づくり」～学力向上を目指して～

1 学校教育目標 『自ら考え実行する生徒』

- ・学力を高める
- ・心身を鍛える
- ・進んで働く
- ・物を大切にする

2 目指す学校 「信頼される学校を目指して」

- ・学校は安全なところ、うれしいところ、きれいなところ
- ・学校は生徒にやる気を起こさせ、確かな学力をつけるところ
- ・学校は生徒に豊かな心を育むところ
- ・学校は生徒に健やかな身体を育むところ
- ・学校は生徒・保護者に愛され誇れるところ

※生徒の心情をゆさぶり、生徒自らが「気づき、考え、行動する」教育を行う。



3 育てたい生徒像

- ・真剣に学習に打ち込む生徒
- ・時間を守る生徒
- ・汗を流して働く生徒
- ・健康・安全に気をつけ、交通ルールを守る生徒
- ・公共物を大切にし、人のために頑張れる生徒
- ・あいさつがしっかりできる生徒
- ・いじめをしない、思いやりのある生徒
- ・部活動などで心身を鍛える生徒

4 望まれる教師像

- ・生徒の気持ちを理解し、生徒にやる気を起こさせる教師
- ・常に研究と修養に努め、自ら学び続けようとする教師
- ・組織の一員としての自覚を持ち、自ら厳しさのある教師
- ・研究心旺盛でプロの教育者としての自負心を持ち続けられる教師
- ・理想を追い求め、率先垂範する教師
- ・教育公務員としての使命を自覚し、信頼される教師

5 学校経営方針 令和2年度スローガン “一人一人の夢を応援する葛飾中”

○学校教育の使命を自覚し、保護者や地域社会の信託に応え、地域に根ざした元気な学校づくりを進める。

○わかる授業を推進し、確かな学びと豊かな学びのある学校づくりを進める。

○心の教育の充実を全教育活動の基盤に据え、豊かな人間性と社会性の育成に全力を尽くす。

具体的には、

- 1 「葛中5つの授業規律」の徹底を図り、落ち着いて取り組む。

- 2 授業では基礎・基本を徹底し、家庭では家庭学習の充実を推進する。

- 3 生徒が部活動に主体的に取り組めるよう、生徒の実態に応じて計画的に指導する。

- 4 ボランティア活動を意図的・計画的に提供し、生徒の奉仕の精神を涵養する。

- 5 3大行事（体育祭、合唱祭、三年生を送る会）をさらに発展・充実させる。

- 6 毎週道徳の授業を実施し、生徒の心を耕す場とする。

- 7 学級・学年の教育環境を整備し、潤いのある環境で教育活動をする。

- 8 下足箱に靴のかかとをキチンと揃えて入れさせる。

- 9 生徒のよさを認め伸ばす「葛中まごころ賞」を積極的に推進する。



学校名 **春日部市立飯沼中学校**

校長名 **田村 嘉則**

所在地 春日部市飯沼180番地

連絡先 048-746-7321 FAX 048-746-7322

創立記念日 昭和57年4月1日

開校記念日 6月22日

生徒数 347名（令和2年5月1日現在）

＜本年度の研究テーマ＞

「自ら学ぶ意欲を高め、協働して学習に取り組む生徒の育成」

～“めあて・学習活動・振り返り”で学びの実感を高める授業づくり～

本校では、地域や家庭との連携を強め、地域立の中学校を目指しながら、校歌にも歌われている学校教育目標『自主実行』の精神を校訓として、生徒一人ひとりが輝くための特色ある教育活動の展開に努めている。「学力の向上」へ向けた取組では、「基礎的・基本的な内容の確実な定着」と「学び合い（言語活動）」により、一人一人を伸ばす指導を展開している。そして、本校の学習指導と授業規律の基本として、「授業の8つの約束」を全教職員が一致した指導方針として取り組んでいる。



＜特色ある取り組み＞

昭和57年の創立以来の「自主実行」の伝統として3つの実践が引き継がれている。1つ目は生徒会が運営・管理している「無人購買」。廊下に設置された棚には文房具や制服の小物などの販売がそれである。購買委員が収支管理を行っている。2つ目は全校で取り組む「学級新聞コンクール」。毎学期末の校内新聞コンクール、優秀な作品は埼玉県学校新聞研究会による埼玉県新聞コンクールや全国新聞教育研究協議会・毎日新聞社主催の全国小・中学校新聞コンクールに応募している。3つ目は、「エコキャップ回収運動」。この活動は自主的にエコキャップ委員となった生徒達を中心となり行っている。今まで300人程の子どもたちに、ポリオワクチンが届けられる量となった。その他にも、地域の小学校等の交流、大風マラソン、周辺地域のゴミ拾い、落ち葉掃きなどボランティア活動にも多くの生徒が参加しており、生徒一人一人に自主実行の精神が息づいていることを示している。



＜学校教育目標＞ 「自主実行」～自ら学び進んで実行～

具体目標 ・自ら課題を持ち進んで学ぶ生徒 ・豊かな心を持ち責任を果たす生徒
・心身ともに健康な生徒

目指す学校像 生徒一人一人が輝き、夢を育て、自信を持って未来の社会に生徒を送り出す学校

◇活力ある学校

・部活や行事が活発な学校 ・思いやりを実行する学校

◇秩序ある学校

・明るいあいさつのある学校 ・動と静のメリハリのある学校

◇潤いある学校

・美しく清潔で花が咲きほこる学校 ・温かい言葉や歌声の溢れる学校

＜経営理念＞ ○長所伸長（互いの良さを伸ばし認め合う学校）

○凡時徹底（あたりまえのことがひかり輝く学校）

○師弟同行（教師と生徒が共に汗を流し喜びを分かち合う学校）

○率先垂範（教職員が一丸となって共に学び高め合う学校）

＜本年度の重点＞

○「春日部メソッド」の実践により「認め合い・高め合う チーム飯沼」

「教師は生徒の良きモデルであるべき」を意識した教職員のより良い行動



学校名 **春日部市立江戸川小中学校**

校長名 **小 林 学**

所在地 春日部市上吉妻1番地
連絡先 048-748-1020 FAX048-748-1282
創立記念日 平成31年4月1日
開校記念日 9月29日
児童生徒数 190名（令和2年5月1日現在）

〈本年度の研究テーマ〉

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う教育の推進
ー 9カ年の発達段階を考慮した道徳科の授業および評価計画の実施・研究（令和2年度）ー

本校は宝珠花小学校、富多小学校、江戸川中学校の3校を統合してできた、施設一体型の小中一貫校、県下初の義務教育学校です。

1 小中一貫教育の基本方針

- ・義務教育9年間を見通した系統的・継続的学習活動による学力・体力の向上
- ・児童生徒の交流、体験活動による豊かな人間性・社会性の育成
- ・共通の教育観に基づく子供の発達段階に応じた指導・支援の推進
- ・異年齢交流等を活かした地域に根差した特色ある教育活動の展開
- ・教職員の専門性を活かした指導体制

2 学校教育目標

自ら学び、考える子（確かな学力）
心豊かで、思いやりのある子（豊かな人間性）
たくましく生きる元気な子（健やかな体）

3 目指す生徒像

え 笑顔であいさつする子（基本的生活習慣）
ど 堂々と意見を言う子（思考力・表現力）
が 頑張りぬく子（確かな学力・体力）
わ わかりあう子（思いやりの心）

4 本校の特色ある教育活動

（1）一人一人の児童生徒が多様な体験を積み、夢を見つけ育む教育

- ・豊かな体験による人とのふれあい
- ・職場体験（3dayチャレンジ）
- ・個性を磨き、夢を育むキャリア教育
- ・能力・適性の的確な把握と指導
- ・学年を越えた縦割り3団の大運動会
- ・表情豊かに心に響く音楽会
- ・大風あげ祭り・大風マラソンボランティア

（2）児童・生徒理解を基盤とし、一人一人の児童・生徒を大切に する教育活動

- ・全職員での生徒理解と支援体制
- ・生徒指導委員会、教育相談の定期的な開催
- ・習熟度に応じた課題設定
- ・道徳教育の推進
- ・自らの健康・体力を維持管理できる児童生徒の育成（なわとび運動・ラジオ体操の推進）

（3）わかるまで、できるまで取り組む継続性のある教育活動

- ・全教員による少人数指導
- ・わかる授業の工夫と実践・豊かな心の育成（校内研修）
- ・家庭学習の充実
- ・朝読書の活用



社 会 教 育

※各ページに記載されている事業等は令和 2 年 6 月 1 日現在の
予定であり、今後、新型コロナウイルス感染症拡大防止の
ため、中止、変更等になる場合があります。

社会教育課

1 課の目標

「市民が主役となって活躍し、生きがいを持てるまち」の実現に向けて、市民一人ひとりが自らの意思で学習し、学んだ力をボランティア活動や地域の発展等に生かせる生涯学習社会を築くために、中核となる社会教育行政の充実を図る。関係機関・団体との連携の基に、地域に密着した学習情報や学習機会を開発・提供し、市民の自主的な学習活動を奨励するとともに、活動を支える基盤を整備する。あわせて、「子どもが幸せに育ち、生きる力をはぐくむまち」の実現に向けて、家庭・地域・学校と協力して青少年の健全育成を推進する。

2 主な施策

(1) 社会教育の充実



生涯学習社会構築の中核的な役割を担う社会教育行政の充実を図り、心豊かで生きがいのある生活の創造と連帯意識にみちた活力ある地域づくりを目指すため、社会教育推進体制の充実、指導者の育成、学校教育並びに関係機関・団体等との連携拡充及び市民との協働の推進に努める。

(2) 社会教育関係団体の活性化

社会教育活動活性化のために、必要に応じ、市民の自主的な事業の後援、指導者・ボランティアの紹介、助言等の支援を通して、社会教育関係団体の活性化を図り、市民参画による社会教育活動を推進する。

(3) 人権意識の普及・啓発

同和問題や女性、子ども、高齢者、障がい者、外国人、アイヌの人々、HIV（エイズウイルス）感染者等、犯罪被害者、北朝鮮拉致被害者、刑を終え出所した人、性的指向や性同一性障がい者、ホームレスなど、さまざまな人権問題について正しい理解と認識を深めるため、関係機関・団体、市人権教育推進協議会、民間企業等との連携を図り、すべての人の人権を尊重するまちづくりを推進する。

(4) 芸術文化活動の奨励、促進

市民に優れた芸術文化活動に接する機会を提供するとともに、地域において活動する個人、団体等と連携し、その活動を支援し、発表の場をつくるなど、市民の自主的な芸術文化活動を奨励、促進する。

(5) 青少年教育の充実

青少年教育の充実を図るため、関係団体と連携して、青少年を対象とした事業や、家庭教育の支援のための事業を実施するとともに、青少年の地域活動・ボランティア活動の推進を図る事業を実施する。

また、「かすかべ郷土かるた」を活用した「かるた学習」を実施し郷土学習の充実を図る。

あわせて、「放課後子ども総合プラン 春日部市行動計画（第2次）」に基づき、義務教育学校を含む全小学校区で「放課後子ども教室」を実施し、学校区ごとに組織する実行委員会と連携して、事業の啓発や、退職職員を含めた市民ボランティアの発掘・育成に取り組む。

(6) 適正な図書館運営と学校図書館への支援

図書館の読書活動及び学習・情報拠点機能の更なる充実を図るため、図書、記録その他必要な資料を収集する

とともに、図書館が指定管理者によって適正に運営されているか継続監視し、必要に応じて協議及び指導を行う。

また、市内小・中学校及び義務教育学校図書館の支援を拡充するため、中学校及び義務教育学校(後期課程)の学校図書館への訪問支援、小学校及び義務教育学校(前期課程)の学校図書館支援員へのサポート等を実施する。あわせて、「春日部市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書活動をより一層推進することを目指し、関連する施策に総合的、計画的に取り組む。

(7) 生涯学習推進体制の充実

令和元年度からスタートの「第2次春日部市生涯学習推進計画」に基づき、より多くの市民が生涯学習に関心を持てるよう、生涯学習の楽しさや魅力を積極的にPRし、相談・支援体制を充実させる。

また、一人ひとりのライフスタイルに合った多様な学習機会を提供するとともに、学習成果を地域で生かす機会を充実させ、地域の活性化を促進する。

あわせて、生涯学習推進本部、生涯学習市民推進員、関係機関等との連携を図り、生涯学習事業を効果的に実施する。

(8) 生涯学習情報・学習機会の提供

市民の自主的な学習活動を奨励・支援するため、市民講師による「生涯学習市民塾」、「遊学1日体験教室」、「かすかべし出前講座」等を開催し、多様な学習機会を提供する。

10～12月に市内で開催される生涯学習のイベントを「かすかべ遊学フェスティバル」参加事業としてPRし、広く市民に生涯学習情報を提供する。

また、市民の学習目標や学習成果等が記録できる生涯学習パスポート「はるがく帳」を配布し、生涯学習の推進を図る。

(9) 視聴覚センターの充実

視聴覚教育を通して、市民の生活文化と知識教養を向上させ、学校教育と社会教育の振興を図る。そのために、施設の専門設備を活用した講座を開催するとともに、情報提供、教材の開発、教材・機器の貸出しを行う。

3 主な事業の概要

(1) 社会教育担当

区分	事業名	事業内容	備考
社会教育総務事務	社会教育委員会議	社会教育の振興を図るため、諸計画の立案や教育委員会の諮問に対する答申、提言等を行う	
	市民アカデミー	人権作文・ポスターの発表を行うとともに、社会教育の推進と充実を図るため、市民・学校・社会教育活動を行っている団体を対象とした講演会を行う	市人権教育推進協議会と共催 遊学フェスティバル参加事業
	成人式	二十歳になった成人を祝福するとともに、責任と自覚を喚起することを目的に祝賀式典を行う	成人式実行委員会を設置
	学社連携事業	市内の高等学校、大学等と連携し、公開講座等の開催について支援を行う。また公民館と小学校、中学校及び義務教育学校との連携による小中学校開放講座の支援を行う	
	社会教育関係団体事業費補助金	社会教育の振興を図るため、社会教育関係団体が行う事業に対し、補助金を交付する	
	人権教育・啓発事業	人権問題に対する正しい理解と認識を深め、人権意識の高揚を図るため、近隣市町や人権教育推進協議会との連携を図り、人権研修への協力支援や啓発事業を行う	
芸術文化振興事業	人権教育推進協議会事業費補助金	人権教育の積極的な振興を図ることによって平等で明るい社会づくりに寄与するため、春日部市人権教育推進協議会が行う事業に対し、補助金を交付する	
	芸術文化情報収集及び提供業務	市民の芸術文化活動を支援するため、市内の芸術文化活動や芸術文化関係施設等の情報を収集し、ホームページ（遊学）等において情報提供を行う	芸術文化に係るイベント・人材・団体情報等
	市美術展覧会（市展）の開催	市民の芸術文化活動を振興し、芸術文化活動の活性化を図るため、市展を開催する	市展実行委員会を設置 遊学フェスティバル参加事業
	彫刻の維持、活用	「彫刻のある街づくり」によって市内に設置した22体の彫刻の維持管理を行うとともに、彫刻鑑賞会を開催するなど、彫刻の普及、活用を図る	
	共催・後援事業	市民の芸術文化活動等に係る教育委員会共催・後援事務を行う	
	芸術文化振興事業補助金	市民の芸術文化活動を支援するため、芸術文化団体が行う自主事業に対し補助金を交付する	

(2) 青少年教育担当

区分	事業名	事業内容	備考
青少年教育事業	青少年地域活動・ボランティア活動推進事業	青少年の地域活動・ボランティア活動体験の機会の創出のため、中学生を中心にボランティア情報の提供とボランティア手帳の配布を行う。 また、地域活動・ボランティア活動等、人に喜ばれる活動を行った者に対する小中学生の表彰支援を行う	
	かすかべ郷土かるた大会	かるた競技を通じた友達づくりや、他校児童・生徒との交流、郷土愛の高まりと知性を磨くことなどを目的として開催する。また、多くの大人が大会運営を支えることで、市民の青少年健全育成に対する意識の向上も目指す	青少年育成春日部市民会議・春日部市・春日部市教育委員会と共催 遊学フェスティバル参加事業
	放課後子ども教室推進事業	参加を希望する児童を対象に小学校等の施設を活用し、地域の方々の参画を得てスポーツやレクリエーション、文化活動等の様々な体験・交流活動を行い、子どもたちの心豊かな育みと地域の教育力の向上を図る	23校で実施 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」採択事業
	子ども大学かすかべ	共栄大学、青年会議所との連携により、「子ども大学かすかべ」を実施することで、子どもたちの知的好奇心を刺激し、将来の夢の応援を図る	子ども大学実行委員会を組織 遊学フェスティバル参加事業
	連携活動事業	地域全体で青少年健全育成に取り組んでいる青少年育成春日部市民会議・青少年育成推進員協議会・春日部市PTA連合会、春日部法人会が連携し、児童生徒や多くの市民が参加できる事業を開催し、青少年健全育成に向けた市民意識の向上を図る	連携活動実行委員会を組織し、春日部市教育委員会と共催
	放課後子ども総合プラン春日部市行動計画（第2次）	放課後子ども総合プラン春日部市行動計画（第2次）に基づいた取組を実施する	本計画は、第2期春日部市子ども・子育て支援事業計画に包含

(3) 図書館担当

区分	事業名	事業内容	備考
図書館運営事業	春日部市立図書館運営審議会	図書館の運営に関する事項について調査審議を行い、教育委員会に意見を述べる	
	市立図書館の蔵書構築	中央・武里・庄和図書館資料の購入、収集及び保存に係る選定を組織的系統的に行い、市民や地域状況の求める資料を提供する	
	指定管理者の継続監視	指定管理者による図書館運営が適切になされるよう継続監視を実施し、図書館機能の維持発展を図る	
	中学校及び義務教育学校(後期課程)図書館支援	中学校及び義務教育学校(後期課程)の学校図書館に訪問支援を実施し、生徒の読書意欲の向上、学校図書館の利用向上等の効果を図る	
	小学校及び義務教育学校(前期課程)図書館支援	小学校及び義務教育学校(前期課程)に配置されている学校図書館支援員を対象に全体研修を実施するとともに個別相談に対応する	
	学校連携事業	小学校、中学校及び義務教育学校を対象に「ブックトーク」及び「団体貸出」の実施並びに「学校おはなし会」の調整を行う	
	春日部市子ども読書活動推進計画	「春日部市子ども読書活動推進計画」に基づいた取組を実施する	

(4) 生涯学習推進担当

区 分	事 業 名	事 業 内 容	備 考
生 涯 学 習 推 進 事 業	生涯学習推進体制の充実	生涯学習推進本部の活動充実 (本部会、幹事会、スタッフ会議)	
		生涯学習市民推進員の活動充実	スキルアップ講座等
		全国生涯学習市町村協議会	市長が理事
	生涯学習推進計画の進行管理	「第2次春日部市生涯学習推進計画」を基に、 具体的な実施計画書を作成する	
	生涯学習都市宣言	生涯学習都市宣言の啓発	
	生涯学習研究事業	生涯学習市民推進員が企画し、公民館・地域と の連携を図りながら事業を実施する	
	生涯学習交流紙「遊学」の 発行	生涯学習市民推進員が企画、取材、編集を行い、 生涯学習交流紙を発行する	
	生涯学習人材情報登録制度	市民参加による生涯学習を進めるため、人材情 報を収集し、求めに応じて提供するとともに、 登録者が企画・実施する学習会「生涯学習市民 塾」の支援を行う	リスト作成 ホームページ掲載 関係機関に配布・活用
	かすかべし出前講座	市職員による「行政編」と生涯学習人材情報登 録者が講師となる「市民講師編」により、市民 に多様な学習メニューを提供する	出前講座メニュー一覧を作成
	遊学1日体験教室	人材情報登録者による講座を実施	
	かすかべ遊学フェスティバル	行政機関、市民団体等が10月～12月に開催す る生涯学習事業で、フェスティバルの趣旨に賛 同するものを参加事業として取りまとめる	実行委員会を設置
	生涯学習パスポート	市民が学習目標や計画を立てて学び、その学習 成果等を記録するための生涯学習パスポート 「はるがく帳」の普及と活用を図る	
	ミニギャラリーの設置	市民が作成した絵画、書、工芸その他の作品の 展示等の場を提供する	学習情報サロンに設置

(5) 視聴覚センター

区分	事業名	事業内容	備考
研修・学習センターとしての機能	16ミリ映写機技術研修	16mm 映写機簡易技術講習会	
	映像セミナー ＝市民対象＝	ビデオ編集入門講座	
		デジカメ写真加工入門講座	
		秋のビデオセミナー	
		ビデオ編集フォローアップ講座	
	教職員対象研修	タブレット入門研修会	
		タブレット授業実践研修会	
		タブレット活用研修会	
		情報モラル教育研修会	
		プログラミング教育入門研修会	
		校内研修等への支援	各校での研修を含む
	パソコンセミナー ＝市民対象＝	基本操作・パソコン入門講座	
		はがき（文面・宛名）作成講座	
		インターネット入門講座	
		インターネット活用講座	
		表計算入門講座	
		聴覚障がい者対象入門講座	手話通訳あり
		視覚障がい者対象入門講座	福祉的援助者あり
		親子で体験プログラミング入門講座	
		タブレットPC入門講座	
	子どもTV番組制作体験講座	テレビ番組制作体験講座	学年で参加
	夏休み自由研究応援プログラム	夏休み自由研究コーナー	調べ学習用の学習資料・事典等の提供を行う
		親子で楽しむ映画会	
		走らせよう！プログラミングミニカー講座	
	ビデオ・パソコン体験	自主研修	インターネット利用可
	無線LAN環境の提供	自主研修	学習情報サロン・各施設で利用可

教材センターとしての機能	視聴覚ライブラリーの運営	視聴覚機材や教材の整備・貸出	
		利用支援	
	視聴覚センター専門委員会	教材選定部会／貸出教材の選定	
		教材作成部会／自作教材の制作	
		学習情報部会／コンピュータの教育利用研究	
	教材資料作成支援	ビデオ制作支援	
		資料作成支援	
		データ変換作業支援	
		音声・映像コンテンツ作成支援	
	映像制作	ビデオ特派員と共同制作	
		素材ビデオライブラリーの整備	
		春日部市ビデオフェスティバルの開催 第1部 作品発表会の部 第2部 映像コンテストの部	
		成人式等行事記録ビデオ制作支援	
教育資料室の整備	教育資料の整備		
情報・研究センターとしての機能	学習情報サロン	閲覧・提供用資料の整備	
		生涯学習情報の提供	
	授業ライブラリーの運営	市内小学校、中学校及び義務教育学校の教員向け授業映像ライブラリーの運用	
	I C T活用出前講座	授業における I C Tの活用について研修会等に講師（市内小学校、中学校及び義務教育学校教員）を派遣し、現場の指導力を高める	教員による平成21年度春日部市施策提案の実現
	教育委員会ホームページ運営	ホームページの作成・保守	
		サーバーの保守・管理	
	視聴覚センターホームページ運営	ホームページの作成・保守	
		サーバーの保守・管理	
	学校ホームページ管理運営支援・I C T支援事業	市内小学校、中学校及び義務教育学校の情報発信の活性化・省力化を図る	
	マイギャラリー作品展示	市内小学校、中学校及び義務教育学校の児童・生徒の作品展示等	
	関係機関との連携・研究	全国公立視聴覚センター連絡協議会等	
	管理システムの機能の充実	ライブラリー貸出管理システムの運用・適正管理	
		施設利用案内表示システムの運用・適正管理	
公共施設予約システムの運用・適正管理			

視聴覚センター施設の概要

階	施設名	主な設備	定員	面積
1	学習情報サロン	ミーティングコーナー、パンフレットコーナー、無線 LAN、ミニギャラリー		175 m ²
2	視聴覚ホール	ステージ(65 m ²)、舞台照明、音響設備、電動スクリーン(3m×6m)、展示パネル、16 ミリ映写機、無線 LAN	机使用時 120 名 イスのみ 200 名	275 m ²
	視聴覚ホール控室 (3 階)	応接セット、トイレ付 ※ホール関係者控室	8 名	24 m ²
	視聴覚研修室	VTR、DVD プレーヤー、16 ミリ映写機、スクリーン 2、電動暗幕、無線 LAN ※視聴覚機器を使用する研修等	54 名	104 m ²
	会議室	ホワイトボード、無線 LAN	30 名	95 m ²
	マイギャラリー	※児童・生徒の作品展等		123 m ²
3	事務室(受付カウンター) ※視聴覚ライブラリーを含む	※施設・ライブラリーの予約・貸出、利用相談、機器類の簡易講習、ビデオ試写ブース 3、パソコン体験ブース 3、タブレット体験ブース 2		108 m ²
	メディア研修室	研修用パソコン(20)、無線 LAN ※市民パソコンセミナー、教職員・市職員研修等	40 名	122 m ²
	教材作成室 1	音声編集システム		71 m ²
	スタジオ	ビデオカメラ、スタジオ照明設備、アナウンス卓、撮影台、プロンプター等 ※ビデオ撮影、写真撮影等		68 m ²
	スタジオ調整室	ビデオ編集システム		33 m ²
	教育資料室	教育図書・資料等		40 m ²
4	研修室 1	レクチャー卓、VTR、TV、スクリーン、DVD プレーヤー、無線 LAN	45 名	77 m ²
	研修室 2	教材提示卓(VTR・DVD プレーヤー)、TV(2)、16 ミリ映写機、無線 LAN	110 名 (固定席 80)	138 m ²
	研修室 3	レクチャー卓、VTR、TV、スクリーン、DVD プレーヤー、無線 LAN	45 名	78 m ²

※3 階事務室では、生涯学習推進担当の事務もあわせて行っています。

(かすかべし出前講座、春日部市生涯学習人材情報登録などの受付・紹介等)

◆ 視聴覚ライブラリーの主な貸出機器・教材

貸出機器	プロジェクター、ビデオカメラ、16 ミリ映写機、スクリーン、録音機、拡声器など
貸出教材	ビデオテープ (VHS) 約 2,200 本、16 ミリ映画フィルム約 370 本、DVD 約 165 枚

文化財保護課

1 課の目標

市の歴史や文化遺産に対する市民の愛着や誇りを育むため、文化遺産を調査し、その魅力を周知するとともに、貴重な文化遺産を後世へ継承するため、適切な保護・保存を実施する。さらに、市の発展とともに市の歴史が継続することから、第2次春日部市史編さん事業計画に基づく市史の編さんを進め、地域資料や歴史資料として重要な公文書等の収集や整理、そして活用を図り、市民自らが市の歴史や文化遺産について学ぶための環境整備に努める。



2 主な施策

(1) 文化財保護審議会

- ① 文化財の保存及び活用に関する重要事項を調査審議
- ② 市にとって特に重要な文化財について、市指定文化財とするよう教育委員会に建議

(2) 保護・保存のための調査の実施

- ① 埋蔵文化財包蔵地の確認調査、発掘調査、整理、報告
- ② 市内の文化財について、必要に応じて調査を実施
- ③ 史跡神明貝塚を国民共有の財産として永く保存し、活用するための計画の策定

(3) 保護意識を高める普及啓発活動の実施

- ① 市民等を対象とした講座、体験事業の実施
- ② 文化財所有者、地域住民と連携した防災訓練の実施
- ③ 文化財保護に関する市民主催の講座等に講師派遣
- ④ 学校教育との連携による教材の提供や小学校、中学校及び義務教育学校の授業等に講師派遣
- ⑤ 史跡神明貝塚の魅力を市内外へ発信するための活用事業の実施
- ⑥ 旧宝珠花小学校における郷土の文化遺産の情報発信の場への準備

(4) 無形民俗文化財（伝統芸能）の後継者養成

- ① 補助金の交付による保持団体の保存事業への支援
- ② 「広報かすかべ」及び「市ホームページ」等にて公開日の周知
- ③ 地域の伝統芸能を市内外へ発信するための公開事業の開催と後継者養成の促進

(5) 有形文化財の保護・保存

- ① 専門家の指導、助言に基づく、適切な保存策の実施
- ② 「広報かすかべ」及び「市ホームページ」等にて公開日の周知

(6) 市史編さん体制

- ① 春日部市史編さん委員会による市史編さん事業についての審議
- ② 自然誌部会の調査の実施
- ③ ホームページ上での年表普及版の公開

(7) 地域資料の収集・整理・保存

- ① 地域資料の収集・整理
- ② 「市史資料整理計画」の作成に向けた地域資料の基礎整理

(8) 刊行物の頒布と市史の普及啓発

- ① 市史・文化財関係刊行物の有償頒布
- ② 市の歴史について「広報かすかべ」で紹介

(9) 行政文書の調査と受け入れ

- ① 歴史資料として重要な公文書等の収集と適正な管理と活用
- ② 広報掲載の写真資料のデジタル化

3 主な事業の概要

区分	事業名	事業内容	備考
文化財保護事業	文化財保護審議会	文化財の指定及び解除、埋蔵文化財の発掘、市指定文化財に対する助成、郷土資料館の運営等、文化財の保護・保存、郷土資料館の運営等について調査審議、建議する。	委員 10 人以内 任期 2 年 会議年 2 回 勉強会 1 回
	粕壁宿めぐり	庁内の連携により、市内外からの来訪者に粕壁宿の歴史や景観資源、フードセレクションの周知を図る。	
	民俗芸能公開事業	県・市指定無形民俗文化財の周知を図り、後継者養成を促進するため公開の機会を設ける。	
	土器作り教室	庁内の連携により、市民等を対象に体験事業を開催する。	
	「文化財防火デー」防災訓練	1 月 26 日の「文化財防火デー」に伴い、市内の文化財を対象に防災訓練を行い、文化財の保護意識の啓発、高揚を図る。	
	埋蔵文化財所在確認調査及び発掘・整理調査	市内の埋蔵文化財包蔵地について、開発行為に先立つ所在確認調査及び専用住宅建築の際の発掘調査、整理、報告書の刊行を行う。	
	神明貝塚の保存・公開・調査	史跡神明貝塚の保存活用計画策定、詳細報告書刊行に向けた整理調査、市民への魅力の周知を図る。	
	文化財調査	市内の文化遺産を対象に指定に向けた調査を実施する。	
	文化財保存事業費補助金	県指定文化財（建造物等）並びに県・市指定の無形民俗文化財の保存事業に対し、補助金を交付する。	
市史編さん事業	編さん委員会	市史編さん事業について審議する。	委員 10 人以内 任期 2 年 会議年 2 回
	編集委員	編集会議の開催。 自然誌部会の各種調査の実施。	監修者 1 人 編集員 8 人以内 調査員 30 人以内 特別調査員 30 人以内
	資料の収集・整理・保存	地域資料を収集・整理し、健全な保存と活用を行う。	
	刊行物の頒布と市史の普及啓発	市史・文化財関係刊行物を教育センター・市役所本庁舎・庄和総合支所・道の駅庄和・ぶらっとかすかべで有償頒布する。また、広報かすかべで市の歴史を紹介する。	
	行政文書の調査と受け入れ	歴史資料として重要な公文書等の収集、管理、活用と広報掲載の写真資料のデジタル化を行う。	

埋蔵文化財発掘調査受託事業	埋蔵文化財包蔵地内での開発行為に際し、事業者（公共機関、民間開発者）より受託して発掘調査、整理、報告書の刊行を行う。	
---------------	--	--

4 指定等文化財件数

種別	国指定	国登録	国選択	県指定	市指定
有形文化財	—	2	—	8	32
無形文化財	1	—	—	—	—
民俗文化財	—	—	1	2	10
記念物	2	—	—	5	3
計	3	2	1	15	45



史跡神明貝塚（南東から）

郷土資料館

1 館の目標と基本方針

市の歴史の変遷や生活文化に関するあらゆる資料（歴史・民俗・考古・芸能等）を収集・保存・調査・研究し、展示や体験学習・講座の開催等による教育普及を行い、市民の郷土学習に貢献できるような開かれた資料館とする。併せて、学校教育との連携を密にし、児童・生徒の郷土学習に役立つ教材の提供等に努める。

- (1) 大宮台地と下総台地、中川低地を基盤として展開されてきた地域の風土や歴史を学ぶことのできる郷土資料館とする
- (2) 春日部市の歴史の変遷や生活文化に関するあらゆる資料（歴史、民俗、考古、美術、建築、芸能等）を収集・保存し、調査・研究し、展示や体験学習等による教育普及を図るものとする
- (3) 地域社会における生涯学習の場とするため、全市民が参加できるような、開かれた資料館とする
- (4) 学校教育との関わりを重視し、児童・生徒の郷土の学習に貢献するものとする
- (5) 近隣地域の関連施設とのネットワーク化を図り、広く郷土の文化遺産に関する情報センターとしての役割を果たす

2 主な施策

(1) 「収集・保存」事業

- ① 計画的な資料収集
- ② 市ゆかりの人物関係資料の調査・収集
- ③ 収集資料の整理・保存と管理の徹底



(2) 「調査・研究」事業

- ① 寄贈資料等の調査・研究
- ② 展示資料に関する調査・研究
- ③ 博物館活動の研究

(3) 「教育・普及」事業

- ① 常設展示の充実と継続的な改修・改訂
- ② 展示替えの実施
- ③ 小学校地域学習展の開催と児童利用の促進
- ④ 歴史・文化関連講座や体験講座等の開催
- ⑤ 小学校、中学校及び義務教育学校の社会科及び総合的学習に関する教材提供等の協力
- ⑥ 他の博物館や生涯学習施設等との連携
- ⑦ 収集資料の公開・利用の促進
- ⑧ 小学校郷土資料室の整備
- ⑨ 旧宝珠花小学校の利活用

3 主な事業の概要

区分	事業名	事業内容	備考
郷土資料館事業	展示	夏季展示（第 62 回）及び、小学校地域学習展（第 37 回）を、企画展示室にて開催。 常設展示の更新に向けて、構成・展示資料を再検討。	観覧自由
	ミュージアムトーク	展示室内で企画展示を学芸員が解説。	
	体験教室	わらじ編みやしめ縄など、小学生親子と一般市民を対象に開催。	
	古文書講座	入門編（4 回）、初級編（6 回）、中級編（6 回）、市域の古文書を解説。	
	歴史・文化講座	江戸や関東地方・春日部の歴史・文化に関する講座を開催。	
	体験ワークショップ	展示室内での、紙芝居の上演と簡易な昔のおもちゃ作り。	1 日 2 回実施
	収集・保存	収蔵資料の整理・データ化と適切な管理。収蔵庫等の収蔵環境の整備・維持。	
	調査・研究	常設展示資料及び展示替、収集資料に関わる資料調査。博物館運営・情報発信に関わる調査・研究。	
	博学連携の推進	小学校及び義務教育学校団体見学の促進。小学校郷土資料室の整備。出張授業、教材用資料貸し出しの促進。	
	旧宝珠花小学校の活用	関連部署と連携して、令和 4 年度以降に、主に庄和地区に伝わった郷土資料の展示と収蔵を計画。	

4 施設・設備一覧

施設・設備	活用内容
1 階 (約 337 m ²)	教育センター入口掲示板
	常設展示室（約 208 m ² ）
	企画展示室（約 70 m ² ）
	事務室（約 37 m ² ）
	学芸研究室（約 16 m ² ）
	燻蒸室（約 20 m ² ）
地下 (約 447 m ²)	整理作業室（約 67 m ² ）
	資料収蔵庫（約 150 m ² ）
	特別収蔵庫（約 47 m ² ）
他公共施設	旧庄和第 1 児童館
	文化財第 2 収蔵庫
	粕壁地区公民館他

総面積 約 784 m²

※教育センター平成 2 年 4 月開所、郷土資料館平成 2 年 7 月開館

スポーツ推進課

1 課の目標

第2次春日部市総合振興計画前期基本計画における「市民が主役となって活躍し、生きがいを持てるまち」、そして「スポーツ・レクリエーション活動の推進」を実現するためには「だれもが生涯を通じてスポーツ・レクリエーションに参加できる機会の提供や活動を支援する体制づくりを推進すること」が必要となります。

そのため、「スポーツ教室やイベントの満足度」「市の有料体育施設の満足度」の増加を成果指標として掲げます。

また、「するスポーツの推進」「みるスポーツの推進」「ささえるスポーツの推進」「既存体育施設の維持管理と利用促進」「体育施設整備の推進」の「5つの柱」を重点施策として位置付けます。

2 主な施策



(1) 「する」スポーツの推進

- ① スポーツ教室の充実と創意工夫
- ② 各種イベントの充実と推進
- ③ 地域スポーツの充実と普及
- ④ 障がい者スポーツの普及と啓発
- ⑤ 総合型地域スポーツクラブとの連携

(2) 「みる」スポーツの推進

- ① トップレベルの大会誘致
- ② 人気スポーツの情報発信
- ③ 本市出身・ゆかりの選手の紹介
- ④ 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会関連イベントの開催
- ⑤ トップアスリートとの交流

(3) 「ささえる」スポーツの推進

- ① スポーツ・レクリエーション団体への支援と連携
- ② 学校活動への支援
- ③ 指導者の育成と資質の向上
- ④ 各種イベントへの協力依頼
- ⑤ ボランティア活動の意識の高揚

(4) 既存体育施設の維持管理と利用促進

- ① 補修・維持修繕
- ② 利用状況の把握
- ③ 利用者との連携
- ④ 指定管理者への監視と指導
- ⑤ 学校開放の促進

(5) 体育施設整備の推進

- ① スポーツ施設マネジメント基本計画への取組
- ② ウイング・ハット春日部周辺整備基本計画への取組
- ③ スポーツ拠点施設の現地調査
- ④ 事業用地の取得

3 主な事業の概要

(1) 「する」スポーツの推進

① スポーツ教室の充実と創意工夫

教室名	期間	定員	対象	会場
楽しく軽スポーツ体験教室	5日(中止)	60人	一般	庄和体育館
親子スポーツ教室	5日(中止)	40組	3歳以上の未就学児とその保護者	市民体育館
健康いっぱい球技教室	5日	40人	一般	市民体育館
楽しくドッジボール教室	5日	40組	小学生 (その保護者も可)	総合体育館
健康エアロビクス & いろいろエクササイズ教室	5日	60人	一般	市民体育館

※ さらに出前講座の活用や関係機関との連携を図り、各種スポーツ教室を開催する。

② 各種イベントの充実と推進

- ア 「令和2年度 春日部市民体育祭」
- イ 「第32回春日部大風マラソン大会」
- ウ 「健康スポ・レクフェスタ2020」

行事名	期日	対象	会場
春日部大風マラソン大会	5月4日 (中止)	申込者	庄和総合公園及び周辺コース
健康スポ・レクフェスタ2020 ～多世代・多目的型体験交流会～	8月	一般	総合体育館
春日部市民体育祭地区大会	10月	地区住民	各地区小・中学校校庭等
春日部市民体育祭種目別大会	6月～3月 (6月は延期)	会員・一般	市内各施設

③ 地域スポーツの充実と普及

- ア スポーツ推進委員協議会との連携
- イ 世代を超えて参加し、楽しむことができるニュースポーツの発掘と普及
- ウ 先進自治体への視察や各種関係団体との情報交換
- エ スポーツ教室等での積極的な普及(フラバレーボール等)

行事名	期日	定員	対象	会場
健康づくりのつどい	5月～11月 (5月～7月中止)	自由	小学4年生以上	小学校体育館
地域巡回スポーツ教室	7月～11月	地区により異なる		小学校体育館・公民館
体力テスト等の出前講座	年間	自由	一般	

④ 障がい者スポーツの普及と啓発

- ア 障がい者スポーツ種目の取入れ
- イ 障がい者スポーツの普及

⑤ 総合型地域スポーツクラブとの連携

- ア 県及びクラブとの連携
- イ 新たな総合型地域スポーツクラブの設立に向けた支援

(2)「みる」スポーツの推進

① トップレベルの大会誘致

大 会 名	期 日	会 場
卓 球 T リ ー グ	未 定	総 合 体 育 館
日 本 男 子 プ ロ バ ス ケ ッ ト ボ ー ル B リ ー グ	未 定	総 合 体 育 館

② 人気スポーツの情報発信

ア スポーツ大会やイベントの情報発信

イ 人気スポーツの情報発信

③ 本市出身・ゆかりの選手の紹介

「スポーツのまち春日部」の魅力を見つけ全国、世界で活躍している本市出身、あるいは本市にゆかりのある選手たちの活動などを、積極的に発信していく。

④ 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会関連イベントの開催

ア 埼玉県で開催するオリンピック・パラリンピック種目の周知

種 目	期 日	開 催 地
サ ッ カ ー	未 定	さ い た ま 市
バ ス ケ ッ ト ボ ー ル	未 定	さ い た ま 市
ゴ ル フ	未 定	川 越 市
射 撃	未 定	朝 霞 市
射 撃 (パ ラ リ ン ピ ッ ク)	未 定	朝 霞 市

イ オリンピック・パラリンピックの開催に向けた機運醸成イベントの開催

ウ 東京 2020 オリンピック競技大会コミュニティライブサイト開催に向けた準備

エ 東京 2020 オリンピック聖火リレーの実施に向けた準備

⑤ トップアスリートとの交流

日本を代表する選手や元プロ選手等と交流できるイベントの企画

(3)「ささえる」スポーツの推進

① スポーツ・レクリエーション団体への支援と連携

ア 補助金の交付

イ 各団体の大会開催の支援

ウ 運営の補助

団 体 名	団 体 内 容
ス ポ ー ツ 協 会	20団体 会員 約5,100人
レ ク リ エ ー シ ョ ン 協 会	19団体 会員 約2,200人
ス ポ ー ツ 少 年 団	9部会53団体 会員 約2,000人

エ 市主催イベントの協力依頼

② 学校活動への支援

ア 放課後子ども教室への指導者派遣

イ 出前講座の活用

③ 指導者の育成と資質の向上

ア 研修会・講習会

研 修 会 等 名	期 日	主 催 団 体	会 場
フラバレーボール審判講習会	9月	ス ポ ー ツ 推 進 委 員 協 議 会	未 定
社 会 体 育 合 同 研 修 会	9月	埼 葛 地 区 ス ポ ー ツ 推 進 委 員 連 絡 協 議 会	三 郷 市
リ ー ダ ー 研 修 会	11月	レ ク リ エ ー シ ョ ン 協 会	未 定
登 録 指 導 者 研 修 会	12月	ス ポ ー ツ 少 年 団	総 合 体 育 館
スタートコーチ養成講習会	12月	ス ポ ー ツ 少 年 団	総 合 体 育 館
ス キ ル ア ッ プ 研 修 会	12月	ス ポ ー ツ 推 進 委 員 協 議 会	中 央 公 民 館
合 同 研 修 会	3月	ス ポ ー ツ 協 会、レ ク リ エ ー シ ョ ン 協 会	未 定

イ 指導者の活用

スポーツ教室、共催事業、委託事業への講師の派遣依頼

行 事 名	指 導 者
ス ポ ー ツ 教 室	ス ポ ー ツ 推 進 委 員 ・ 民 間 指 導 者
健 康 づ く り の つ ど い	ス ポ ー ツ 推 進 委 員
健康スポ・レクフェスタ2020	スポーツ推進委員・ミニテニス協会・ビーチボール協会・スポ・レククラブ

ウ 研修会の参加奨励

研 修 会 等	期 日	対 象
関 東 ス ポ ー ツ 推 進 委 員 研 究 大 会	6月(中止)	ス ポ ー ツ 推 進 委 員
ス ポ ー ツ 推 進 委 員 セ ミ ナ ー	7月	ス ポ ー ツ 推 進 委 員
埼 玉 県 初 級 障 が い 者 ス ポ ー ツ 指 導 者 養 成 講 習 会	未定	ス ポ ー ツ 推 進 委 員
埼 玉 県 ス ポ ー ツ 推 進 委 員 協 議 会 第 1 回 研 修 会	9月	ス ポ ー ツ 推 進 委 員
全 国 ス ポ ー ツ 推 進 委 員 研 究 大 会	11月	ス ポ ー ツ 推 進 委 員
埼 玉 県 ス ポ ー ツ 推 進 委 員 協 議 会 第 2 回 研 修 会	2月	ス ポ ー ツ 推 進 委 員
埼 葛 地 区 社 会 体 育 研 究 大 会	2月	ス ポ ー ツ 推 進 委 員

④ 各種イベントへの協力依頼

ア 各スポーツ・レクリエーション関係団体のイベントへの協力依頼

イ 市内中・高校生、大学生のイベントへの協力依頼

⑤ ボランティア活動の意識の高揚

ア 春日部大風マラソン大会へのボランティア協力

イ 各スポーツ・レクリエーション関係のイベントや大会へのボランティア協力

ウ 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会関連事業へのボランティアの参加奨励

(4) 既存体育施設の維持管理と利用促進

① 補修・維持修繕

安心安全かつ快適に利用できる施設の老朽化に伴う計画的な補修工事

② 利用状況の把握

利用者ニーズに即した整備を図り、利用者満足度アップ

③ 利用者との連携

円滑で適切な手続きによる、利用者数の増加

④ 指定管理者への監視と指導

指定管理者の主体的な業務の改善に向けた指導

施 設	施 設 内 容
総 合 体 育 館 (ウイング・ハット春日部)	メインアリーナ バスケットボール3面、バレーボール4面、バドミントン12面、卓球24面 サブアリーナ バスケットボール1面、バレーボール2面、バドミントン6面、卓球12面
市 民 体 育 館	バスケットボール2面、バレーボール2面、バドミントン8面、卓球16面
庄 和 体 育 館	バスケットボール2面、バレーボール2面、バドミントン6面、卓球12面
市 民 武 道 館	第1道場 (柔道場)、第2道場 (剣道場)、弓道場
大 沼 野 球 場	軟式野球場兼ソフトボール場1面
大 沼 陸 上 競 技 場	400mトラック、サッカー場兼ラグビー場
大 沼 テ ニ ス コ ー ト	硬式・軟式兼用全天候型コート (人工芝) 5面、軟式用クレーコート2面
立 沼 テ ニ ス 場	全天候型舗装硬式コート2面
豊 野 テ ニ ス コ ー ト	硬式・軟式用クレーコート各1面
庄 和 テ ニ ス コ ー ト	硬式・軟式兼用全天候型コート (人工芝) 4面
谷 原 中 西 側 テ ニ ス コ ー ト	硬式・軟式兼用クレーコート8面
旧 谷 原 中 学 校	多目的グラウンド (大・小) 各1面
谷 原 グ ラ ウ ン ド	軟式少年野球場兼ソフトボール場1面
南 栄 町 グ ラ ウ ン ド	軟式野球場兼ソフトボール場1面
内 牧 グ ラ ウ ン ド	軟式少年野球、ソフトボール、グラウンドゴルフ
中 野 グ ラ ウ ン ド	軟式少年野球、ソフトボール、サッカー、グラウンドゴルフ
谷 原 中 西 側 グ ラ ウ ン ド	軟式少年野球、ソフトボール、サッカー、グラウンドゴルフ
牛 島 多 目 的 グ ラ ウ ン ド	軟式少年野球、少年ソフトボール、少年サッカー、グラウンドゴルフ
禿 地 グ ラ ウ ン ド	グラウンドゴルフ
金 崎 グ ラ ウ ン ド	少年サッカー・フットサル2面、グラウンドゴルフ
西 金 野 井 グ ラ ウ ン ド	軟式少年野球2面
西 宝 珠 花 グ ラ ウ ン ド	軟式少年野球1面
首都圏外郭放水路多目的広場	サッカー、グラウンドゴルフ
牛 島 野 球 場	硬式兼軟式野球場1面
庄 和 球 場	硬式兼軟式野球場1面

⑤ 学校開放の促進

ア 円滑な利用者調整会議の開催とスポーツ団体の利用の促進

イ 小学校4校による学校プール開放事業の実施

施 設	期 間	開 放 校
校 庭	4 月 ～ 3 月	小学校22校・中学校11校・義務教育学校1校
体 育 館	4 月 ～ 3 月	小学校22校
夜 間 照 明	4 月 ～ 3 月	武里中・東中・緑中・大増中
小 学 校 プ ー ル	8 月 (中止)	粕壁小・豊春小・正善小・桜川小

(5) 体育施設整備の推進

① スポーツ施設マネジメント基本計画への取組

ア 各施設の状況把握・現状分析

イ 基本計画をもとに各施設の方向性を検討し、「統合」「複合化・共有化」「機能移転」「譲渡」「廃止」「長寿命化」等の整理

- ② ウイング・ハット春日部周辺整備基本計画への取組
本市のスポーツ一大拠点に向けた体育施設の検討
- ③ スポーツ拠点施設の現地調査
スポーツ拠点施設である総合体育施設（ウイング・ハット春日部周辺）の整備エリアの用地測量、地形や地質調査、交通量や環境の調査等の現地調査を行う。
- ④ 事業用地の取得
ウイング・ハット春日部周辺整備基本計画の具現化に向け、総合体育施設の整備に必要な用地取得を行う。

4 第2次総合振興計画前期基本計画の成果指標における目標

令和2年度は、第2次春日部市総合振興計画前期基本計画の3年目となる。
そのため、計画に掲げた施策の目標達成に向け、引き続き取り組んでいく。
なお、計画の目標及び経過は、次のとおりである。

施策の成果指標	平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 見込み	前期基本計画 目標値
スポーツ教室やイベントの満足度	83.2%	76.7%	71.8%	75.8%
市の有料体育施設の満足度	92.5%	86.7%	97.9%	98.1%

中央公民館

1 公民館の目標

公民館は、市民の実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって市民の教養の向上、健康の増進、情操を養うことを図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的としている。

公民館の持つ基本的役割である「つどい」「まなぶ」「むすぶ」「つくる」「さがす」を果たすために、春日部市内各地域の歴史や特徴を踏まえつつ、住民の連携、学習活動の推進を図り、地域文化の創造と、人々のふれあいによる地域社会の醸成、自治意識の向上を目指す。そのため、学習内容の充実を図り、市民の多様な学習要求に応えていくとともに、市民との連携を図る事業を実施する。

また、中央公民館と地区公民館との連携により、効率的かつ効果的な事業を遂行していく。

《中央公民館の役割》

地区公民館の統括と連絡調整を行い、その事業は市全域を対象とした広域的なものとし、細分化された学習要求にも応えるものとする。また、試験的な事業や運営についての研究を行う。さらに地区公民館と協力しながら公民館全体の事業効果の向上を図るものとする。

《地区公民館の役割》

それぞれの地域を主な対象とし、地域住民の身近な学習要求に応え、地域の特色を生かし、地域に根ざした事業を展開することによって、地域文化の向上と地域住民の交流及び学習意欲の醸成を図る。また、中央公民館と各地区公民館及び各地区公民館同士が連携・協力を図り、活力ある地域づくりを目指すこととする。



2 主な施策

(1) 中央公民館体制の整備

市民の多様化・高度化する学習要求に応えるため、中央公民館と各地区公民館及び各地区公民館同士が協力・連携し、さまざまな課題に対して迅速に対応できる体制の整備を図る。

市民の主体的な学習活動を支援するため、学習情報を受信・発信する拠点としての機能を充実する。

各地域においては、それぞれの地域文化を尊重し、地域の状況に即した公民館の運営を図る。

(2) 市民の学習活動の支援・促進

- ①市民の自主的な学習活動を支援・促進するため、フリースペースの活用、学習情報の収集・提供、学習相談などを強化・推進する。
- ②クラブ・サークルの学習活動を支援するため、研修の機会、団体の運営及び活動の相談など支援体制の充実を図る。
- ③現代的課題に即した学習活動を支援・促進するため、関係各機関との情報交換や連携体制の充実を図る。
- ④インターネットを活用した情報化の充実を図り、公民館からの情報発信を魅力あるものとする。

(3) 学習機会の充実

- ①市民の学習要求、また生涯各期の学習課題に応じた多種多様な学級・講座・イベントなどを実施し、学習機会の充実を図る。
- ②市民の学習要求を反映した事業を実施するため、事業の企画段階からの市民参加を促進する。また、指導者やボランティアを発掘・育成し、さまざまな事業に地域の人材を活用した学習機会を創造する。
- ③家庭教育に関する学習や交流の機会を拡充するとともに、各種団体との協力のもと、家庭・地域の教育力の向上、世代間の交流が図れる事業を展開する。
- ④学習活動で得た知識、成果を地域で生かすとともに、適切に評価される仕組みづくりを調査研究する。

(4) 公民館施設の整備充実

公民館事業の円滑な遂行並びに市民が安全に学習・交流活動を行えるよう、施設・設備の計画的な整備及び維持管理に努める。

公民館以外の所管施設

武里市民センター

所在地 〒344-0033 春日部市備後西一丁目13番2号

電 話 048-735-3004

庄和市民センター正風館

所在地 〒344-0116 春日部市大倉307番地1

電 話 048-746-6666



春日部市16公民館合同フェスティバル



公民館研究大会

中央公民館事業計画

所在地 春日部市粕壁6918番地1

Tel 048-752-3080・Fax 048-754-0158

◇運営の基本方針

中央公民館は、主に社会教育に係る学習関連の情報収集・提供と公民館の施設設備の充実を基盤に、市民の学習活動の充実を図ることに主眼を置く。

教育行政の充実と市民の生涯学習の支援体制の拡充を図ることを目的として、市内各地区公民館、その他各教育施設の施設間ネットワークを構築し、学習機会の提供及び専門的な学習相談の体制を整備することを目指す。

自主事業としては、全市域を対象にした諸集会事業を開催するとともに、芸術文化、健康、環境など各分野に関する専門的な講座を実施する。

◇重点施策

- 1 各公民館の情報を統括し、生涯学習に係る情報の収集・提供窓口としての機能の充実を図る。
- 2 学習サークルの成果発表、サークル間の交流、地域参加の拠点として施設・設備の有効利用を図り、公民館機能の充実を目指す。併せて芸術・文化創造の高揚に寄与する。
- 3 市民の多様な学習要求に応える、高度で専門的な講座の開設及び現代的課題に対応した事業を企画し実施する。
- 4 地域の人材の積極的な活用を進めるとともに、社会教育に関する指導者とボランティアの養成及び職員の専門的知識修得の中心機関としての機能の充実を図る。

◇主な事業計画（学級・講座・大会等）

No.	事業名	内容	対象	会場
1	自然観察会	自然観察を通して自然の大切さを考える	一般	内牧公園他
2	講堂機器操作研修	講堂利用者に対して機器の操作を説明	公民館利用者	中央公民館
3	春日部市民県展入選作品展	優れた美術作品を紹介	一般	中央公民館
4	企画展(3回)	科学展・障がい者作品展 震災写真展 等	一般	中央公民館
5	年少リーダー研修会 (キッズフェスティバル)	野外活動等を通して青少年リーダーを育成する	小学校5・6年生	中央公民館・那須甲子青少年自然の家
6	音響操作セミナー	音響操作技術の講習	一般	中央公民館
7	ライブフェスタ	バンドの交流	一般	中央公民館
8	音楽鑑賞会	市内にゆかりのある演奏家の優れた演奏を鑑賞	一般	中央公民館
9	教養講座	時節に合わせた学習	一般	中央公民館
10	中央公民館利用者協議会	利用者同士の交流	中央公民館利用者	中央公民館
11	16公民館合同フェスティバル	市内の公民館利用者が一堂に会して相互交流	一般・サークル	中央公民館
12	春日部市公民館研究大会	住民自治と公民館のあるべき姿を探る	一般	中央公民館
13	さくらまつり	地域に根付いた公民館活動を推進	一般	八木崎公園他

◇主な事業計画（会議・研修・調査等）

No.	事業名	内 容	対 象
1	公民館学習情報ネットワーク	ホームページ、公民館だより、 その他公民館運営に必要な情 報のネットワーク運営	一般
2	公民館関係団体への援助	団体活動に関する相談・支援 事業	団体
3	公民館関係資料調査及び収集	学習情報提供に資する	—
4	各種公民館関係資料の作成・発行	春日部市の公民館、利用団体 一覧、公民館ガイドなど	—
5	公民館長会議	月に一回開催	公民館長
6	公民館職員会議	月に一回開催、公民館業務に ついての研修会を兼ねる	関係職員
7	公民館新任職員研修会	新任職員に公民館の基礎を学 ぶ機会の提供	新任職員
8	担当者専門研修会派遣	職員の資質向上のため、専 門研修会に派遣	関係職員

【前年度事業の様子（令和元年度）】



共に生きよう！フェスティバル・障がい者作品展



かすかべライブフェスタ 2019



第28回春日部市民県展入選作品展

粕壁地区公民館・粕壁南公民館

【粕壁地区の概要】

春日部市の中心部に位置し、地区内には東武スカイツリーラインと東武アーバンパークラインが通っている。

令和2年5月1日現在、22,199世帯、人口46,181人、面積は492.4haである。

粕壁地区は、日光街道沿いにあり江戸時代には、「粕壁宿」として栄えた。

地区内には市役所、市立医療センター、市民文化会館などの公共施設がある。学校は粕壁小学校、八木崎小学校、緑小学校、春日部中学校、緑中学校、大沼中学校、春日部高校、春日部女子高校等がある。

【粕壁地区の公民館】

粕壁地区公民館 所在地 春日部市粕壁6918番地1 Tel 048-752-3080・Fax 048-754-0158

粕壁南公民館 所在地 春日部市南一丁目12番23号 Tel・Fax 048-738-0088

【運営の基本方針】

生涯学習の視点から、地域における学習意欲を醸成するため、各世代を対象とした学習機会の提供を行い、豊かな人間性を養い、もってより良い地域づくりを進める。

【重点施策】

- 1 各層、各期の学習ニーズを取り上げ、それに対応する事業を実施するとともに参加者の自主的な活動を推進する。
- 2 人々の集うスポーツ大会を実施し、地域の連帯感と親睦を深める。
- 3 幼児期において、家庭の教育力の活性化を促す事業を推進する。
- 4 青少年の健全育成のための事業を推進する。

【重点事業】

No.	事業名	内 容	対 象	会 場
1	幼児家庭教育学級	キッズダンス、他	幼児と保護者	粕壁南公民館
2	婦人講座	食と健康、レク体操、人権、他	女性	中央公民館
3	粕壁地区壮年ソフトボール大会	壮年の健康増進と親睦	45歳以上	大沼運動公園 野球場 他
4	公民館フェスティバル「親子コミュニティ」	団体活動や地域コミュニティの活性化と異世代間の相互交流	一般	粕壁南公民館

【その他の事業】

【前年度事業の様子（令和元年度）】

教養講座
 子ども体験教室
 ジュニア囲碁スクール
 コミュニティミニコンサート
 粕壁地区体育祭
 和楽のつどい
 他



幼児家庭教育学級(キッズダンス)



粕壁地区壮年ソフトボール大会

内牧地区公民館・内牧南公民館

【内牧地区の概要】

春日部市の北部に位置し、西はさいたま市岩槻区、北は白岡市、宮代町と隣接している。

令和2年5月1日現在、6,446世帯、人口13,630人、面積は529.2haである。

地区内には内牧フィールドアスレチック、内牧サイクリングロードなど自然豊かな地形を生かした施設があり、また、塚内古墳群など文化財を有するかたわら地区南側には工業団地も有している。

地区内の学校は、内牧小学校をはじめ春日部工業高等学校、共栄大学があり文教的にも豊かな地区と言える。

産直の里内牧であることから特産品も多く、中でも梨、お茶、ぶどうなどが有名である。

【内牧地区の公民館】

内牧地区公民館 所在地 春日部市内牧4398番地 Tel・Fax 048-752-3255

内牧南公民館 所在地 春日部市内牧1498番地 Tel・Fax 048-761-0065

【運営の基本方針】

生涯学習の拠点として、住民の学習要求に即した事業を展開し、各種情報を提供する。また、地域団体・組織と連携して地域連帯意識の高揚と生活文化の発展を図る。

【重点施策】

- 1 住民の学習要求に応え、学習機会の充実を図るため生涯の各時期に応じた事業を実施する。
- 2 地域住民の連携と活性を図りつつ、自治意識を高めるため地域全体で取り組む事業を実施する。
- 3 自然に恵まれた特色を生かし、地域住民が喜びを感じる事業を実施する。

【重点事業】

No.	事業名	内 容	対 象	会 場
1	小学生期家庭教育学級	家庭教育のあり方 等	P T A、一般	内牧地区公民館
2	幼児家庭教育学級	発達段階の理解、親同士の交流 等	幼児と保護者	内牧南公民館
3	内牧地区体育祭	体力の向上と交流を図る	一般	内牧小学校
4	内牧地区文化祭	芸術文化の振興	一般	内牧地区公民館
5	内牧ふれあい講座	講演・鑑賞・体験・見学及び交流	高齢者	内牧地区公民館等

【その他の事業】

子育てサロン
スポーツ教室
青少年体験教室
教養講座 等

【前年度事業の様子（令和元年度）】



内牧地区文化祭



内牧ふれあい講座

豊春地区公民館・豊春第二公民館

【豊春地区の概要】

春日部市の南西部に位置し、さいたま市岩槻区と隣接している。

令和2年5月1日現在、19,271世帯、人口42,654人、面積は775.5haである。

豊春地区は学史上有名な縄文時代の花積貝塚がある。また地域の北部を東西に古隅田川が流れ、業平や梅若など、古代の隅田川にまつわる伝説を伝えている。

学校は、豊春小学校、立野小学校、宮川小学校、豊春中学校、大増中学校、春日部共栄中学校、春日部共栄高等学校、松栄学園高等学校がある。

【豊春地区の公民館】

豊春地区公民館 所在地 春日部市上蛭田101-2 Tel・Fax 048-754-0942

豊春第二公民館 所在地 春日部市豊町5-14-1 Tel・Fax 048-754-2100

【運営の基本方針】

生涯学習の理念に基づき、地域住民の課題や学習ニーズに対応した学習機会を提供するとともに、地域の連帯意識を高め、明るい地域社会づくりを推進する。

【重点施策】

- 1 地域住民の課題や学習ニーズに応じた講座を開設し、学習機会の充実を図る。
- 2 家庭における教育力の向上を図るとともに子育て支援を推進する。
- 3 地域内の団体と連携し、地域住民の交流機会の充実・連帯感の向上を図る。

【重点事業】

No.	事業名	内 容	対 象	会 場
1	えんJOYトレーニング	継続的な介護予防トレーニング	一般	豊春第二公民館
2	異文化交流事業	地域住民の国際的知見を養う	一般	豊春第二公民館
3	いきいき学級	健康をテーマにした学習会	一般	豊春地区公民館
4	豊春公民館文化祭	公民館活動の成果発表	一般	豊春地区公民館・ 豊春第二公民館
5	小・中学生期家庭教育学級	家庭教育に関する学習	一般	豊春地区公民館

【その他の事業】

豊春演芸のつどい
わくわくクッキング
おもしろ科学教室
小学生料理教室
親子の広場
えほんの広場
PAセミナー
豊春地区体育祭
お楽しみウォーキング 他

【前年度事業の様子（令和元年度）】



お達者教室



とよはる音楽祭 2020

武里地区公民館・武里東公民館

【武里地区の概要】

春日部市の南部に位置し、さいたま市岩槻区、越谷市と隣接している。

令和2年5月1日現在、20,870世帯、人口45,151人、面積は761.7haである。都心のベッドタウンとして住宅地が広がっている。

地区内には、鎌倉時代に創建された関東三社稲荷の一つ、備後須賀稲荷神社がある。毎年3月第1日曜日に例大祭が行われる。また、県指定無形民俗文化財「やったり踊り」があり、毎年7月15日近くの土曜日に大畑香取神社にて盛大に行われる。

地区内の学校は、武里小学校、備後小学校、正善小学校、上沖小学校、武里西小学校、武里中学校、春日部南中学校がある。

【武里地区の公民館】

武里地区公民館 所在地 春日部市備後西一丁目13番2号 Tel 048-735-3004・Fax 048-737-3033

武里東公民館 所在地 春日部市備後東七丁目38番16号 Tel・Fax 048-735-2527

【運営の基本方針】

生涯学習の拠点施設の一つとして、「つどう、まなぶ、むすぶ」という公民館の原点に基づき、地域の連帯を深め、地域の発展や生活文化を高める事業に取り組む。

【重点施策】

- 1 公民館利用者相互の交流を図り、地域の親睦を深める。
- 2 地域をあげたスポーツ大会を通して、地域の世代間交流と連帯意識を深める。
- 3 地域と連携した防災対策事業を推進する。
- 4 学習機会の提供及び、学習活動に対する適切な援助に努め、住民の自主的活動を推進する。

【重点事業】

No.	事業名	内容	対象	会場
1	武里市民センターまつり	利用団体の成果発表	一般	武里地区公民館
2	武里地区体育祭	地域住民の相互交流	一般	武里小学校
3	防災対策事業	地域防災の意識向上	一般	武里地区公民館
4	サークルスタート	サークル情報の提供とサークル体験	一般	武里地区公民館・武里東公民館

【その他の事業】

【前年度事業の様子（令和元年度）】

幼児家庭教育学級「子育て広場」
たけさとカフェ
くらしに役立つパソコン教室
パソコン相談室
オレンジカフェ
「アサンテたけさと」
くらしの講座
ふれあい教室
人権教育研修会
公民館だより「武里」発行
他



武里市民センターまつり



たけさとカフェ

幸松地区公民館・幸松第二公民館

【幸松地区の概要】

春日部市の中央部に位置し、杉戸町と隣接している。

令和2年5月1日現在、9,871世帯、人口22,057人、面積は718.3haである。

地区内には、牛島野球場、春日部第1児童センター（エンゼル・ドーム）などの公共施設があるほか、牛島には国の特別天然記念物に指定されている「牛島のフジ」（藤花園）、不動院野には市指定無形民俗文化財「不動院野の神楽」がある。

地区内の学校は、幸松小学校、牛島小学校、小湊小学校、東中学校、春日部東高等学校、春日部特別支援学校がある。

【幸松地区の公民館】

幸松地区公民館 所在地 春日部市牛島667-1 Tel・Fax 048-752-6065

幸松第二公民館 所在地 春日部市小湊73-1 Tel・Fax 048-761-5510

【運営の基本方針】

生涯学習拠点施設として、地域住民の身近な学習・交流活動の場として親しみをもって来館できる公民館を目指す。

【重点施策】

- 1 地域住民の健康増進と住民相互の理解と交流を深め、学習機会の充実と公民館利用の促進を図る。
- 2 家庭教育の充実と青少年の健全育成を図る。
- 3 各種関係組織・団体との連携を図りながら、事業展開を図る。

【重点事業】

No.	事業名	内 容	対 象	会 場
1	こうまつ寺子屋	地域住民の教養を高める	一般	幸松地区公民館・幸松第二公民館
2	家庭教育学級	家庭教育のあり方を学ぶ	一般	幸松地区公民館
3	幸松地区体育祭	地区住民の体育の祭典	一般	東中学校
4	幸松ふれあい文化祭	学習活動の発表の場	一般	幸松地区公民館
5	むかしの遊び教室	むかしの遊びの体験	一般	幸松地区公民館

【その他の事業】

【前年度事業の様子（令和元年度）】

スポーツ広場
子育てサロン
小学生サイエンス教室
小学生料理教室
ウォーキング講習会
グラウンドゴルフ大会
スマイルボウリング大会
こうまつ音楽祭 他



むかしの遊び教室



幸松ふれあい文化祭

豊野地区公民館・藤塚公民館

【豊野地区の概要】

春日部市の南東部に位置し、越谷市、松伏町と隣接している。

令和2年5月1日現在、8,239世帯、人口18,774人、面積は505.8haである。

地区内には、伝統行事として市の無形文化財である獅子舞が赤沼・銚子口の両地区で受け継がれている。
両地区とも7月、10月に舞われ、銚子口では1月にも舞われている。

また、地区内豊野町には豊野工業団地がある。

地区内の学校は、豊野小学校、藤塚小学校、豊野中学校がある。

【豊野地区の公民館】

豊野地区公民館 所在地 春日部市銚子口999 Tel・Fax 048-735-0009

藤 塚 公 民 館 所在地 春日部市藤塚1670-1 Tel・Fax 048-735-2528

【運営の基本方針】

利用する人それぞれの心が潤い、かつ魅力あふれる事業を展開するとともに、地域文化の向上を図ることが
のできる生涯学習拠点施設としての公民館を目指す。

【重点施策】

- 1 地域住民の学習ニーズを把握し、各層を対象とした学習機会の充実と学習情報の提供を行う。
- 2 青少年の健全育成を図るため、学校週5日制に対応した各種事業を行うとともに、地域のボランティアや青少年の育成などの人材を活用したさまざまな学習を展開する。
- 3 地域・学校・家庭との連携、協力関係を深めるとともに、事業の企画段階からの市民参加を促進する。

【重点事業】

No.	事業名	内 容	対 象	会 場
1	チャレンジ教室	新しいことに挑戦する機会を作る。	子ども～一般	豊野地区公民館 藤塚公民館
2	小・中学生期合同家庭教育学級	親の在り方や家庭の役割を考える。	小・中学生の保護者	豊野地区公民館
3	子育てふれあいサロン	乳幼児の自由な遊び場、保護者の交流・情報交換の場を提供する。	乳幼児と保護者	豊野地区公民館 藤塚公民館
4	ふれあい教室	地域に根ざした学習機会を作り、連帯感を高める。	子ども～一般	豊野地区公民館 藤塚公民館

【その他の事業】

公民館利用者のつどい
必ず役立つ入門講座
みんなでピンポン+けん玉
豊野地区体育祭
豊野地区文化祭
健康を考えるつどい
公民館だより発行 他

【前年度事業の様子(令和元年度)】



チャレンジ教室
(TYN けん玉クラブ)



子育てふれあいサロン

武里南地区公民館・武里大枝公民館

【武里南地区の概要】

武里南地区は、武里団地のエリアと同一である。春日部市の南部に位置し、越谷市と隣接している。

令和 2 年 5 月 1 日現在、世帯数は 5,261 世帯、人口 8,576 人、面積は 59.6ha である。

武里団地は、現在の独立行政法人都市再生機構（UR 都市機構）により竣工、昭和 41 年から入居が開始され、9 街区、約 6,000 世帯を擁して当時は「東洋一のマンモス団地」と呼ばれていた。

現在は、当時の子どもが大人になって団地を出たり、持ち家志向が高まったりしたことなどにより入居者が減少し、また、高齢化という課題に直面している。そのため、市では、平成 23 年度から官学連携団地活性化推進事業として、世代間交流の取り組みを促進しながら、武里団地の活性化を図っている。

地区内の学校は、武里南小学校がある。

【武里南地区の公民館】

武里南地区公民館 所在地 春日部市大枝 89 武里団地 7 街区 5 棟 Tel・Fax 048-736-8104

武里大枝公民館 所在地 春日部市大枝 89 武里団地 2 街区 1 棟 Tel・Fax 048-737-8022

【運営の基本方針】

生涯学習の拠点施設のひとつとして、市民の学習要求に応える事業及び情報の提供を行う。

【重点事業】

- 1 きめ細やかな学習の場と情報を提供する。
- 2 青少年の健全育成の場を設ける。
- 3 地域住民の健康増進と住民相互の交流を図る。

【事業計画】

No.	事業名	内 容	対 象	会 場
1	子育てふれあいサロン	歌、ダンス、リトミックなど	乳幼児と保護者	武里南地区公民館
2	武里団地体育祭	健康の増進、地域の交流と親睦を深める	一般	武里南小学校
3	武里団地文化祭	公民館利用者の学習成果の発表	一般	武里大枝公民館
4	青少年健全育成事業	科学教室等の体験を通し、児童の健全育成の一助とする	小学生	武里大枝公民館
5	武里団地音楽鑑賞会	身近な場所で良質な音楽に触れる	一般	武里大枝公民館

【その他の事業】

クラブ・サークル連絡会

人権教育研修会

教養講座

体験講座

レクリエーション・スポーツ

公民館だよりの発行 他

【前年度事業の様子（令和元年度）】



武里団地音楽鑑賞会



子育てふれあいサロン

庄和地区公民館・庄和南公民館

【庄和地区の概要】

春日部市の東部に位置し、杉戸町、松伏町、江戸川を挟んで千葉県野田市と隣接している。

令和2年5月1日現在、15,569世帯、人口37,001人、面積は2,815haである。

毎年5月3日と5日には伝統文化行事の大風あげ祭りが行われ10万人以上の見物客が集う。

地区内の学校は、小学校4校(南桜井、川辺、桜川、中野)、中学校2校(葛飾、飯沼)、義務教育学校1校(江戸川)、庄和高等学校がある。

【庄和地区の公民館】

庄和地区公民館 所在地 春日部市大袋307番地1 Tel 048-746-6666・Fax 048-746-6669

庄和南公民館 所在地 春日部市米崎357番地 Tel 048-745-3000・Fax 048-745-3002

【運営の基本方針】

地域住民の学習意欲を醸成するための学習機会を提供し、充実した人生を築くための生涯学習拠点となるよう環境を整える。また、庄和地区の連帯意識を高め、地域コミュニティづくりを進める。

【重点施策】

- 1 世代間交流と地域の連帯感を育む。
- 2 地域住民参画による自主的・自発的な事業活動を支援する。
- 3 各種団体、地域住民との協働による事業の展開を図る。

【重点事業】

No.	事業名	内容	対象	会場
1	庄和地区市民大学	地域住民の教養を高める	一般	庄和地区公民館、他
2	公民館まつり	文化・芸術団体の成果発表	一般	庄和地区公民館
3	庄和地区体育祭	地区住民の体育の祭典	一般	庄和総合公園・多目的広場
4	正風館音楽祭	合奏・合唱団体の成果発表	一般	庄和地区公民館

【その他の事業】

しょうわ塾
子育てサロン
井戸端サロン
学校開放講座
Showa キッズぴあ
公民館だより発行 他

【前年度事業の様子（令和元年度）】



庄和地区市民大学



公民館まつり

公民館施設一覧

No.	公 民 館 名	設 立 下段：増改築年	延べ床 面積（㎡）	部屋 数	階 数	施設等の名称	面積		定員 （人）	駐 車 場		
							㎡	畳				
1	中 央 公 民 館	平成6年 （1994） －	5,559	20	1	体育館	418		410	地下駐車場 38台 第2駐車場 66台 合計104台		
						更衣室（男性）	9		2			
						更衣室（女性）	9		2			
						ステージ	95		50			
						講堂	513		351			
						メディアホール	230		30			
						ブックサロン	73		23			
						印刷室	25		10			
					2	多機能学習室	53		33			
						大会議室	107		66			
						サークルボックス	22		10			
						オペレーションルーム	42		10			
						ギャラリー	293		200			
						和室ふじ	39	18	36			
					3	実習室	52		30			
						音楽スタジオ	43		10			
小会議室	20		12									
中会議室	42		16									
アトリエ	65		36									
アトリエ準備室	－		－									
2	会議室	84		50		29台						
	和室	47	20	30								
	調理室	46		25								
4	内 牧 地 区 公 民 館	昭和46年 （1971） 平成元年 （1989）	1,886	13	1	講堂	229		180	24台		
						会議室兼リハーサル室	40		18			
						和室	52	31.5	67			
						研修室Ⅰ	68		39			
						談話室コーナー	20		12			
						展示コーナー	40		－			
						印刷室	－		－			
					2	研修室Ⅱ	68		39			
						実習室	60		22			
						体育室	394		400			
						更衣室（男性）	8		2			
						更衣室（女性）	8		2			
						調整室	24		－			
						1	大会議室	198			200	20台
							図書室	16			－	
						2	講習室	70			60	
料理実習室	49		25									
和室	49	21	30									
託児室	17		10									
6	豊 春 地 区 公 民 館	昭和46年 （1971） 昭和63年 （1988）	2,006	12	1		講堂	388		250	21台	
						和室いちよう	30	15	20			
						和室うめ	23	12	16			
						プレイルーム	63		20			
						談話室	43		16			
						ふれあい図書コーナー	－		32			
						浴室（休止）	83		－			
					2	研修室（1）	78		50			
						研修室（2）	79		50			
						アトリエ	93		16			
						クッキングサロン	51		20			
						会議室兼音楽室	56		12			
						大集会室	281		250	26台		
						1	調理室	42				25
							図書談話コーナー	－				－
							2	第一会議室	115			
第二会議室	58		20									
第三会議室	73		40									
和室1	42	18	27									
和室2	42	18	27									
8	武 里 地 区 公 民 館	昭和46年 （1971） 昭和61年 （1986）	1,625	14	2	講堂	275		200	29台		
						音楽室	50		20			
						会議室（1）	88		69			
						会議室（2）	51		25			
						会議室（3）	51		16			
						和室	50	24	27			
						実習室	88		30			
						図書コーナー	－		－			
					3	印刷室	8		－			
						研修室（1）	96		96			
						研修室（2）	60		24			
						研修室（3）	52		25			
						教養室（1）	38	15	12			
						教養室（2）	52	21	24			

No.	公 民 館 名	設 立 下段：改築年	延べ床 面積（㎡）	部屋 数	階 数	施設等の名称	面積		定員 （人）	駐車場
							㎡	畳		
9	武 里 東 公 民 館	昭和56年 (1981) —	600	7	1	大会議室	209		150	37台
						研修室	27		15	
					2	図書室	19		—	
						料理実習室	44		25	
						和室	44	20	30	
						講習室	47		30	
10	幸 松 地 区 公 民 館	昭和46年 (1971) 昭和63年 (1988)	2,008	17	1	託児室	13		—	30台
						講堂	263		200	
						体育室	360		400	
						シャワー室（男性用）	11		—	
						シャワー室（女性用）	11		—	
						和室	76	25	35	
						ブレイルルーム	63		35	
						談話コーナー	66		—	
					2	図書コーナー	—		—	
						展示ロビー	—		—	
						印刷室	—		—	
						会議室A	70		42	
						会議室B	38		12	
						実習室	76		20	
11	幸 松 第 二 公 民 館	昭和57年 (1982) —	631	6	1	準備室	19		—	8台
						調光室	12		—	
					2	研修室A	43		24	
						研修室B	55		42	
						大会議室	209		150	
						図書室	17		—	
12	豊 野 地 区 公 民 館	昭和46年 (1971) 昭和61年 (1986)	1,114	11	1	講習室	47		30	第1：9台 第2：8台 合計：17台
						調理室	50		25	
						和室	47	20	30	
						託児室	12		7	
						講堂Ⅰ	95		100	
					2	講堂Ⅱ	95		100	
						和室Ⅰ	42	25	40	
						談話コーナー	—		—	
						図書コーナー	—		—	
						印刷室	—		—	
13	藤 塚 公 民 館	昭和56年 (1981) —	600	7	1	和室Ⅱ	65	40	65	12台
						研修室Ⅰ	79		80	
					2	研修室Ⅱ	73		70	
						会議室	42		12	
						実習室	52		25	
						大会議室	209		150	
14	武 里 南 地 区 公 民 館	昭和50年 (1975) 昭和53年 (1978)	532	6	1	小和室	35	10	15	なし
						講習室	40		30	
					2	調理室	45		25	
						和室	44	23	40	
						図書室	15		8	
						小会議室	18		12	
15	武 里 大 枝 公 民 館	昭和62年 (1987) —	1,457	8	1	和室（大）	54	27	50	なし
						和室（小）	29	9	10	
					2	大会議室	81		60	
						小会議室	30		20	
						和室	44	20	30	
						調理室	44		25	
					1	講堂	344		250	
						実習室	70		25	
						和室	77	24	40	
						会議室	48		20	
						印刷室	15		—	
						展示談話コーナー	72		—	
16	庄 和 地 区 公 民 館	昭和60年 (1985) —	1,901	10	2	研修室	103		70	第1：40台 第2：32台 第3：32台 合計104台
						展示室	12		—	
					1	大ホール	377		502	
						舞台	240		—	
						楽屋（1）	15		—	
						楽屋（2）	15		—	
						音楽室	86		30	
						集会室	45		24	
					2	試食室	39		20	
						調理実習室	88		37	
					多目的室1	多目的室1	75		24	
						多目的室2	78		24	

No.	公 民 館 名	設 立 下段：改築年	延べ床 面積（㎡）	部屋 数	階 数	施設等の名称	面積		定員 （人）	駐 車 場
							㎡	畳		
17	庄 和 南 公 民 館	昭和49年 （1974） 平成9年 （1997）	1,306	13	1	多目的ホール	256		230	44台
						楽屋	20		3	
						音楽室	73		20	
						図書室	—		—	
						印刷室	—		—	
					2	学習室 1	39		30	
						学習室 2	45		30	
						集会室	40		24	
						調理室	78		30	
						和室 1	23	15	14	
						和室 2	16	10	14	
					別棟	創作室 1	28		8	
						創作室 2	26		8	
	合 計		23,390	161		11,958	482	7,833	505	

特別職名簿

**春日部市立小学校、中学校及び
義務教育学校学区審議会委員**

任期：令和2年7月1日～令和4年6月30日

No.	氏 名	委員の区分
1	並 木 素 生	区・自治会を代表する者
2	野 村 三 男	
3	小保方 敏 美	
4	伊 澤 秀 雄	
5	鈴 木 敏 仁	
6	時 田 美野吉	
7	石 田 慎 一	
8	小 熊 三千世	小学校、中学校及び義務 教育学校の校長の代表者
9	小 林 学	
10	三 輪 昭 彦	知識及び経験を有する者
11	島 内 啓 介	
12	島 村 克 己	公募に応じた市民

※小学校、中学校及び義務教育学校の PTA の代表者は
PTA 連合会からの推薦後に委嘱手続きの予定。

春日部市学校給食センター運営委員会委員

任期：令和元年7月1日～令和3年6月30日

No.	氏 名	委員の区分
1	木 田 真貴子	小学校の校長
2	野 田 隆 幸	中学校又は義務教育学 校の校長
3	渡 邊 よしみ	学識経験者
4	細 川 廣	

※No. 1, 2 任期：令和2年6月25日～令和3年6月30日

※PTA の代表者は、小学校、中学校及び義務教育学校長
からの推薦後に委嘱手続きの予定。

春日部市社会教育委員

任期：令和2年6月1日～令和4年5月31日

No.	氏 名	委員の区分
1	井ノ上 實	学校教育関係者
2	野 田 隆 幸	
3	吉 岡 靖 久	
4	金 重 光 江	社会教育関係者
5	高 山 まさ子	
6	松 田 洋 子	
7	沖 田 隆 一	
8	今 村 純 雄	
9	樺 田 正 俊	
10	小 宮 英 展	家庭教育の向上に 資する活動を行う者
11	比 嘉 里 奈	
12	和井田 節 子	学識経験者
13	中 島 信 一	
14	山 田 農 久	社会教育・家庭教育 関係者
15	栗 岡 俊 丈	

春日部市立図書館運営審議会委員

任期：平成30年8月1日～令和2年7月31日

No.	氏 名	委員の区分
1	橋 本 葉 子	学校教育関係者
2	茂 木 代 美	
3	沖 田 隆 一	社会教育関係者
4	廣 岡 幸	家庭教育関係者
5	大 塚 隆 子	
6	岡 安 稔	学識経験者
7	飯 田 邦 明	社会教育関係者

春日部市文化財保護審議委員

任期：令和2年2月1日～令和4年1月31日

No.	氏 名	委員の区分
1	大 塚 和 彦	学識経験者
2	榊 田 武 夫	
3	白 井 哲 哉	
4	杉 崎 茂 樹	
5	先 崎 薫	
6	武 井 尚	
7	田 中 裕 子	
8	浜 島 一 成	
9	平 社 定 夫	
10	横 川 好 富	

春日部市史編さん委員会委員

任期：平成30年8月1日～令和2年7月31日

No.	氏 名	委員の区分
1	中 島 信 一	社会教育委員
2	武 井 尚	文化財保護審議委員
3	榊 田 武 夫	学識経験者
4	高 橋 尚 夫	
5	長 堀 榮	
6	平 社 定 夫	
7	町 田 輝 夫	
8	横 川 好 富	

春日部市スポーツ推進委員

任期：令和2年4月1日～令和4年3月31日

No.	氏 名	委員の区分
1	福 山 逸 子	粕壁地区
2	福 島 広 光	
3	飯 岡 麻 世	
4	田 中 司 夫	
5	久 保 聡 子	
6	武 田 かおり	
7	沼 田 江梨子	
8	神 谷 謙 一	
9	猪 山 吉 徳	
10	中 野 和 江	内牧地区
11	利根川 友 和	
12	唐 沢 治 郎	豊春地区
13	狩 野 博 子	
14	尾 村 正 明	
15	宇南山 瞬 子	
16	小 林 実	武里地区
17	荒 井 秀 雄	
18	齋 藤 忠 明	
19	国 井 秋 男	
20	山 田 農 久	
21	佐 藤 孝 夫	
22	小笠原 麻 理	
23	篠 本 寿美子	幸松地区
24	樺 田 正 俊	
25	野 口 卓 造	
26	成 田 裕 子	
27	木 内 尚 幸	
28	小笠原 亨	
29	藤 田 葆 雄	

No.	氏 名	委員の区分
30	川 鍋 守	豊野地区
31	逸 見 映 子	
32	星 野 孝 子	
33	多 田 雅 紀	
34	浄 閑 広 裕	
35	小守谷 利 幸	
36	行 川 幸 伸	
37	今 井 進	庄和地区
38	手 島 育 子	
39	森 田 伝	

(順不同)

春日部市スポーツ推進審議会委員

任期：令和2年5月22日～令和4年5月21日

No.	氏 名	委員の区分
1	石 田 慎 一	春日部市自治会連合会
2	荒 井 秀 雄	春日部市スポーツ推進委員協議会
3	三 浦 裕	春日部市立小・中学校長会
4	佐久間 清	春日部市スポーツ協会
5	三 谷 良 明	春日部市レクリエーション協会
6	大久保 正 己	春日部市スポーツ少年団
7	萩 原文 男	春日部商工会議所
8	小 磯 典 子	公 募

(順不同)

春日部市公民館運営審議会委員

任期：令和元年6月1日～令和3年5月31日

No.	氏 名	委員の区分
1	窪 田 忍	学校教育関係者
2	小 林 修	
3	石 原 弥 生	社会教育関係者
4	今 村 純 雄	
5	井 上 みち子	
6	横 山 由 美	
7	小 林 久美恵	家庭教育関係者
8	梅 田 正 雄	知識及び経験を有する者
9	森 義 久	
10	関 根 金次郎	
11	金 重 一 夫	
12	高 崎 光 英	
13	越 沼 正 一	
14	原 宏 一	
15	泰 楽 富 夫	

※No2, No.12 任期：令和2年5月26日～令和3年5月31日

令和 2 年 度
春 日 部 市 の 教 育

発行日 令和 2 年 7 月 1 日

編 集
発 行 春日部市教育委員会

春日部市粕壁東3丁目2番15号
電話 048-763-2443 (代表)